
令和5年度
香川県ひとり親世帯等実態調査
調査結果報告書

令和6年8月

香川県

目次

I 調査の概要	1
II 調査結果	4
1. ひとり親家庭の状況について	5
1-1. ひとり親世帯の親の年齢	5
1-2. 20歳未満の子どもの人数（※母子・父子のみ）	6
1-3. 学齢別の子どもの人数と割合（※母子・父子のみ）	7
1-4. 子どもが放課後に過ごす場所	8
1-5. 同居者の状況	9
1-6. ひとり親世帯になってからの期間（※母子・父子のみ）	10
1-7. ひとり親世帯になった時の年齢	11
1-8. ひとり親世帯になった理由	12
2. 養育費について	13
2-1. 養育費の取り決めの状況	13
2-2. 養育費の取り決め額	15
2-3. 養育費の取り決めをしていない・しなかった理由	16
2-4. 養育費の取り決めの相談相手	17
2-5. 養育費の取り決め額の支払期間（※寡婦のみ）	18
3. 面会交流について	19
3-1. 面会交流の取り決めの状況	19
3-2. 面会交流の取り決めをしていない理由	20
3-3. 面会交流の実施状況	21
3-4. 面会交流の頻度	24
3-5. 面会交流を現在行っていない理由	25
4. 子どもの習い事について	26
4-1. 子どもの習い事の有無と月額	26
4-2. 子どもが塾や習い事をしていない・していなかった理由	32
4-3. 子どもの進学希望	33
5. 親の就業状況	34
5-1. ひとり親世帯になった当時の就業形態	34
5-2. ひとり親世帯になった当時の職種	35
5-3. 転職、退職の有無	36
5-4. 転職、退職の理由	37
5-5. 現在の就労の有無	38
5-6. 現在の就業形態	38
5-7. 現在の職種	39
5-8. 現在の仕事を探した方法	40
5-9. 1日の平均労働時間	41
5-10. 仕事が終了する時間	42

5-1 1. 通勤にかかる片道時間	43
5-1 2. 現在の仕事の継続意向	44
5-1 3. 転職、退職意向の理由	45
5-1 4. 仕事上で困ること	46
5-1 5. 無職の理由	47
5-1 6. 無職者の希望する就労形態	48
5-1 7. 取得したい資格・技術	49
5-1 8. 資格・技術の取得予定の有無	50
5-1 9. 資格・技術の取得予定がない理由	50
6. 住居の状況	51
6-1. 住宅の種類	51
6-2. 家賃	52
6-3. 公営住宅への入居希望	53
6-4. 母子生活支援施設への入居希望・経験	53
7. 家計の状況	54
7-1. 世帯の年収	54
7-2. 親の月収	55
7-3. 世帯の主な収入源	56
7-4. 生活状況	57
7-5. 現在受けている年金や手当	58
8. 健康について	59
8-1. 健康状態	59
8-2. 加入している医療保険	60
8-3. 親が病気の際、世話をしてもらえる人	61
8-4. 子どもが病気の際、主に世話をする人	62
9. 困っていること、悩みについて	63
9-1. ひとり親世帯になった当時に困ったこと	63
9-2. 子ども以外についての悩み	64
9-3. 子どもについての悩み	65
9-4. 困ったときの主な相談相手	66
10. 行政や福祉制度について	67
10-1. 行政や福祉制度に対する要望	67
10-2. 福祉制度の利用状況	68
10-3. 福祉制度の利用意向	72

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

「香川県ひとり親家庭等自立支援計画」の策定にあたり、県内の母子家庭、父子家庭及び寡婦(以下「ひとり親家庭」という。)の生活実態等を把握し、今後のひとり親家庭への福祉施策を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の対象

- (1) 母子世帯 : 令和5年8月1日現在、県内に住所を有し、現に児童を扶養している配偶者のいない女子とその児童からなる世帯(児童は、児童扶養手当受給者の児童:18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者、又は20歳未満で政令の定める程度の障害の状態にある者)
- (2) 父子世帯 : 令和5年8月1日現在、県内に住所を有し、現に児童を扶養している配偶者のいない男子とその児童からなる世帯(児童は、児童扶養手当受給者の児童:18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者、又は20歳未満で政令の定める程度の障害の状態にある者)
- (3) 寡婦 : 令和5年8月1日現在、県内に住所を有し、現に20歳未満の児童を扶養しておらず、かつ配偶者のいない女子で、かつて母子世帯の母として児童を扶養していたことがある者

3 調査対象の抽出方法

- (1) 母子世帯 : 児童扶養手当受給資格者名簿(6,724名)から無作為に抽出した3,000世帯(抽出率44.6%)
- (2) 父子世帯 : 児童扶養手当受給資格者名簿(466名)から無作為に抽出した360世帯(抽出率77.2%)
- (3) 寡婦 : 平成31年3月末に年齢18歳到達で資格喪失をした児童扶養手当受給者(母子家庭801名)台帳から、無作為抽出した寡婦250名(抽出率31.2%)

4 調査基準日及び調査期間

調査基準日: 令和5年8月1日

調査期間: 令和5年8月1日～8月31日

5 調査方法

- (1) 母子世帯 : 児童扶養手当現況届受付時に市町の窓口で調査票を配布し、郵送回収を行った。
- (2) 父子世帯 : 児童扶養手当現況届受付時に市町の窓口で調査票を配布し、郵送回収を行った。
- (3) 寡婦 : 郵送にて調査票を配布し、郵送回収を行った。

いずれも無記名のアンケート方式により実施

6 調査項目

- (1) ひとり親家庭の状況について
- (2) 養育費について
- (3) 面会交流について
- (4) 子どもの習い事について
- (5) 親の就業状況
- (6) 住居の状況
- (7) 家計の状況
- (8) 健康について
- (9) 困っていることや悩みについて
- (10) 行政や福祉制度について

7 回収結果

	母子世帯	父子世帯	寡婦	合計
配布数	2,958	295	235	3,488
有効回収数	878	72	65	1,015
有効回収率	30.1%	24.4%	27.7%	29.1%

8 摘要

N：世帯数、人数など選択肢ごとの比率の基となる総数の数値を表わす。

%：グラフや表の横方向の合計値に対する選択肢ごとの比率を表わす。

9 集計分析

調査票集計及び調査結果の分析については、株式会社東京商工リサーチ が担当した。

10 報告書の見方

- (1) 複数の回答があった質問の場合、その回答の合計は100%にならない場合がある。
- (2) 回答は各設問の回答者数(Nまたはn)を奇数とした百分率(%)で表示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を上下することがある。

Ⅱ 調査結果

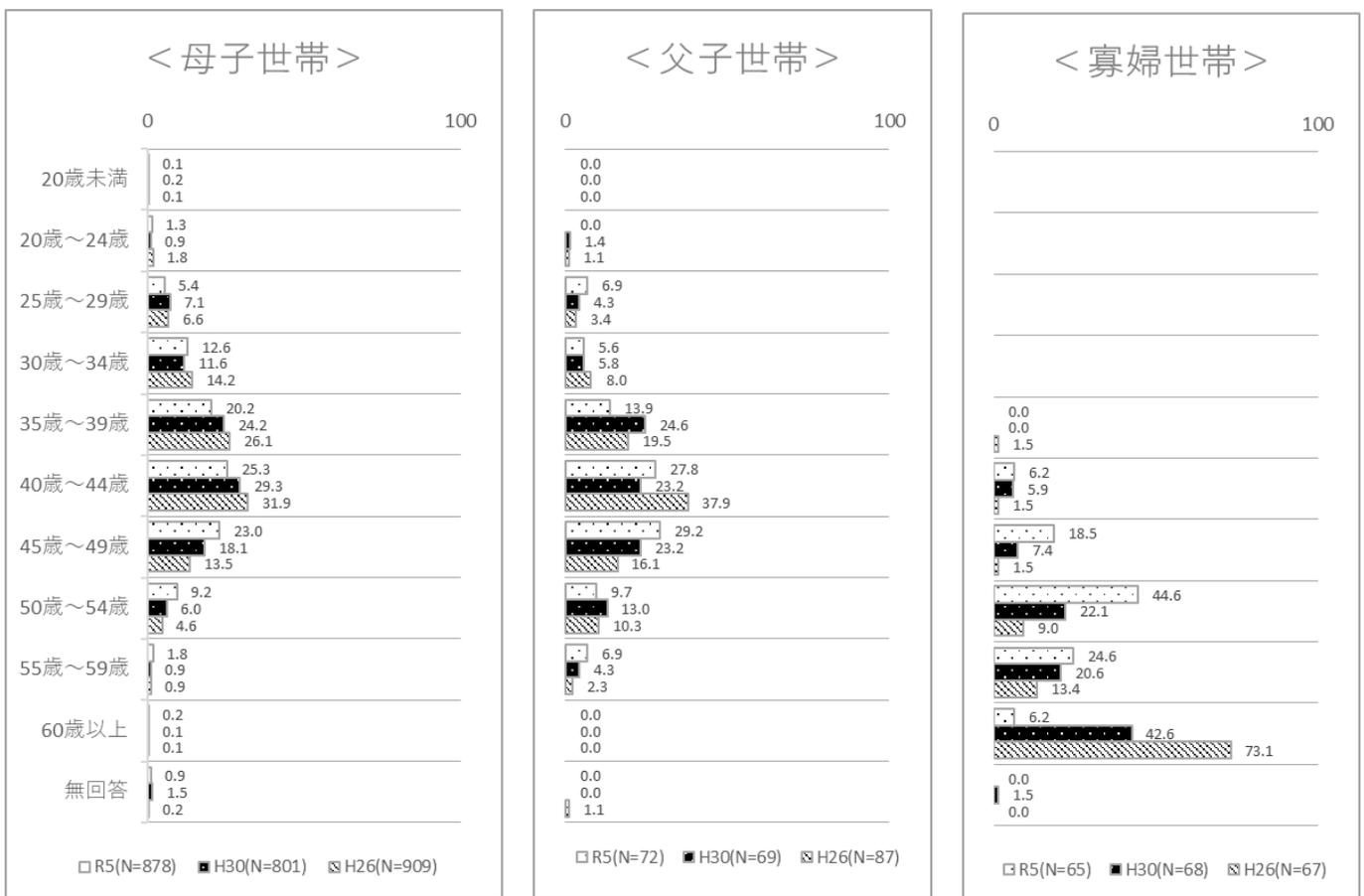
Ⅱ 調査結果

1. ひとり親家庭の状況について

1-1. ひとり親世帯の親の年齢

- <母子世帯>の母親の年齢は「40歳～44歳」(25.3%)が最も多く、次いで「45歳～49歳」(23.0%)となっている。
- <父子世帯>の父親の年齢は「45歳～49歳」(29.2%)が最も多く、次いで「40歳～44歳」(27.8%)となっている。
- <寡婦世帯>の親の年齢は「50歳～54歳」(44.6%)が最も多く、次いで「55歳～59歳」(24.6%)となっている。

あなたの年齢は何歳ですか。（○は1つだけ）



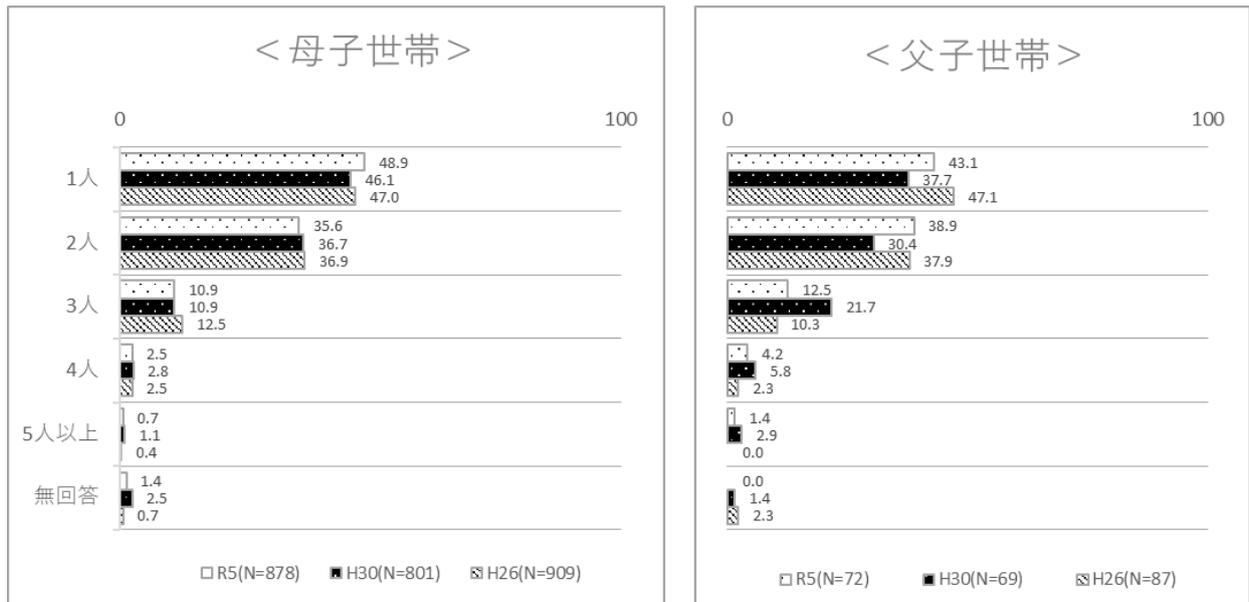
ひとり親世帯の親の年齢（平均）	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	41.0歳	43.1歳	52.2歳
平成30年度	40.0歳	42.4歳	55.5歳
平成26年度	39.2歳	41.7歳	60.8歳

1-2. 20歳未満の子どもの人数（※母子・父子のみ）

- <母子世帯>では扶養している子どもの数は「1人」(48.9%)が最も多く、次いで「2人」(35.6%)となっている。
- <父子世帯>では扶養している子どもの数は「1人」(43.1%)が最も多く、次いで「2人」(38.9%)となっている。

20歳未満のお子さんは何人ですか（扶養している別居中のお子さんも含みます。）（○は1つだけ）

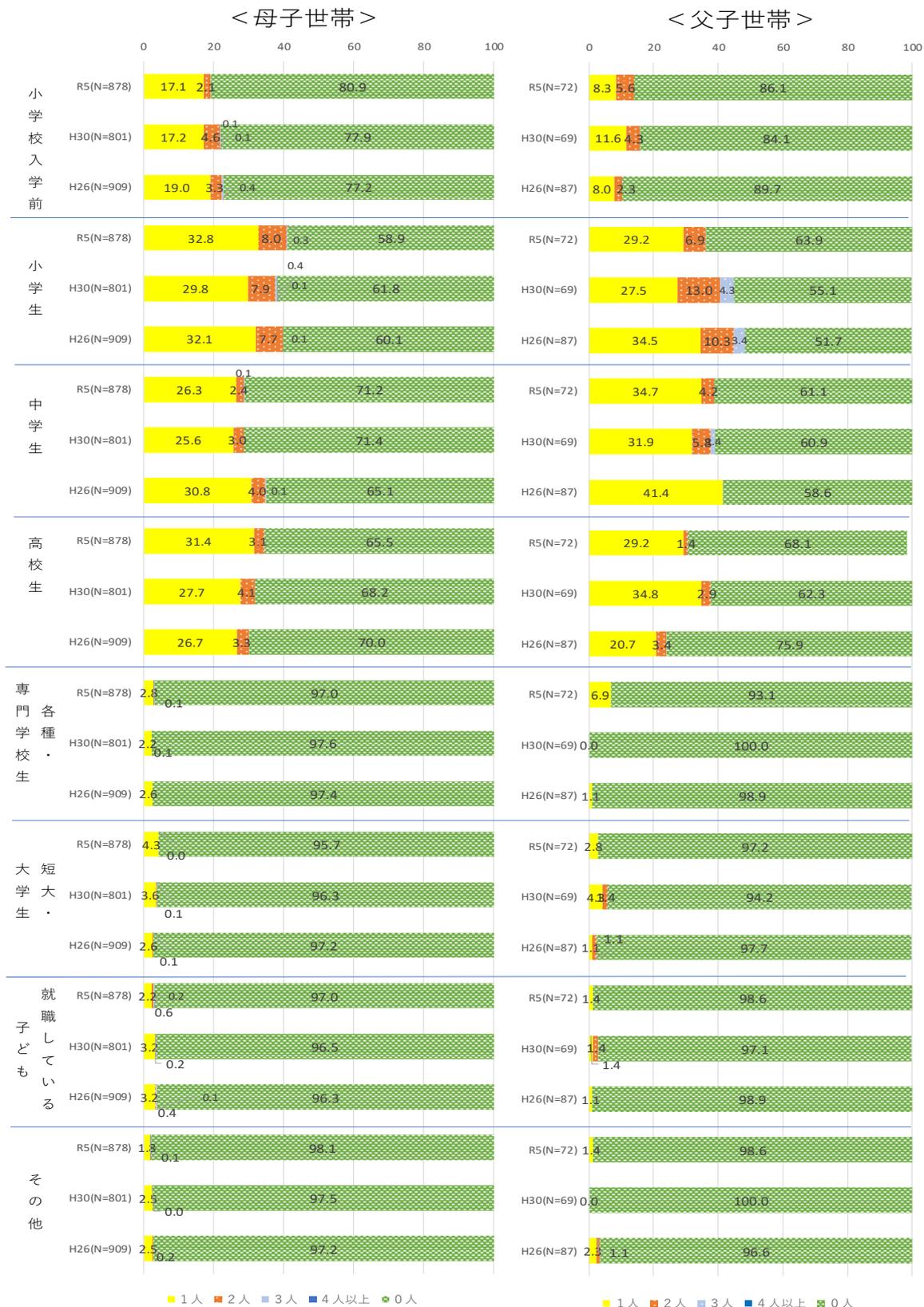
【扶養している子どもの人数】



1-3. 学齢別の子ども的人数と割合（※母子・父子のみ）

- ＜母子世帯＞では『小学生入学前』の子どもがいる世帯は 19.3%、『小学生』の子どもがいる世帯は 41.1%、『中学生』の子どもがいる世帯は 28.8%、『高校生』の子どもがいる世帯は 34.5%となっている。
- ＜父子世帯＞では『小学生入学前』の子どもがいる世帯は 13.9%、『小学生』の子どもがいる世帯は 36.1%、『中学生』の子どもがいる世帯は 38.9%、『高校生』の子どもがいる世帯は 30.6%となっている。

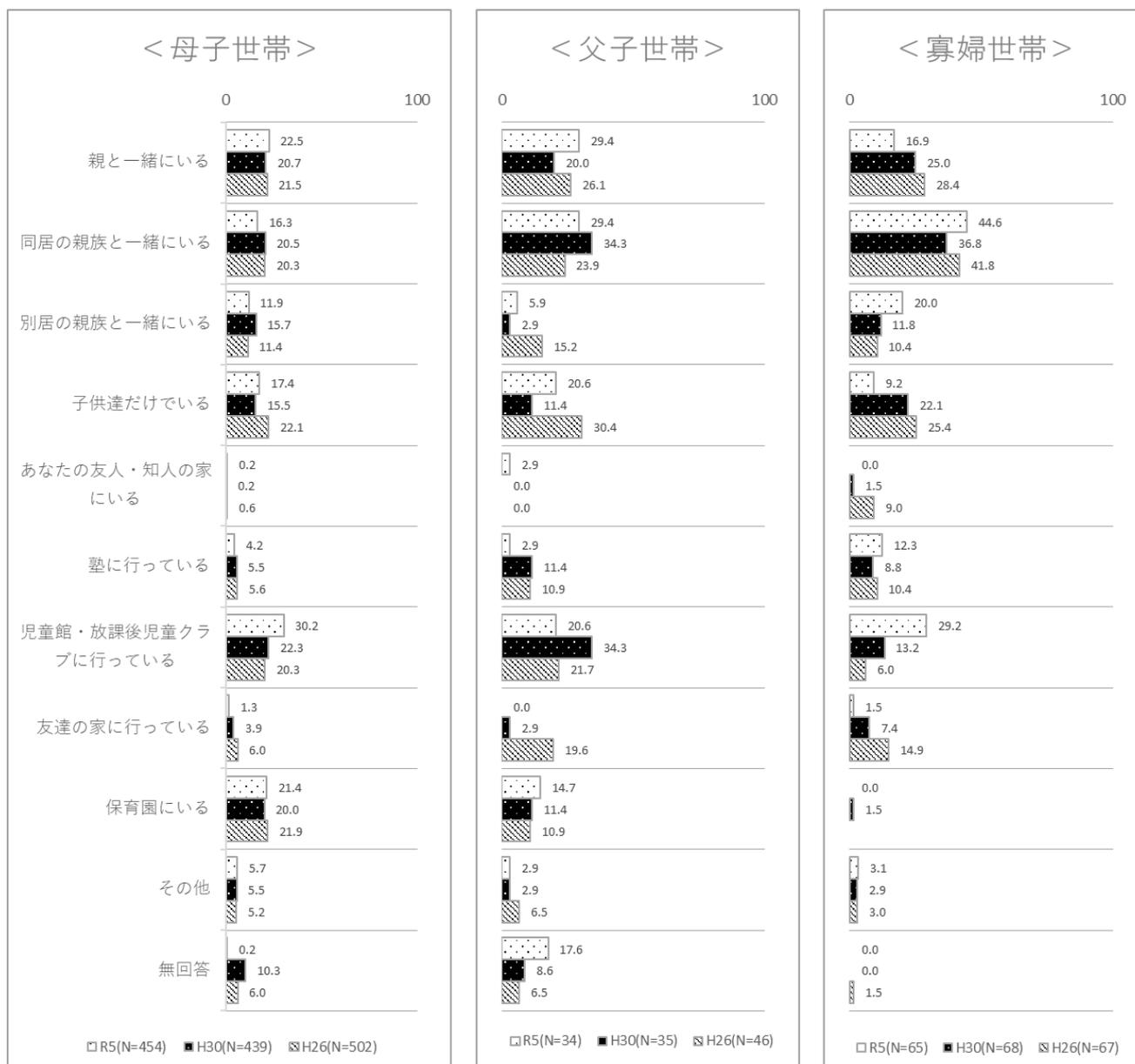
【学齢別の子ども的人数と割合】



1-4. 子どもが放課後に過ごす場所

- <母子世帯>では「児童館・放課後児童クラブに行っている」(30.2%)が最も多く、次いで「親と一緒にいる」(22.5%)となっている。
- <父子世帯>では「親と一緒にいる」「同居の親族と一緒にいる」(29.4%)が同率で最も多くなっている。
- <寡婦世帯>では過去についての質問をしているが、「同居の親族と一緒にいた」(44.6%)が最も多くなっている。

小学校入学前、小学生のお子さんをお持ちの方にお尋ねします。
お子さんが放課後に過ごす場所はどこですか。(〇は3つまで)



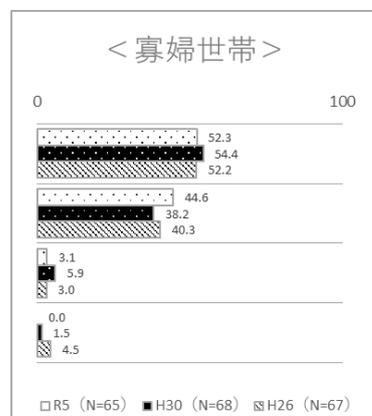
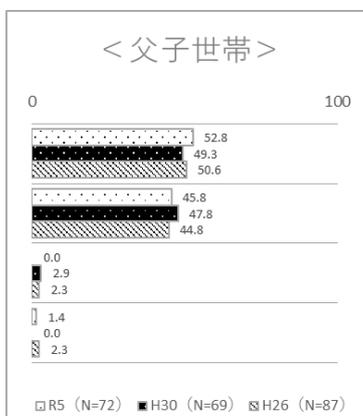
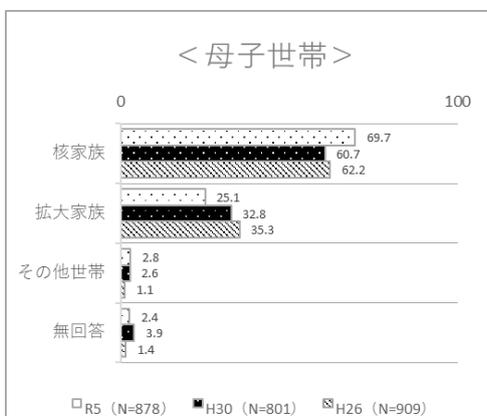
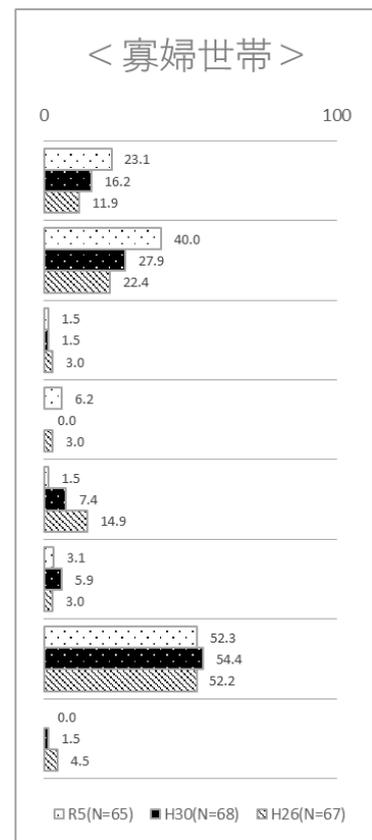
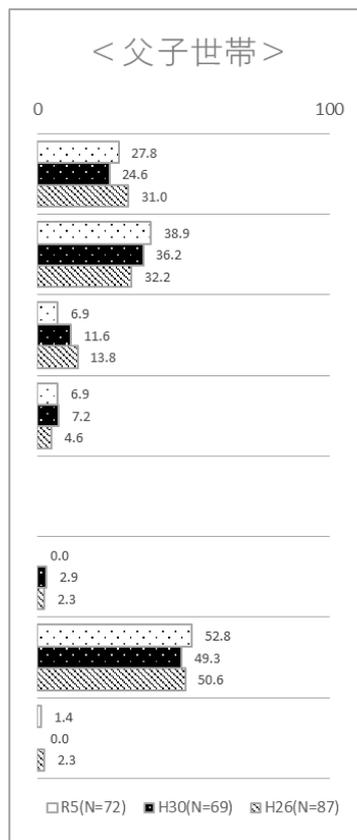
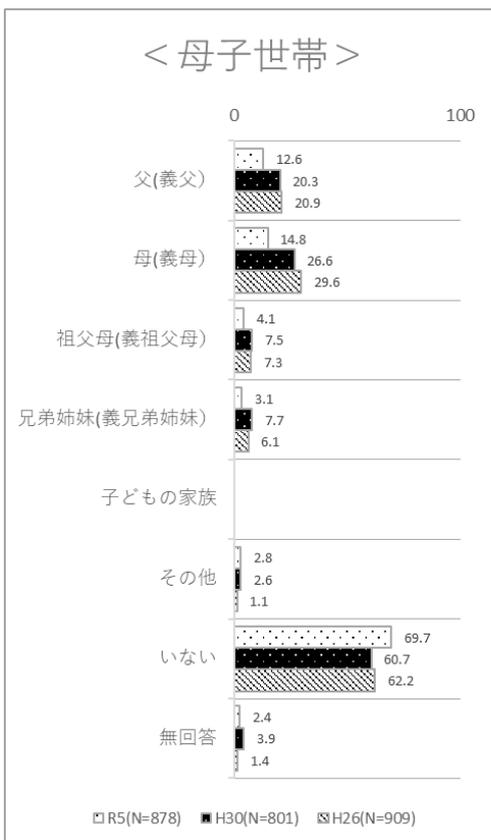
1-5. 同居者の状況

- <母子世帯>では「いない」(69.7%)が最も多く、次いで「母(義母)」(14.8%)、「父(義父)」(12.6%)の順である。
- <父子世帯>でも「いない」(52.8%)が最も多く、次いで「母(義母)」(38.9%)、「父(義父)」(27.8%)の順である。
- <寡婦世帯>でも「いない」(52.3%)が最も多く、次いで「母(義母)」(40.0%)、「父(義父)」(23.1%)の順となっている。

世帯構成別にみると、

- <母子世帯>では「核家族世帯」(69.7%)が最も多く、次いで「拡大家族世帯」(25.1%)となっている。
- <父子世帯>でも「核家族世帯」(52.8%)が最も多く、次いで「拡大家族世帯」(45.8%)となっている。
- <寡婦世帯>でも「核家族世帯」(52.3%)が最も多く、次いで「拡大家族世帯」(44.6%)となっている。

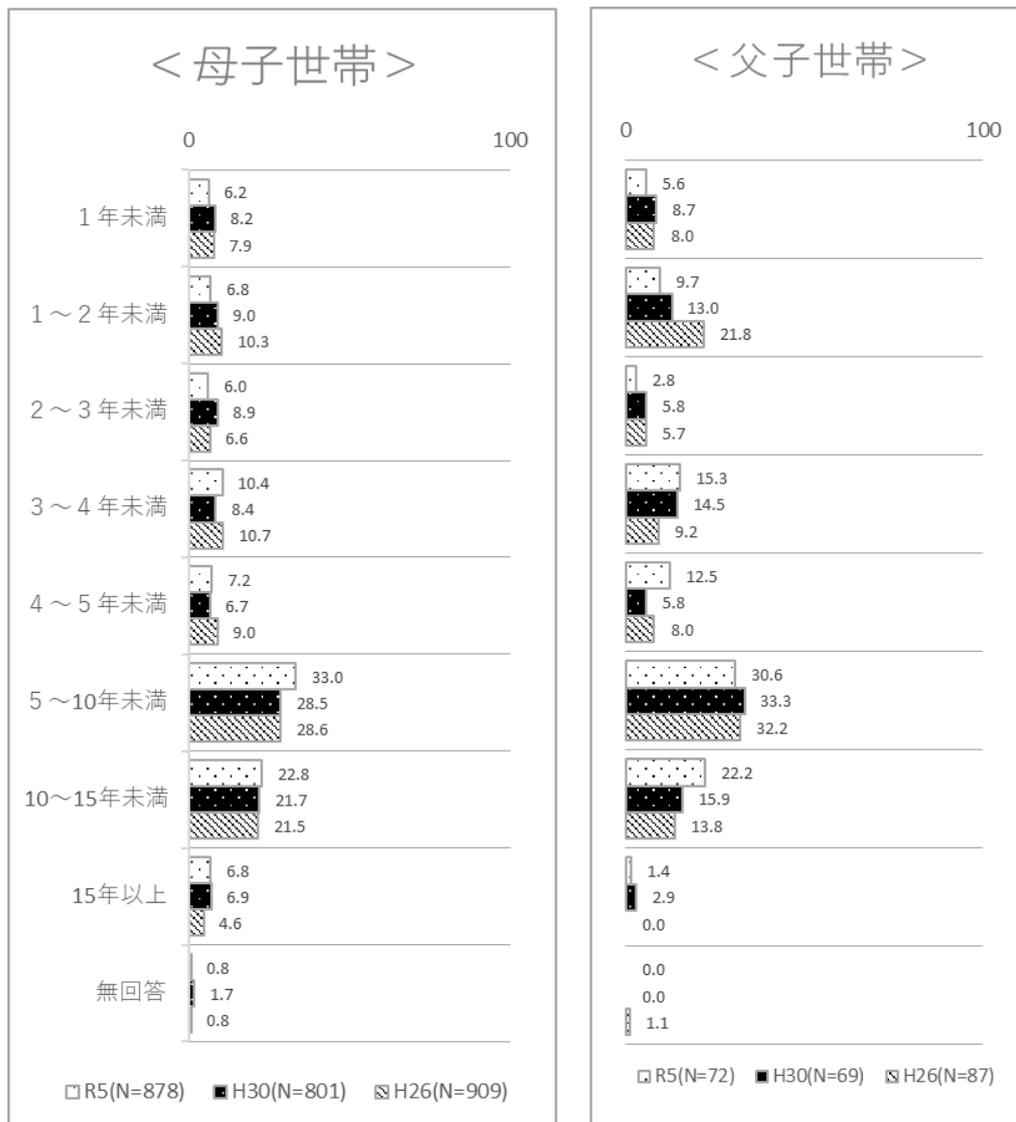
あなたは、お子さん以外にどなたと同居されていますか。(○はあてはまるものすべて)



1-6. ひとり親世帯になってからの期間（※母子・父子のみ）

- <母子世帯>では「5～10年未満」(33.0%)が最も多く、次いで「10～15年未満」(22.8%)となっている。
- <父子世帯>でも「5～10年未満」(30.6%)が最も多く、次いで「10～15年未満」(22.2%)となっている。

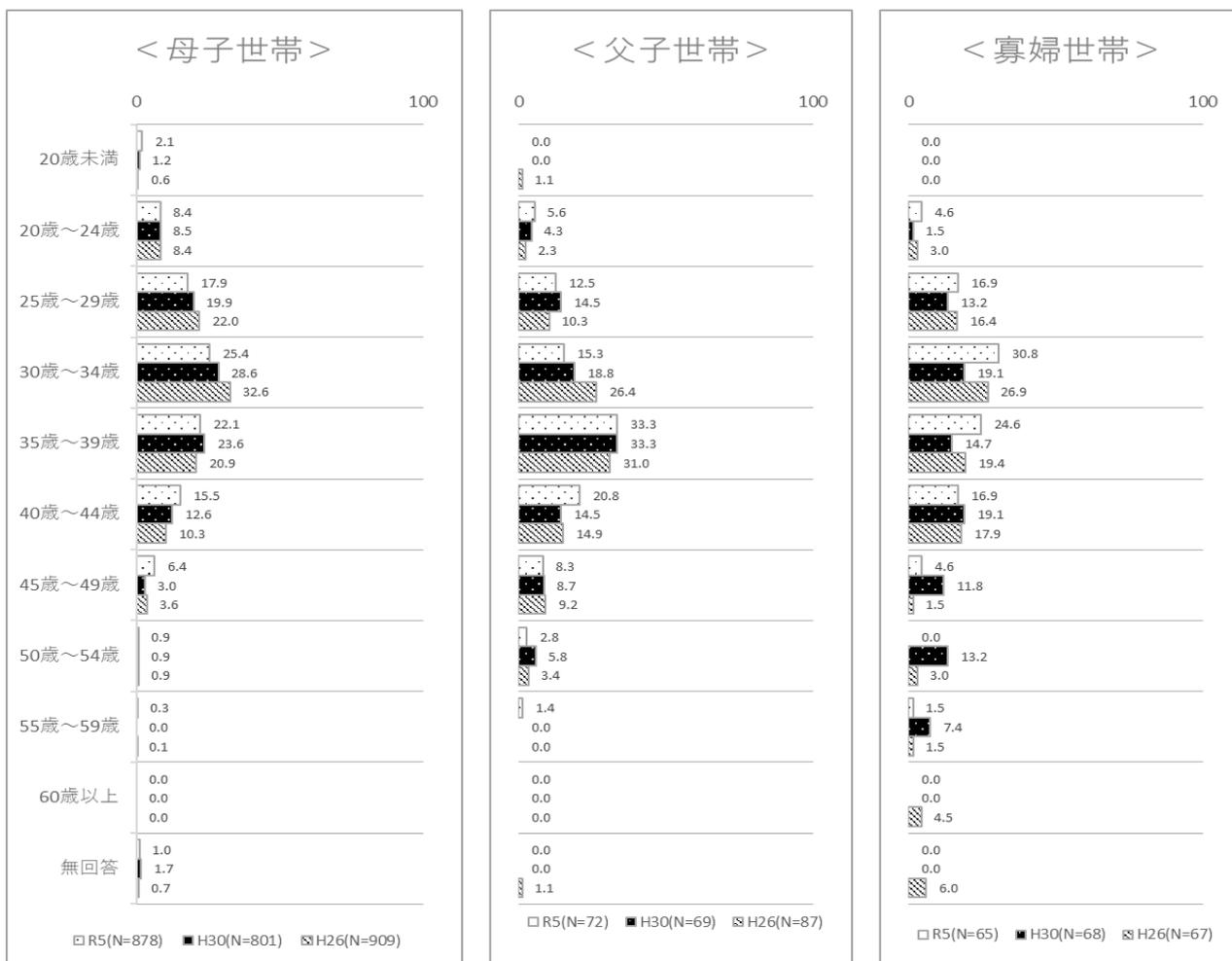
ひとり親世帯になって何年になりますか。（○は1つだけ）



1-7. ひとり親世帯になった時の年齢

- <母子世帯>では「30歳～34歳」(25.4%)が最も多く、次いで「35歳～39歳」(22.1%)となっている。
- <父子世帯>では前回同様に「35歳～39歳」(33.3%)が最も多く、次いで「40歳～44歳」(20.8%)となっている。
- <寡婦世帯>では、母子世帯と同様に「30歳～34歳」(30.8%)が多く、次いで「35歳～39歳」(24.6%)となっている。

ひとり親世帯になったのは何歳の時ですか。(○は1つだけ)



ひとり親世帯の親の年齢 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	33.9歳	35.5歳	32.8歳
平成30年度	33.3歳	36.4歳	40.1歳
平成26年度	32.8歳	36.3歳	-歳

1-8. ひとり親世帯になった理由

- <母子世帯>では「離婚(その他の理由)」(56.5%)が最も多く、傾向に変わりはない。
- <父子世帯>でも「離婚(その他の理由)」(80.6%)が最も多い。

ひとり親世帯になった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

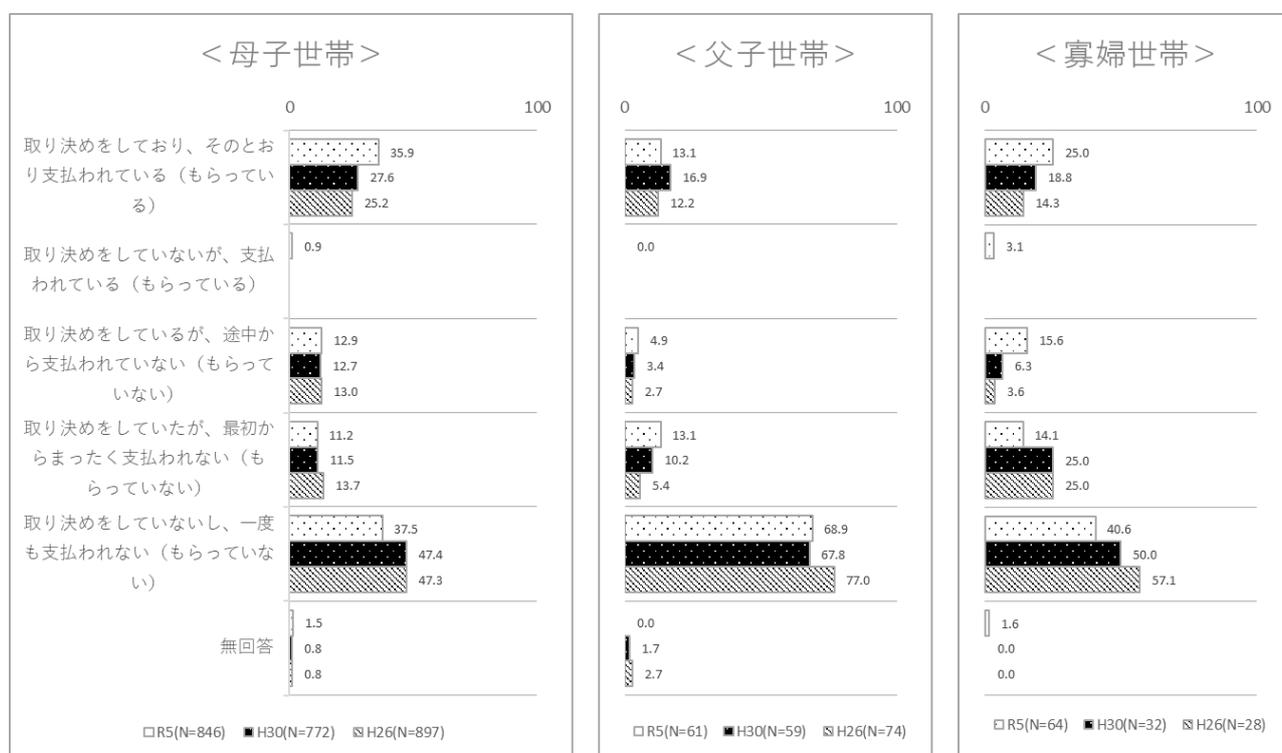


2. 養育費について

2-1. 養育費の取り決めの状況

- <母子世帯>では「取り決めているが、一度も支払われていない」(37.5%)が最も多く、次いで「取り決めている(していた)」合計は 60.0%で前回より8.2%、前々回より8.1%各々増加している。
- <父子世帯>では「取り決めているが、一度も支払われていない」(68.9%)が最も多く、前回より 1.1%増加、前々回よりは 8.1%減少している。
- <寡婦世帯>では「取り決めているが、一度も支払われていなかった」(40.6%)が最も多く、前回より 9.4%、前々回より 16.5%各々減少している。

養育費について取り決めていますか。(いましたか) また支払いは取り決めどおりですか。(でしたか)



ひとり親世帯になってからの期間別にみると、

■<母子世帯>では「ひとり親世帯になってから10年未満の世帯」については「取り決めをしており、そのとおり支払われている」の割合が高くなっている。

■<父子世帯>では「ひとり親世帯になってから3年以上の世帯」では「取り決めをしていないし、一度も支払われていない」の割合が高くなっている。

【ひとり親世帯になってからの期間別、養育費の取り決めの状況】

		調査数(人)	その取り決めを しており、 支払われている (もらっている)	取り決めをしていないが、 支払われている (もらっている)	途中から支払われていない (もらっていない)	初取り決めをしていないが、 最初からまったく支払われ ない (もらっていない)	取り決めをしていないし、 一度も支払われていない (もらっていない)	無回答
母子世帯(全体)		846	35.9	0.9	12.9	11.2	37.5	1.5
ひとり親 期間 別 な っ て か ら の	1年未満	51	60.8	3.9	7.8	5.9	21.6	-
	1～2年未満	57	49.1	1.8	12.3	8.8	24.6	3.5
	2～3年未満	50	38.0	-	12.0	14.0	36.0	-
	3～4年未満	88	44.3	-	5.7	9.1	40.9	-
	4～5年未満	59	42.4	-	25.4	6.8	23.7	1.7
	5～10年未満	281	34.5	0.7	16.4	13.5	33.5	1.4
	10～15年未満	199	29.1	1.0	8.0	12.1	46.7	3.0
	15年以上	60	11.7	1.7	16.7	10.0	60.0	-
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-
父子世帯(全体)		61	13.1	-	4.9	13.1	68.9	-
ひとり親 期間 別 な っ て か ら の	1年未満	3	-	-	-	-	100	-
	1～2年未満	7	57.1	-	-	-	42.9	-
	2～3年未満	2	100.0	-	-	-	-	-
	3～4年未満	9	44.4	-	-	-	55.6	-
	4～5年未満	8	12.5	-	-	25.0	62.5	-
	5～10年未満	20	30.0	-	10.0	15.0	45.0	-
	10～15年未満	12	25.0	-	25.0	8.3	33.3	8.3
	15年以上	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

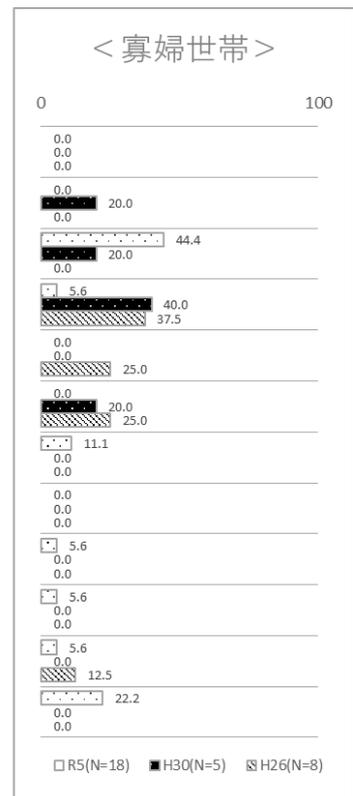
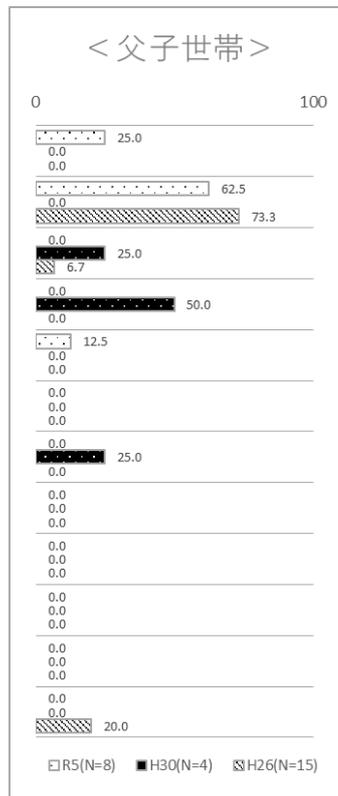
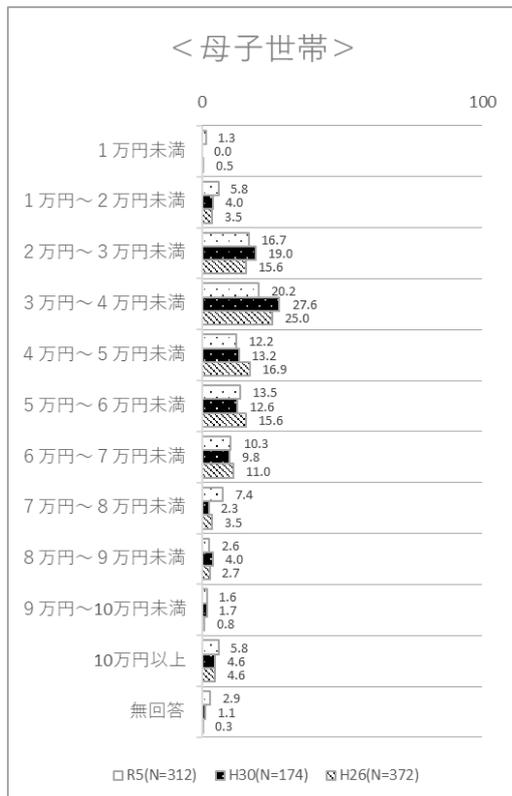
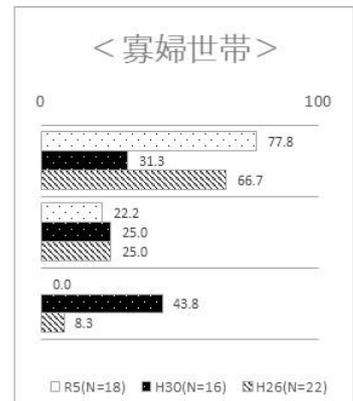
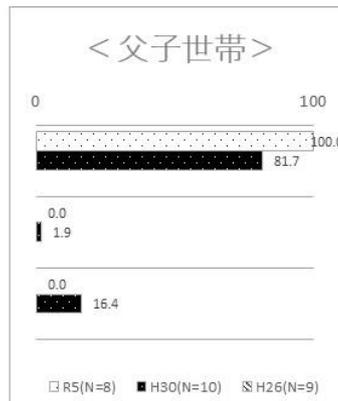
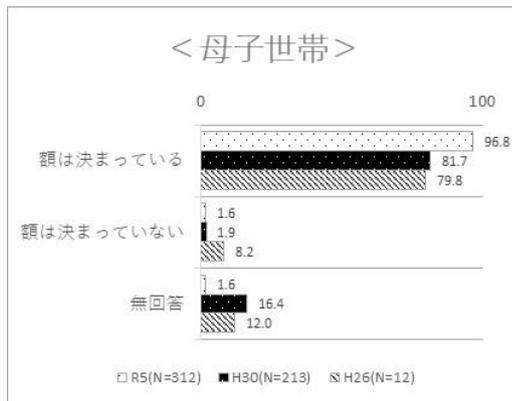
2-2. 養育費の取り決め額

- <母子世帯>では「額は決まっている」(96.8)%が最も多く、前回、前々回と同じ。
- <父子世帯><寡婦世帯>も「額は決まっている」(100.0%)(77.8%)が最も多い。

養育費の取り決め額(月額)をみると、

- <母子世帯>では「3万円～4万円未満」(20.2%)が最も多く、次いで「2万円～3万円未満」(16.7%)となっている。平均額は4.47万円。
- <父子世帯>では「1万円～2万円未満」(62.5%)が最も高く、次いで「1万円未満」(25.0%)となっている。平均額は1.23万円。

養育費について取り決めをしている方にお尋ねします。養育費の額はおいくらですか。(○は1つだけ)

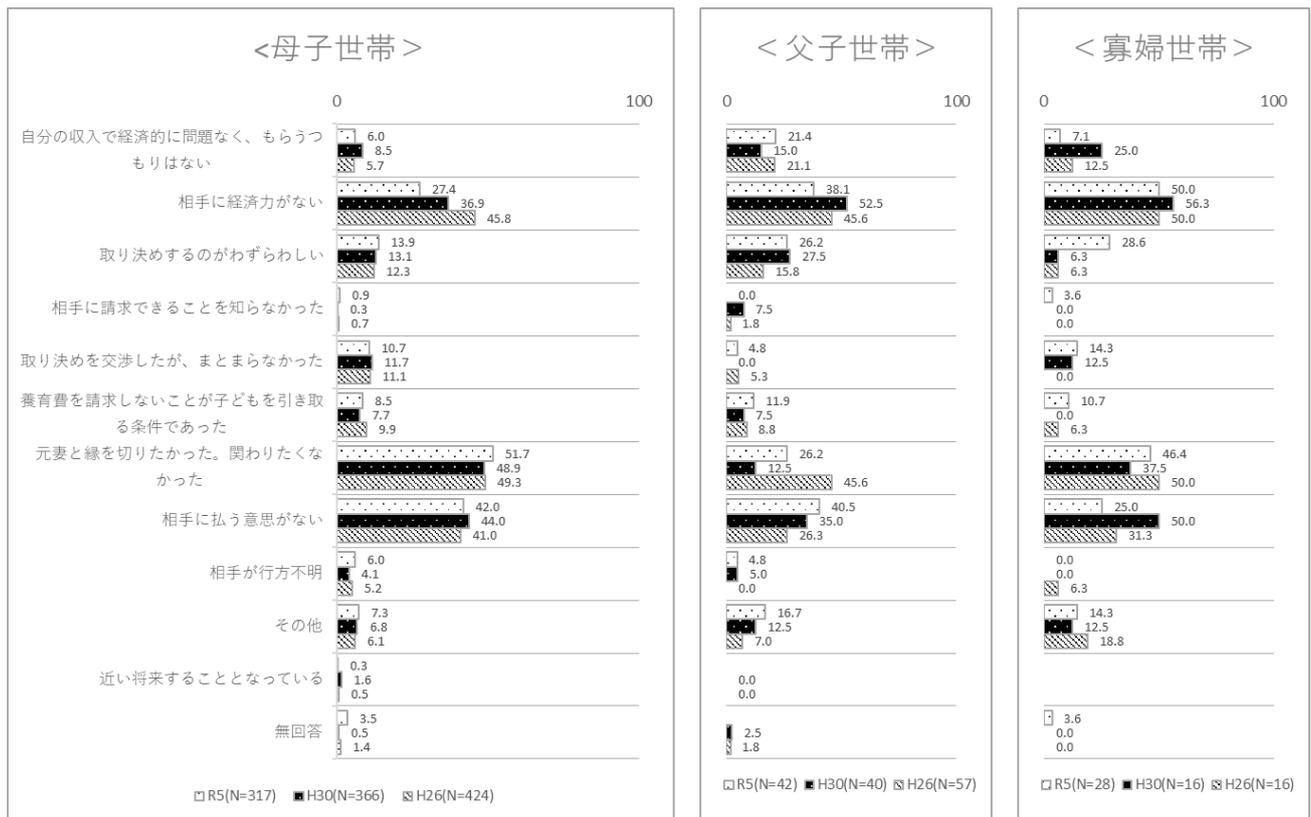


養育費の取り決め額 (月額平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	4.47万円	1.23万円	4.46万円
平成30年度	4.23万円	3.50万円	2.80万円
平成26年度	4.28万円	1.90万円	5.25万円

2-3. 養育費の取り決めをしていない・しなかった理由

- <母子世帯>では「元夫と縁を切りたかった。関わりたくなかった」(51.7%)が最も多い。次いで、「相手に払う意思がない」(42.0%)、「相手に経済力がない」(27.4%)となっている。
- <父子世帯>では「相手に払う意思がない」(40.5%)が最も多く、次いで「相手に経済力がない」(38.1%)となっている。
- <寡婦世帯>では「相手に経済力がない」(50.0%)が最も多く、次いで「元夫と縁を切りたかった。関わりたくなかった」(46.4%)となっている。

取り決めをしていない方について、取り決めをしなかった主な理由をお答えください。(○は3つまで)



2-4. 養育費の取り決めの相談相手

- <母子世帯>では「だれにも相談していない」(33.7%)が最も多く、前回より 14.5%、前々回より 7.1%各々増加している。
- <父子世帯>でも「だれにも相談していない」(52.8%)が最も多く、次いで「弁護士」(9.7%)となっている。
- <寡婦世帯>でも「だれにも相談していない」(44.6%)が最も多く、次いで「家庭裁判所」(27.7%)となっている。

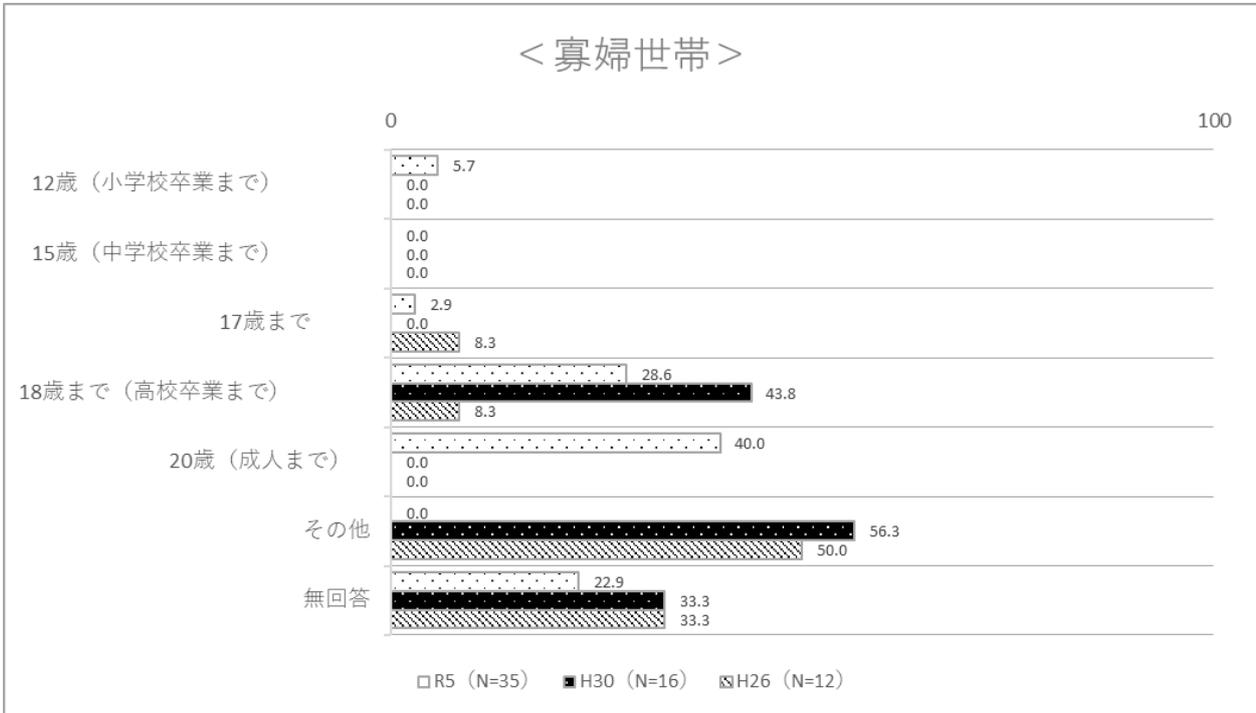
養育費について取り決めをする際、だれかに相談しましたか。(○はあてはまるものすべて)



2-5. 養育費の取り決め額の支払期間（※寡婦のみ）

■<寡婦世帯>「20歳まで(成人まで)」(40.0%)が最も多く、次いで「18歳まで(高校卒業まで)」(28.6%)となっている。

養育費について取り決めをしている方にお尋ねします。養育費はお子さんが何歳まで支払われましたか。（○は1つだけ）



3. 面会交流について

3-1. 面会交流の取り決めの状況

- <母子世帯>では「取り決めていない」(43.8%)が最も多く、前回より 3.8%減少。次いで「お互いの協議で取り決めたが、文書や記録はない」(18.5%)となっており、前回とほぼ同じ。
- <父子世帯>でも同様の傾向である。
- <寡婦世帯>では「とり決めていなかった」(52.3%)が最も多く、次いで「家庭裁判所の調停により取り決めた」(20.0%)と続いた。

離婚した元配偶者（母子世帯であればお子さんの実父、父子世帯であればお子さんの実母）とお子さんとの面会交流の取り決めの状況について、お答えください。（○は1つだけ）

「面会交流」とは、子どもと離れて暮らしているお子さんの実父又は、実母が、子どもと定期的、継続的に会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法で交流することです。



3-2. 面会交流の取り決めをしていない理由

- <母子世帯>では「相手と関わりたくないから」(35.1%)が最も多く、次いで「相手に面会交流の意思がないと思ったから」(17.4%)となっており、前回とほぼ同じ。
- <父子世帯>でも「相手と関わりたくないから」(38.5%)がもっとも多く、前回より13.5%増加。次いで「取り決めの交渉がわずらわしかったから」(30.8%)で前回より12.9%増加している。
- <寡婦世帯>では、「その他」(26.5%)が最も多く、次いで「相手と関わりたくないから」(20.6%)となっている。

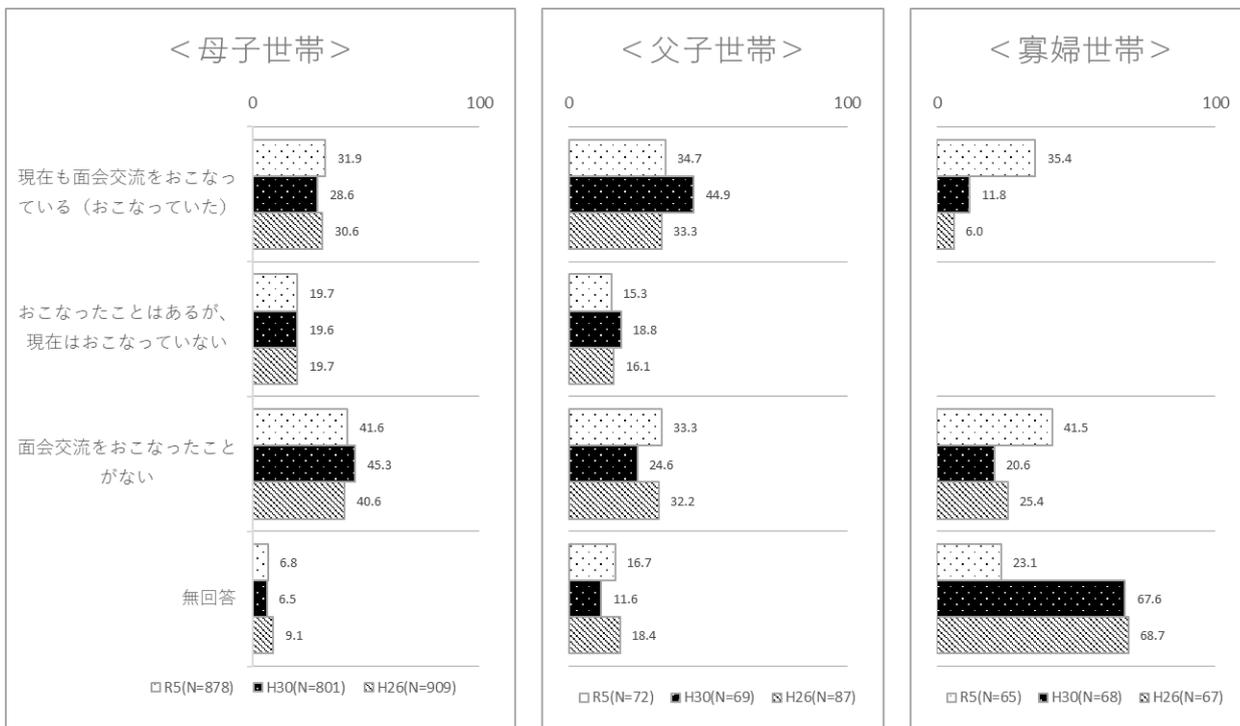
面会交流の取り決めをしていない理由のうち、最も近い理由を選んでください。(○は1つだけ)



3-3. 面会交流の実施状況

- <母子世帯>では「面会交流をおこなったことがない」(41.6%)が最も多くなっており、前回より3.7%減少。
- <父子世帯>では「現在も面会交流をおこなっている」(34.7%)が最も多くなっており、前回より10.2%減少。
- <寡婦世帯>では「面会交流をおこなったことがない」(41.5%)が最も多くなっており、前回より20.9%増加。

面会交流の実施状況について、あてはまるものを選んでください。(面会交流の有無に関わらずお答えください)(○は1つだけ)



養育費の取り決めと支払い状況別にみると、

■<母子世帯>【取り決めをしていないし、一度も支払われない(もらっていない)】では「面会交流をおこなったことがない」(57.1%)が最も高くなっており、【取り決めをしており、そのとおり支払われている(もらっている)】では「現在も面会交流をおこなっている」(53.0%)が最も高くなっている。

【養育費の取り決めと支払い状況別、面会交流の実施状況】

		調査数(人)	現在も面会交流をおこなっている	おこなったことはあるが現在はおこなっていない	面会交流をおこなったことがない	無回答
母子世帯(全体)		846	32.7	20.2	42.2	4.8
養育費の支払い状況と	取り決めをしており、そのとおり支払われている(もらっている)	304	53.0	16.8	28.9	1.3
	取り決めをしていないが、支払われている(もらっている)	8	50.0	37.5	0.0	12.5
	取り決めをしているが、途中から支払われていない(もらっていない)	109	29.4	38.5	29.4	2.8
	取り決めをしていたが、最初からまったく支払われない(もらっていない)	95	16.8	26.3	52.6	4.2
	取り決めをしていないし、一度も支払われない(もらっていない)	317	19.2	15.1	57.1	8.5
	無回答	13	23.1	15.4	46.2	15.4
父子世帯(全体)		61	39.3	18.0	36.1	6.6
養育費の支払い状況と	取り決めをしており、そのとおり支払われている(もらっている)	8	75.0	12.5	12.5	-
	取り決めをしていないが、支払われている(もらっている)	-	-	-	-	-
	取り決めをしているが、途中から支払われていない(もらっていない)	3	33.3	33.3	33.3	-
	取り決めをしていたが、最初からまったく支払われない(もらっていない)	8	50.0	-	50.0	-
	取り決めをしていないし、一度も支払われない(もらっていない)	42	31.0	21.4	38.1	-

ひとり親になってからの期間別にみると、

■<母子世帯>では5年未満では「現在も面会交流をおこなっている」の割合が高く、5年以上になると「面会交流をおこなったことがない」の割合が高くなっている。

■<父子世帯>でも同様の傾向となっている。

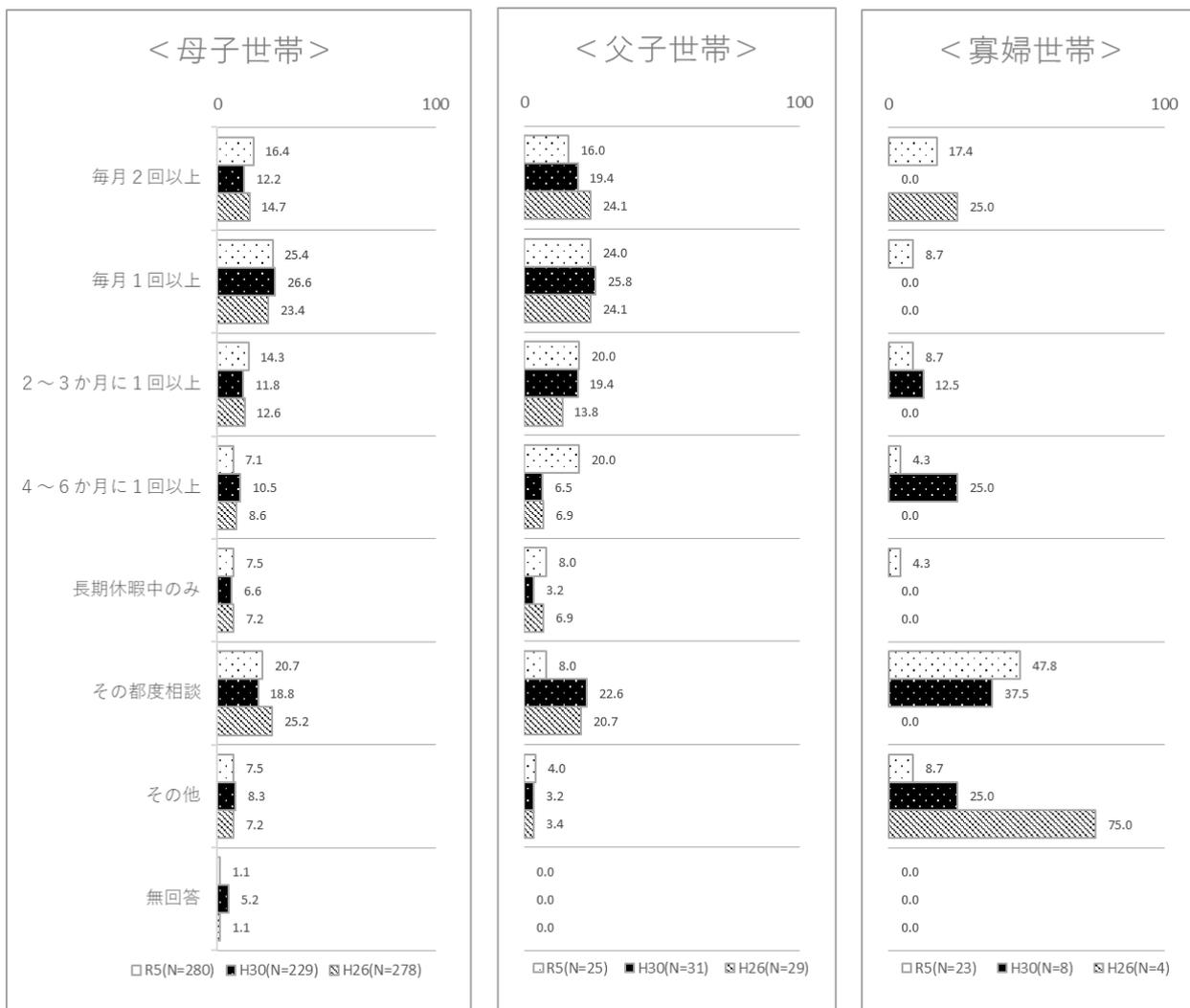
【ひとり親になってからの期間別、面会交流の実施状況】

		調査数 (人)	現在も面会交流を おこなっている	おこなったことはあるが 現在はおこなっていない	面会交流をおこなった ことがない	無回答
母子世帯 (全体)		871	31.9	19.9	41.6	6.7
ひとり親 期間別 になってからの	1年未満	54	59.3	11.1	24.1	5.6
	1～2年未満	60	40.0	18.3	36.7	5.0
	2～3年未満	53	43.4	11.3	39.6	5.7
	3～4年未満	91	34.1	20.9	40.7	4.4
	4～5年未満	63	41.3	15.9	34.9	7.9
	5～10年未満	290	32.4	21.0	39.3	7.2
	10～15年未満	200	20	24.5	48.0	7.5
	15年以上	60	13.3	18.3	61.7	6.7
父子世帯 (全体)		72	34.7	15.3	33.3	16.7
ひとり親 期間別 になってからの	1年未満	4	75.0	-	25.0	-
	1～2年未満	7	28.6	28.6	28.6	14.3
	2～3年未満	2	50.0	-	50.0	-
	3～4年未満	11	36.4	9.1	27.3	27.3
	4～5年未満	9	44.4	33.3	11.1	11.1
	5～10年未満	22	27.3	18.2	40.9	13.6
	10～15年未満	16	31.3	6.3	43.8	18.8
	15年以上	1	-	-	-	100.0

3-4. 面会交流の頻度

- <母子世帯>では「毎月1回以上」(25.4%)が最も多く、前回より1.2%減少。次いで「その都度相談」(20.7%)となっており、前回より1.9%増加。
- <父子世帯>でも「毎月1回以上」(24.0%)が最も多い。次いで「2～3ヶ月に1回以上」「4～6ヶ月に1回以上」(20.0%)となっている。
- <寡婦世帯>では「その都度相談」(47.8%)が最も多く、次いで「毎月2回以上」(17.4%)となっている。

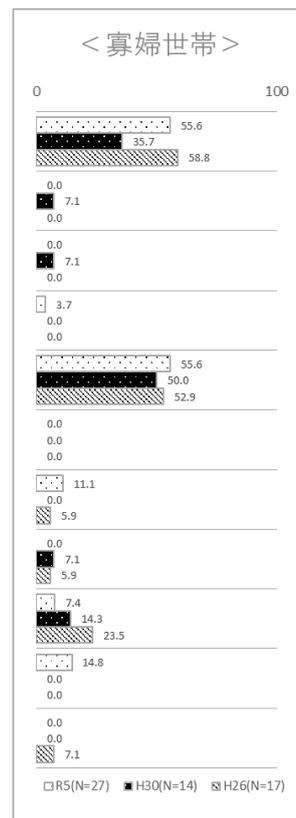
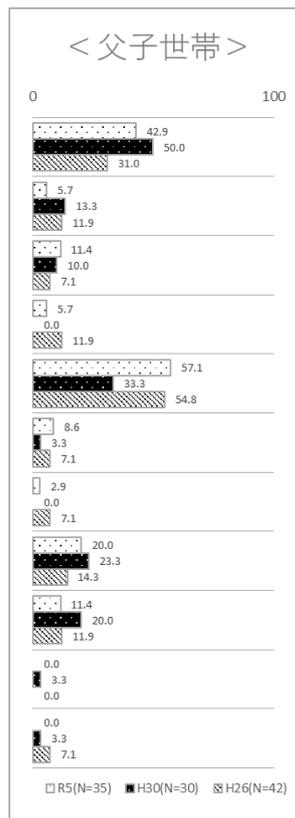
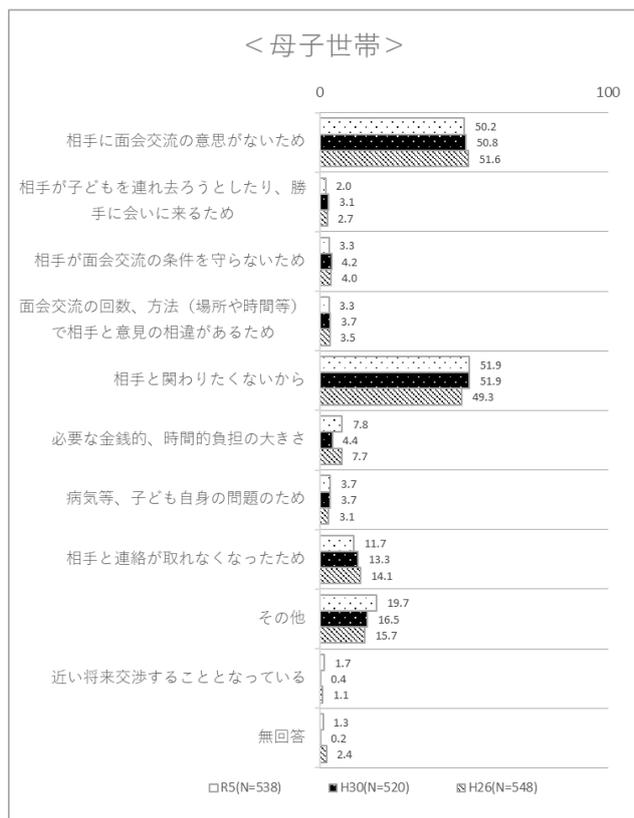
(現在も面会交流をおこなっている方(寡婦の方はおこなっていた方)について)、面会交流の頻度について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つだけ)



3-5. 面会交流を現在行っていない理由

- <母子世帯>では「相手と関わりたくないから」(51.9%)が最も多く、前回とほぼ同じ。次いで「相手に面会交流の意志がないため」(50.2%)となっており、前回とほぼ同じ。
- <父子世帯>では「相手と関わりたくないから」(57.1%)が最も多く、前回より 23.8%増加している。次いで「相手に面会交流の意志がないため」(42.9%)となっている。
- <寡婦世帯>では「相手に面会交流の意志がないため」「相手と関わりたくないから」(55.6%)が最も多くなっている。

(面会交流を「現在は行っていない」、「行ったことがない」方について)、その主な理由をお答えください。(〇は3つまで)

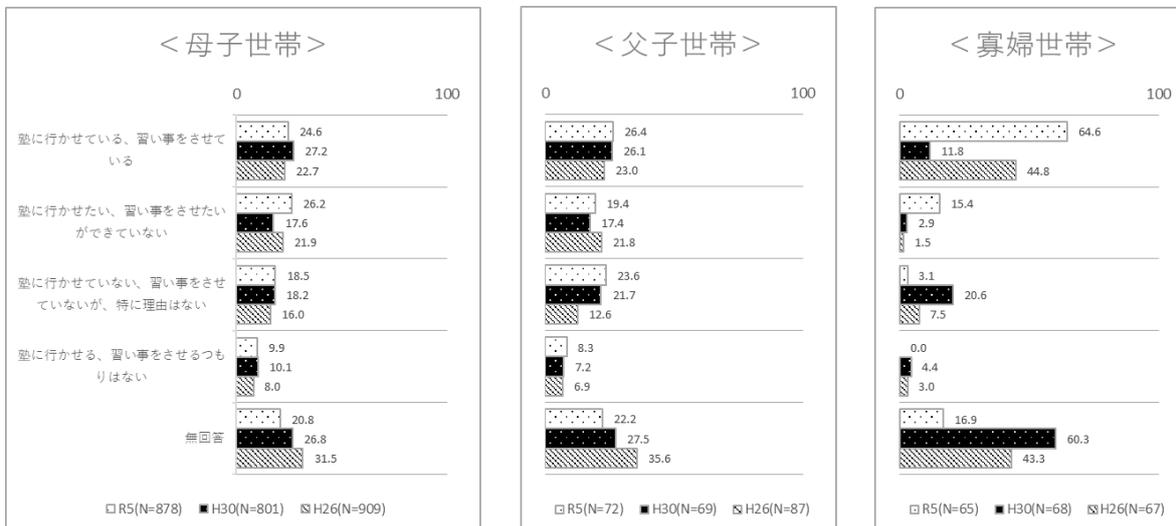


4. 子どもの習い事について

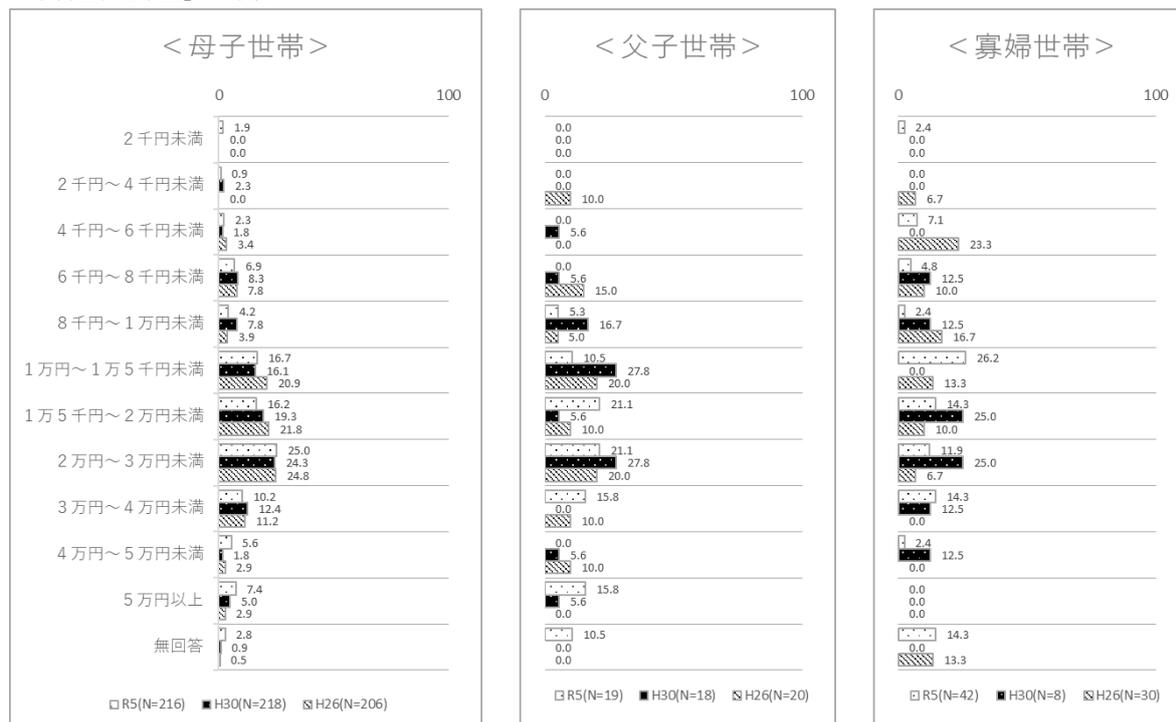
4-1. 子どもの習い事の有無と月額

あなたは、現在、お子さんを、【ア 学習塾、進学塾】に行かせていますか。（○は1つだけ）

【ア 学習塾、進学塾】



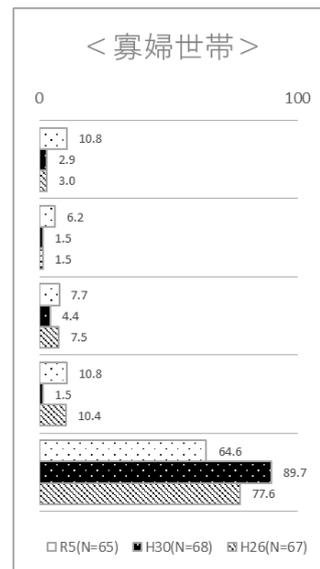
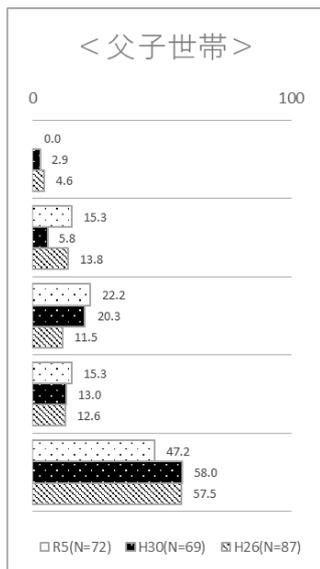
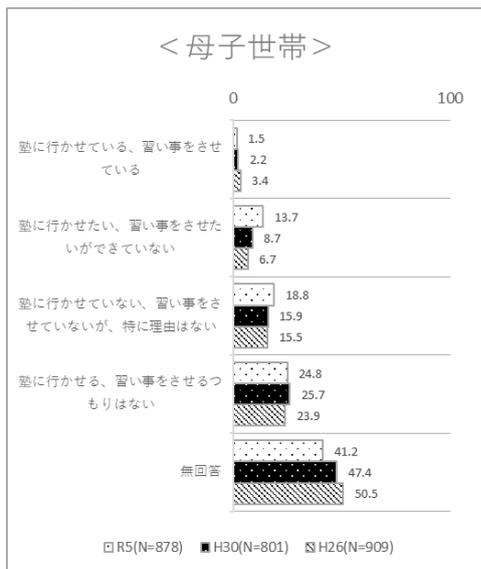
【ア 学習塾、進学塾】の月額



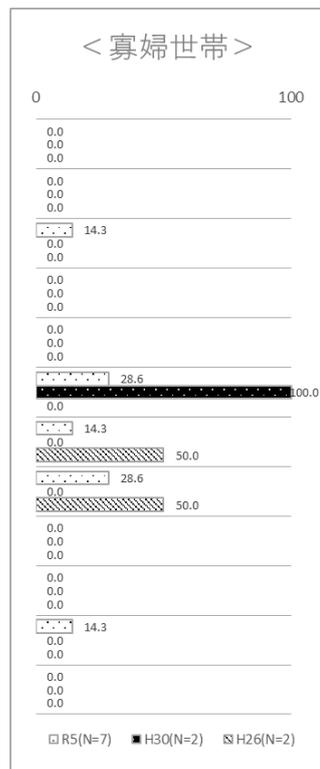
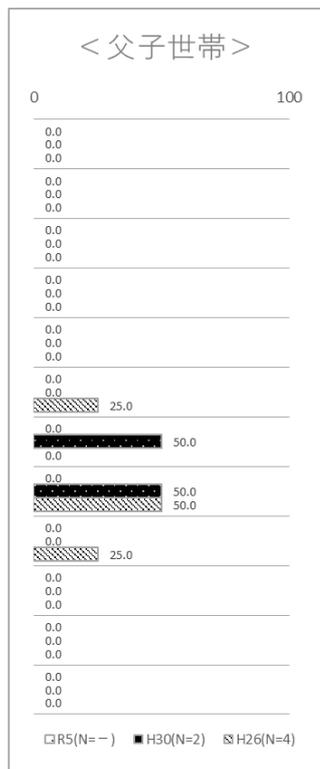
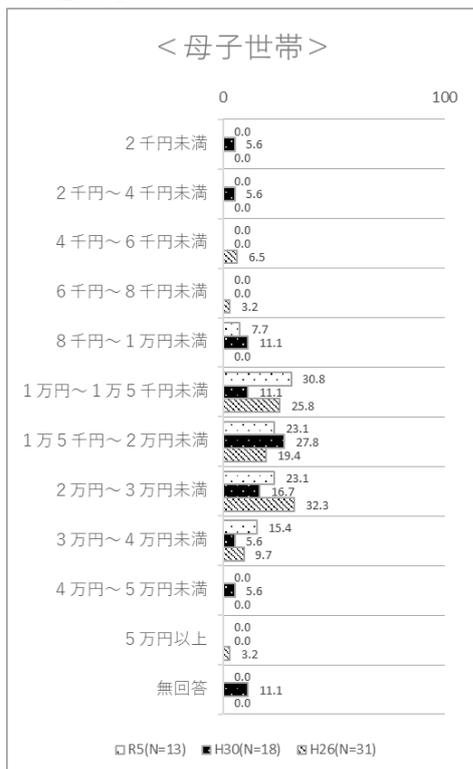
【ア 学習塾、進学塾】の月額（平均）	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	21,638 円	25,963 円	16,068 円
平成30年度	19,687 円	17,773 円	20,362 円

あなたは、現在、お子さんに、【イ 家庭教師】をつけていますか。（○は1つだけ）

【イ 家庭教師】



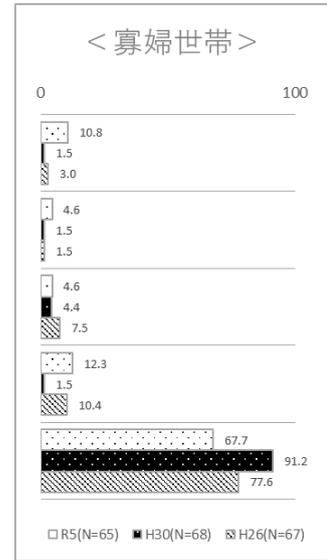
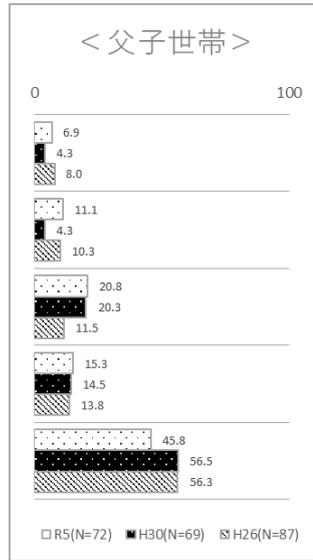
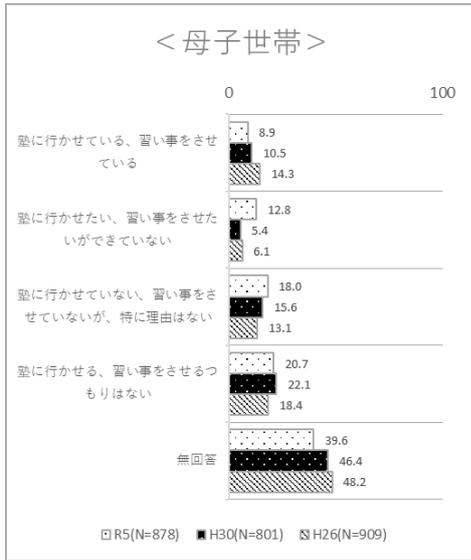
【イ 家庭教師】の月額



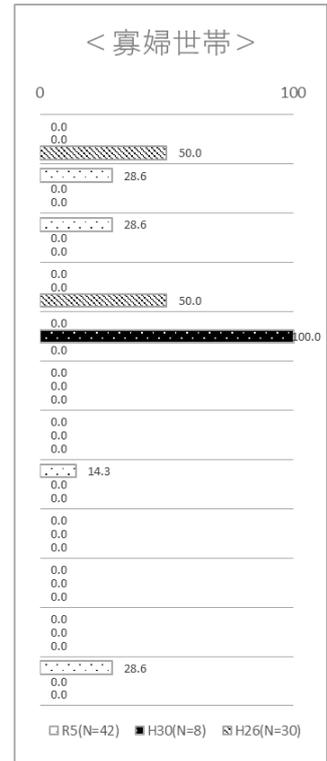
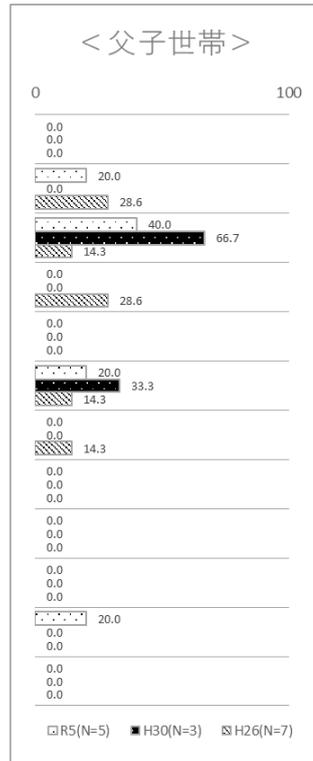
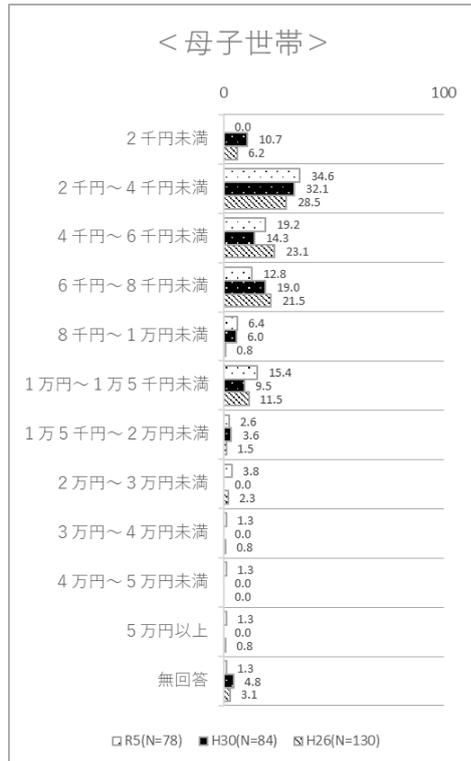
【イ 家庭教師】の月額（平均）	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	17,346円	-	18,571円
平成30年度	16,024円	21,500円	10,000円

あなたは、現在、お子さんに、【ウ 通信教育】を受けさせていますか。(○は1つだけ)

【ウ 通信教育】



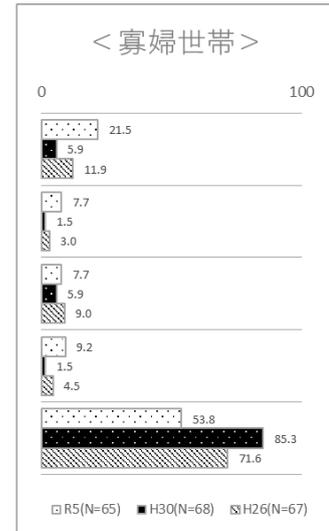
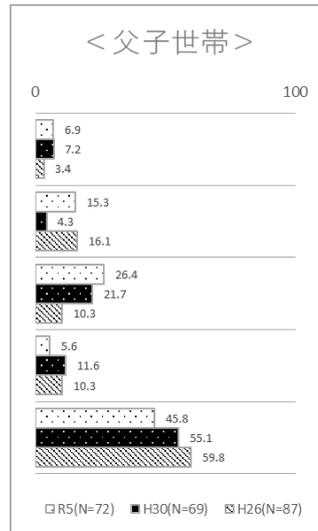
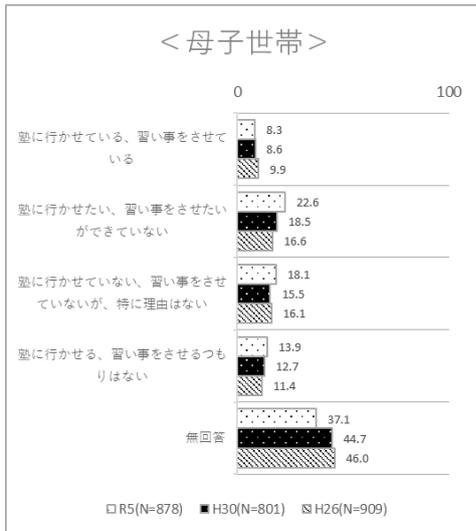
【ウ 通信教育】の月額



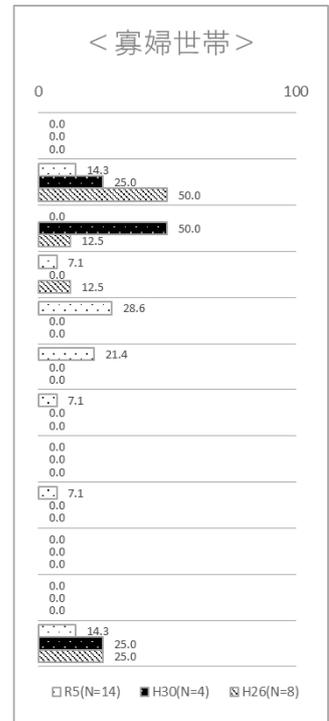
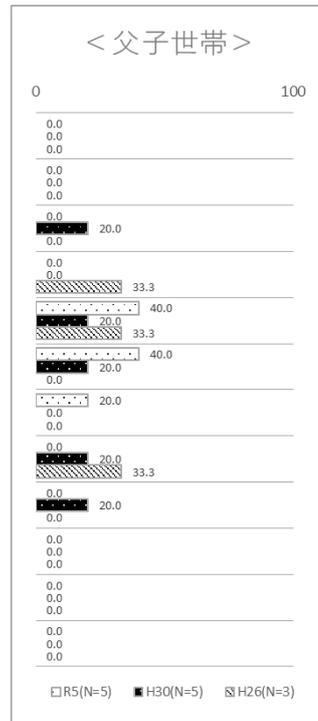
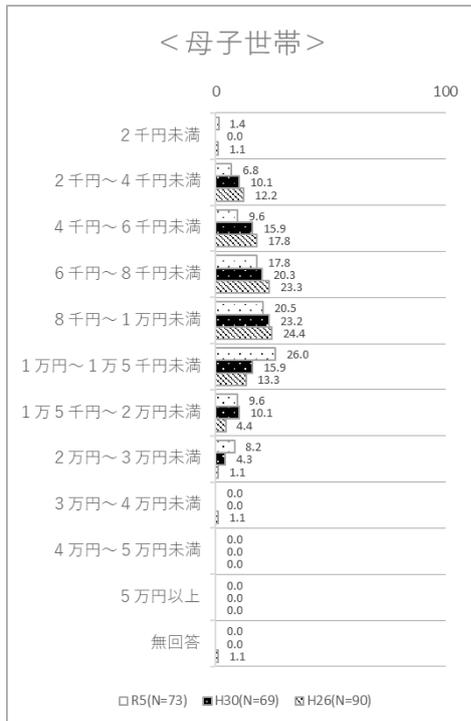
【ウ 通信教育】の月額 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	8,295 円	15,142 円	7,000 円
平成30年度	5,221 円	6,533 円	8,000 円

あなたは、現在、お子さんに、【エ 英会話・珠算などの勉強の習い事】をさせていますか。(○は1つだけ)

【エ 英会話・珠算などの勉強の習い事】



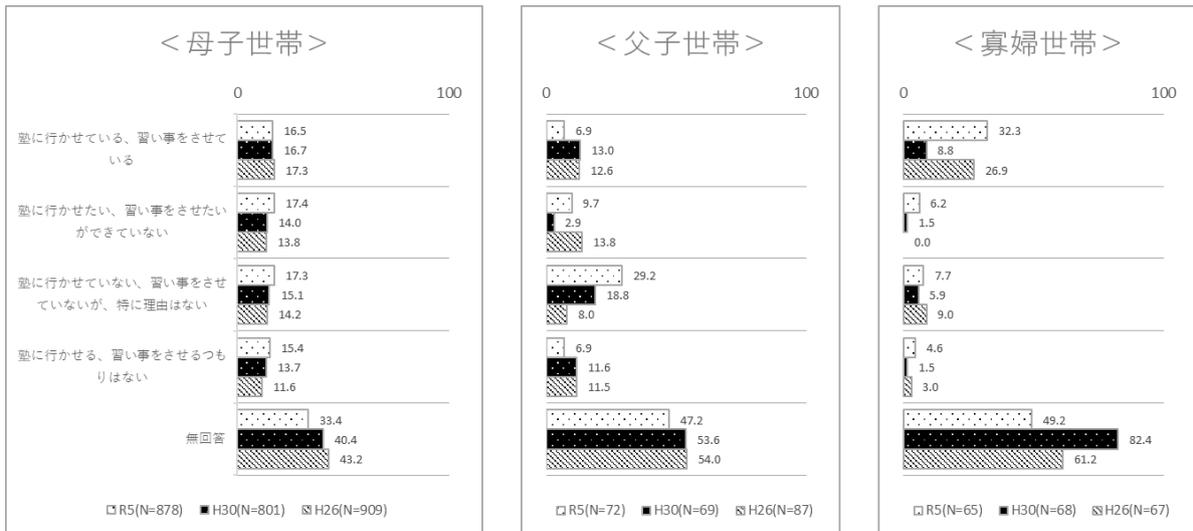
【エ 英会話・珠算などの勉強の習い事】の月額



【エ 勉強の習い事】の月額 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	10,102 円	11,454 円	9,833 円
平成30年度	8,869 円	15,136 円	4,333 円

あなたは、現在、お子さんに、【オ 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事】をさせていますか。 (○は1つだけ)

【オ 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事】



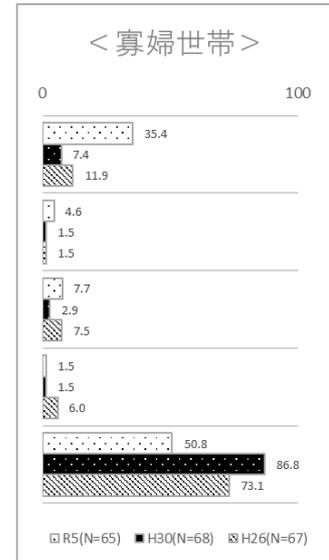
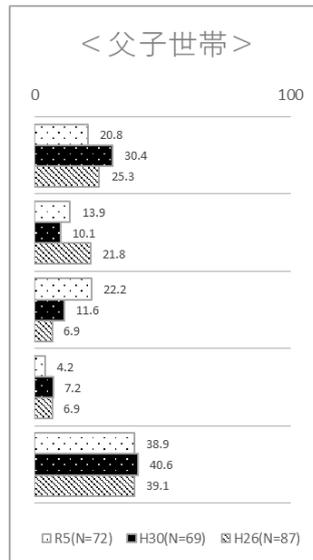
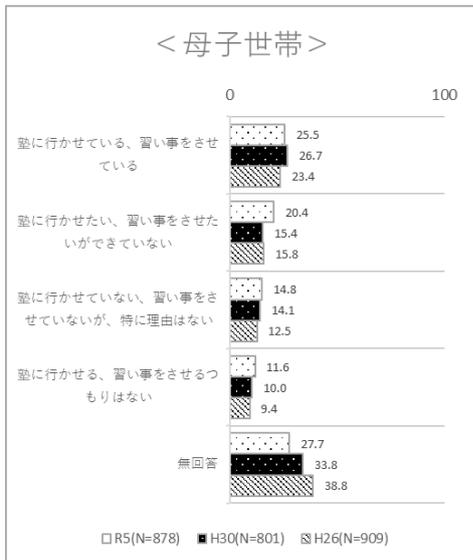
【オ 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事】の月額



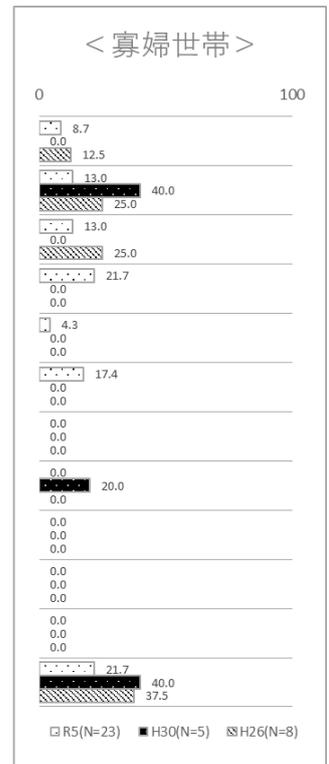
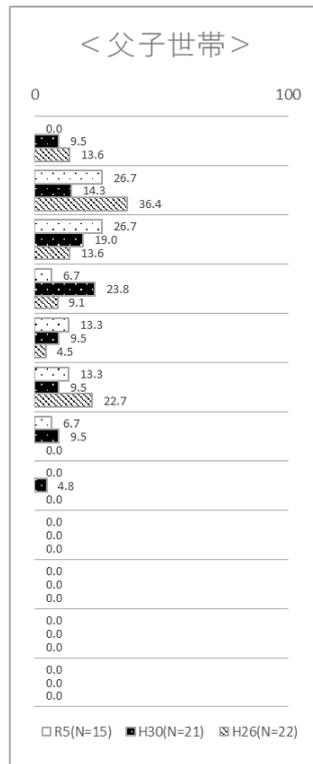
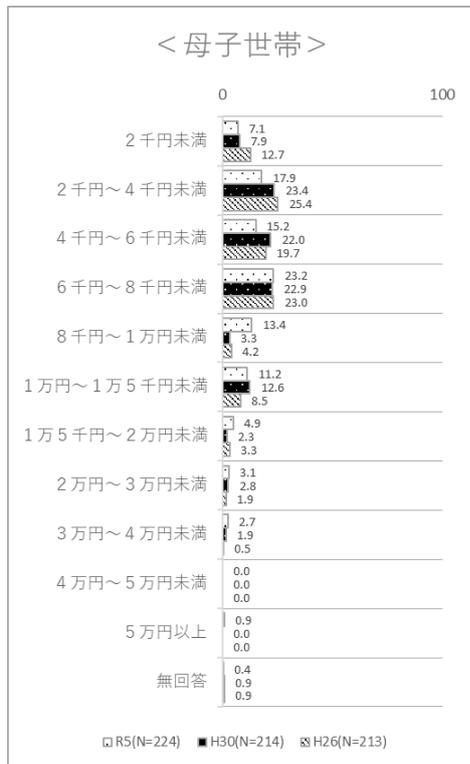
【オ 芸術の習い事】の月額 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	7,353 円	4,400 円	8,050 円
平成30年度	5,850 円	5,911 円	8,000 円

あなたは、現在、お子さんに、【カ スポーツ】をさせていますか。(○は1つだけ)

【カ スポーツ】



【カ スポーツ】の月額

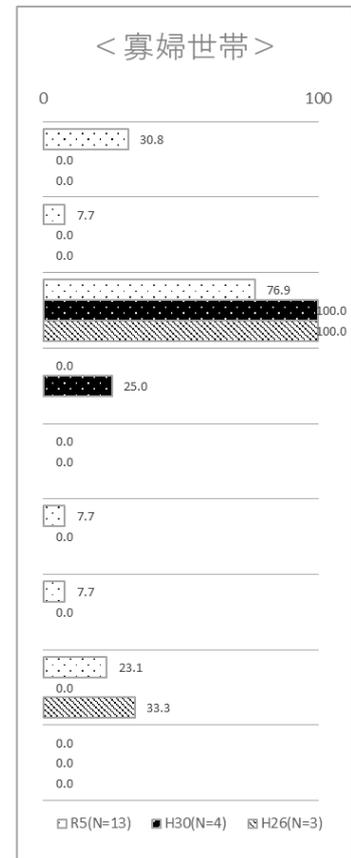
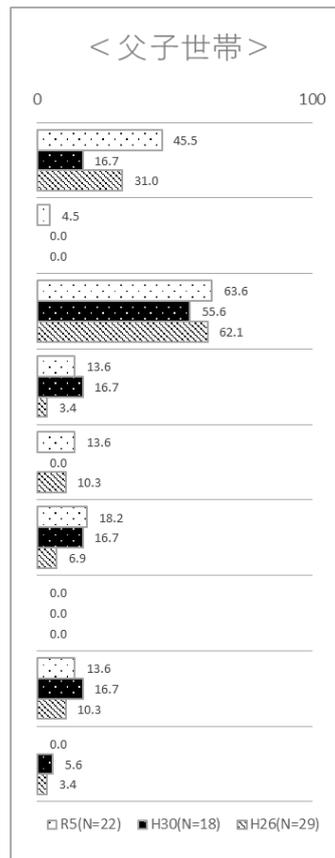
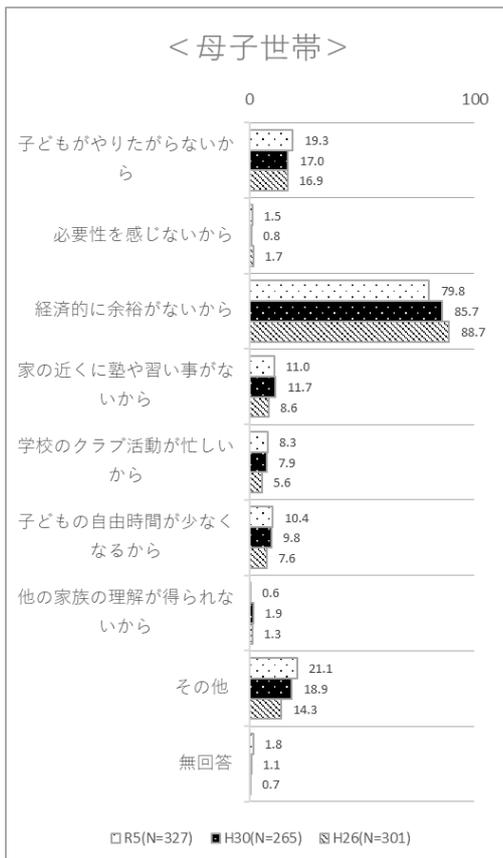


【カ スポーツ】の月額 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	8,258 円	6,235 円	5,889 円
平成30年度	6,572 円	7,444 円	8,333 円

4-2. 子どもが塾や習い事をしていない・していなかった理由

■<母子世帯><父子世帯><寡婦世帯>全てにおいて「経済的に余裕がないから」が最も多くなっており、いずれも6割を超えている。

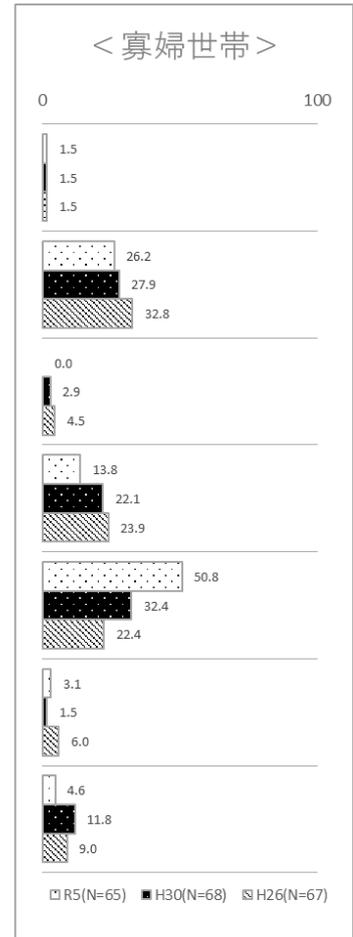
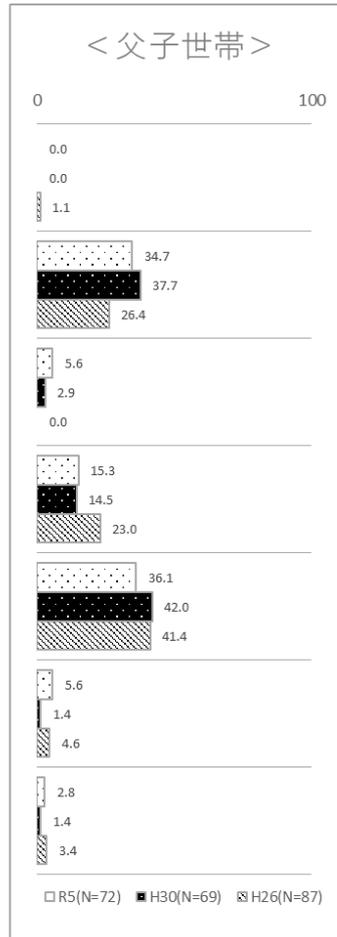
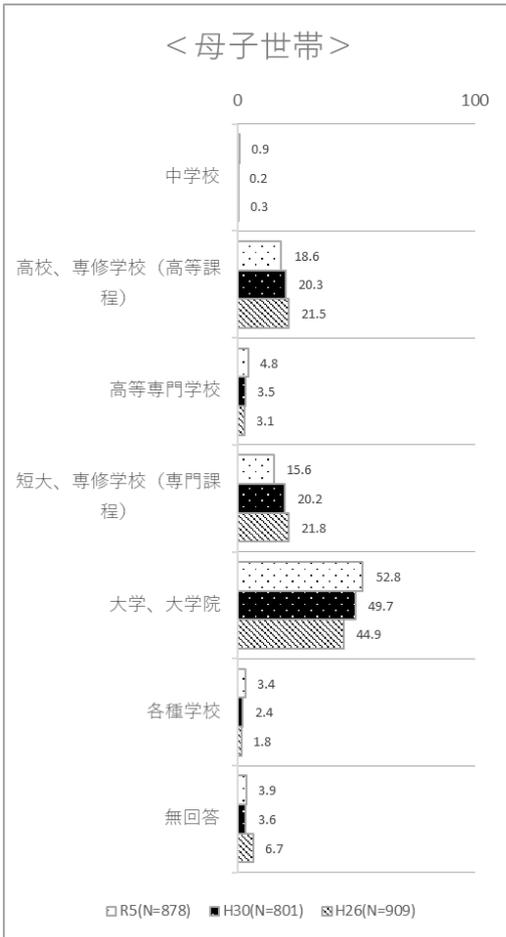
(塾に行かせたい、習い事をさせたいが、できていない方について)、お子さんが塾や習い事をしていない理由は何ですか。
(○はあてはまるものすべて)



4-3. 子どもの進学希望

- <母子世帯>では「大学、大学院」(52.8%)が最も多くなっており、5割を超えている。
- <父子世帯>では「大学、大学院」(36.1%)が最も多くなっている。
- <寡婦世帯>では「大学、大学院」(50.8%)が最も多く、5割を超えている。

お子さんの進学はどこまで希望されていますか。お子さんはどこまで進学されましたか。(○は1つだけ)



5. 親の就業状況

5-1. ひとり親世帯になった当時の就業形態

- <母子世帯>では「臨時雇用」(39.7%)が最も多く、次いで「常用雇用」(32.2%)で、前回、前々回とほぼ同じ結果となった。
- <父子世帯>では「常用雇用」(77.8%)が最も多く、次いで「自営業主」(9.7%)となった。
- <寡婦世帯>では「臨時雇用」(47.7%)が最も多く、次いで「常用雇用」(35.4%)となっている。

あなたが、ひとり親世帯になった当時の仕事はどのような仕事でしたか。(○は1つだけ)



5-2. ひとり親世帯になった当時の職種

- <母子世帯>では「事務職」(24.5%)が最も多く、次いで「専門的・技術的職業」(22.7%)で前回とほぼ同じ結果となっている。
- <父子世帯>では「技能工・生産工程従事者」(24.3%)が最も多く、次いで「運輸・通信従事者」(17.1%)となっている。
- <寡婦世帯>では「事務職」(32.8%)が最も多く、前回より6.4%、前々回より8.7%増加した。

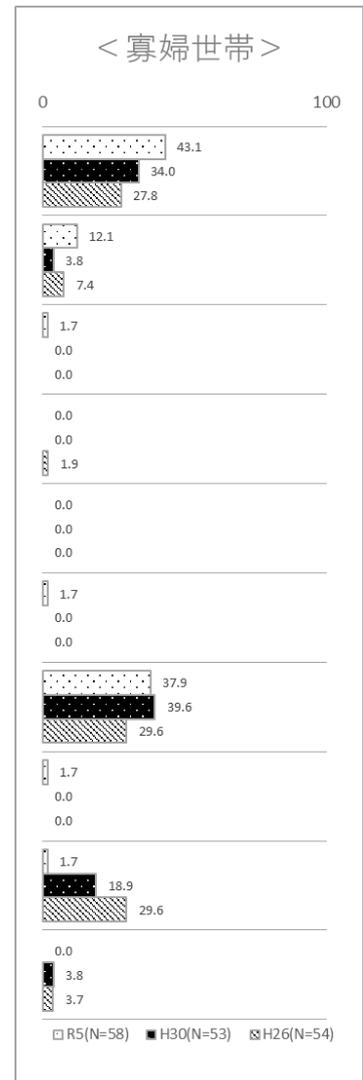
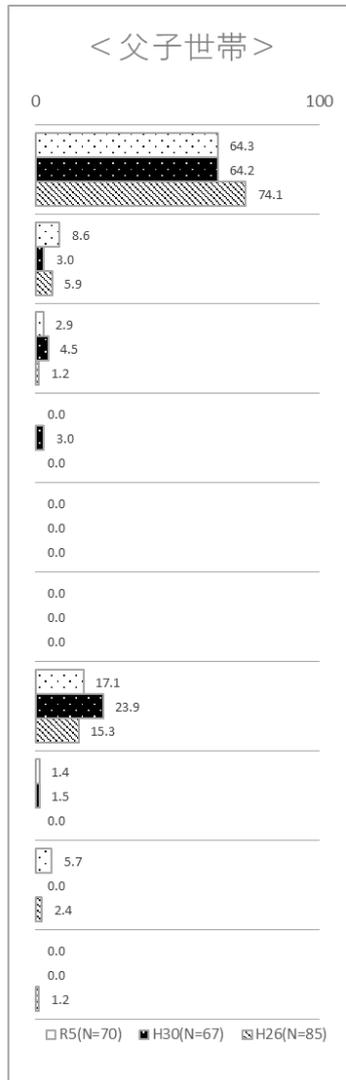
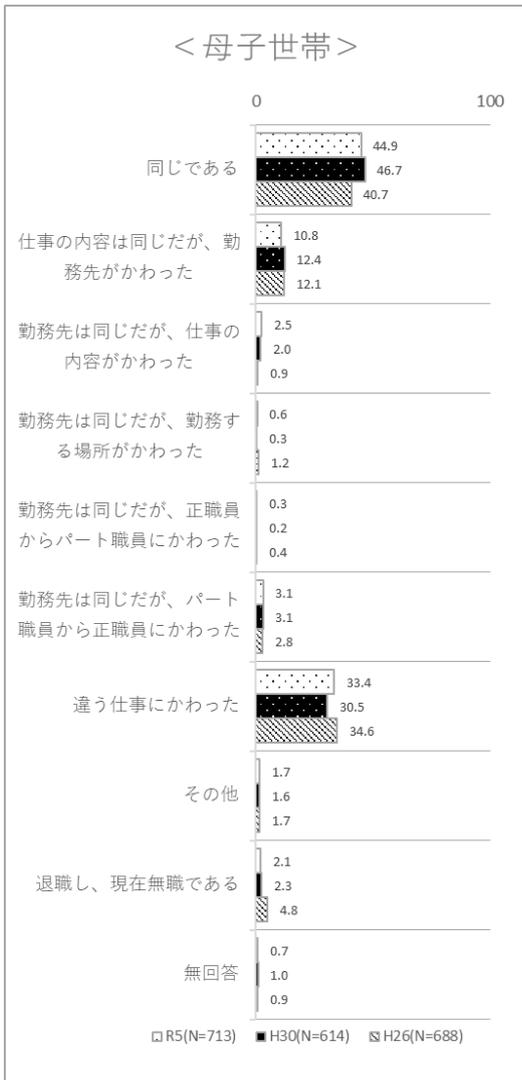
あなたの当時の仕事の職種は何ですか。(○は1つだけ)



5-3. 転職、退職の有無

- <母子世帯>では「同じである」(44.9%)が最も多く、次いで「違う仕事にかわった」(33.4%)となっており、前回、前々回とほぼ同じ結果となった。
- <父子世帯>では「同じである」(64.3%)が最も多く、前回同様の結果となった。
- <寡婦世帯>では「同じである」(43.1%)が最も多く、次いで「違う仕事に変わった」(37.9%)となっている。

その仕事は、現在の仕事と同じですか。(○は1つだけ)



5-4. 転職、退職の理由

- <母子世帯>では「収入を増やすため」(51.8%)が最も多く、前回、前々回とほぼ同じ結果となった。
- <父子世帯>でも「収入を増やすため」(32.0%)が最も多く、前回より15.3%、前々回より22.5%の増加となっている。
- <寡婦世帯>でも「収入を増やすため」(45.5%)が最も多く、次いで「その他」(15.2%)となっている。

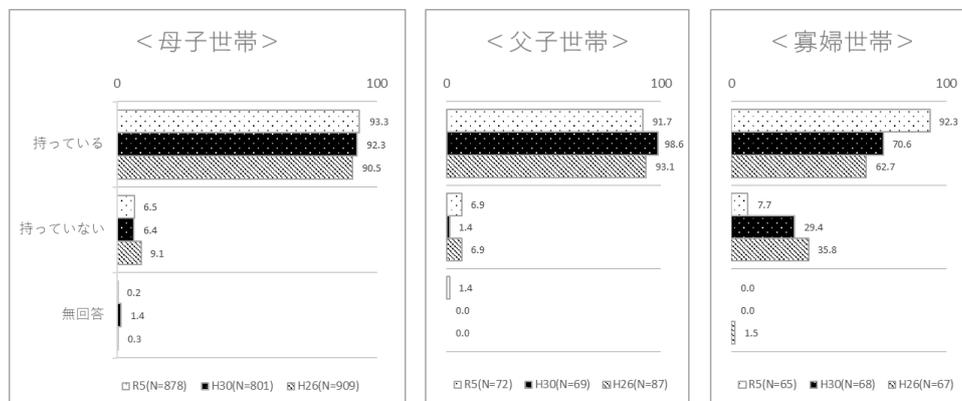
(転職や退職された方について)、仕事を変えられたり、退職されたりした理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



5-5. 現在の就労の有無

■すべての世帯で、「持っている」が最も多くなっている。

あなたは、現在仕事を持っていますか。(○は1つだけ)



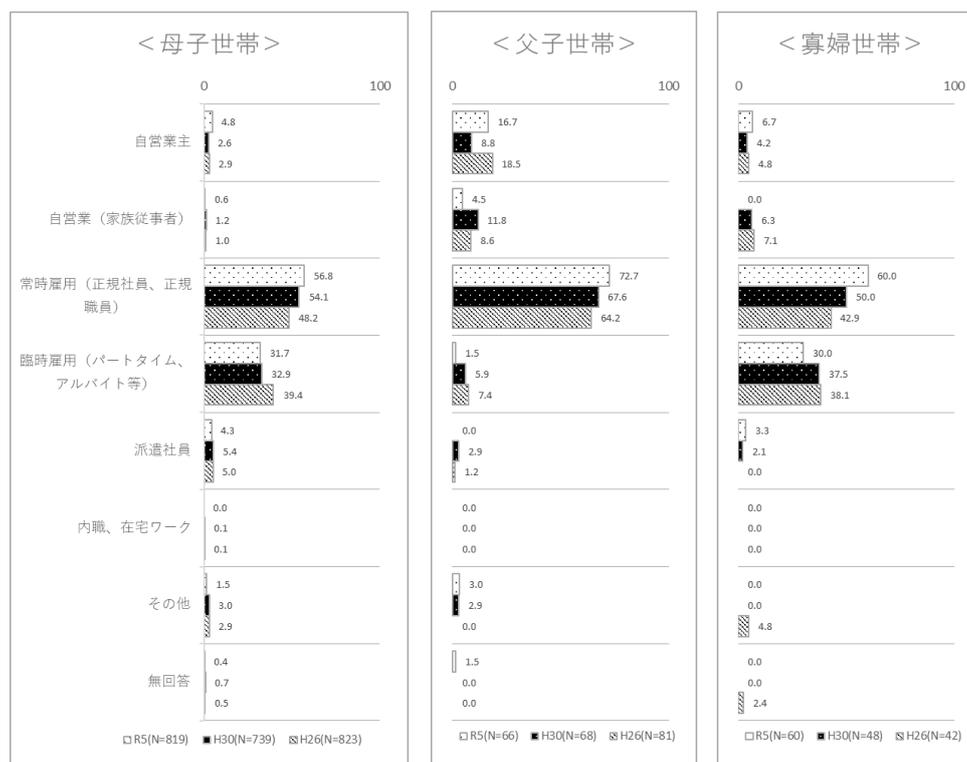
5-6. 現在の就業形態

■＜母子世帯＞では「常用雇用」(56.8%)が最も多く、次いで「臨時雇用」(31.7%)で前回、前々回とほぼ同じ結果となった。

■＜父子世帯＞でも「常用雇用」(72.7%)が最も多く、次いで「自営業主(家族従事者)」(16.7%)で前回より 7.9%増加している。

■＜寡婦世帯＞でも「常用雇用」(60.0%)が最も多く、次いで「臨時雇用」(30.0%)で前回と比較し常用雇用が 10.0%増加している。

あなたの現在の仕事はどのような仕事ですか。(○は1つだけ)



5-7. 現在の職種

- <母子世帯>では「事務職」(27.5%)が最も多く、次いで「専門的・技術的職業」(24.4%)となっている。
- <父子世帯>では「技能工、生産工程従事者」(25.8%)が最も多く、次いで「専門的・技術的職業」(16.7%)となっている。
- <寡婦世帯>では「事務職」(31.7%)が最も多く、次いで「専門的・技術的職業」(21.7%)となっている。

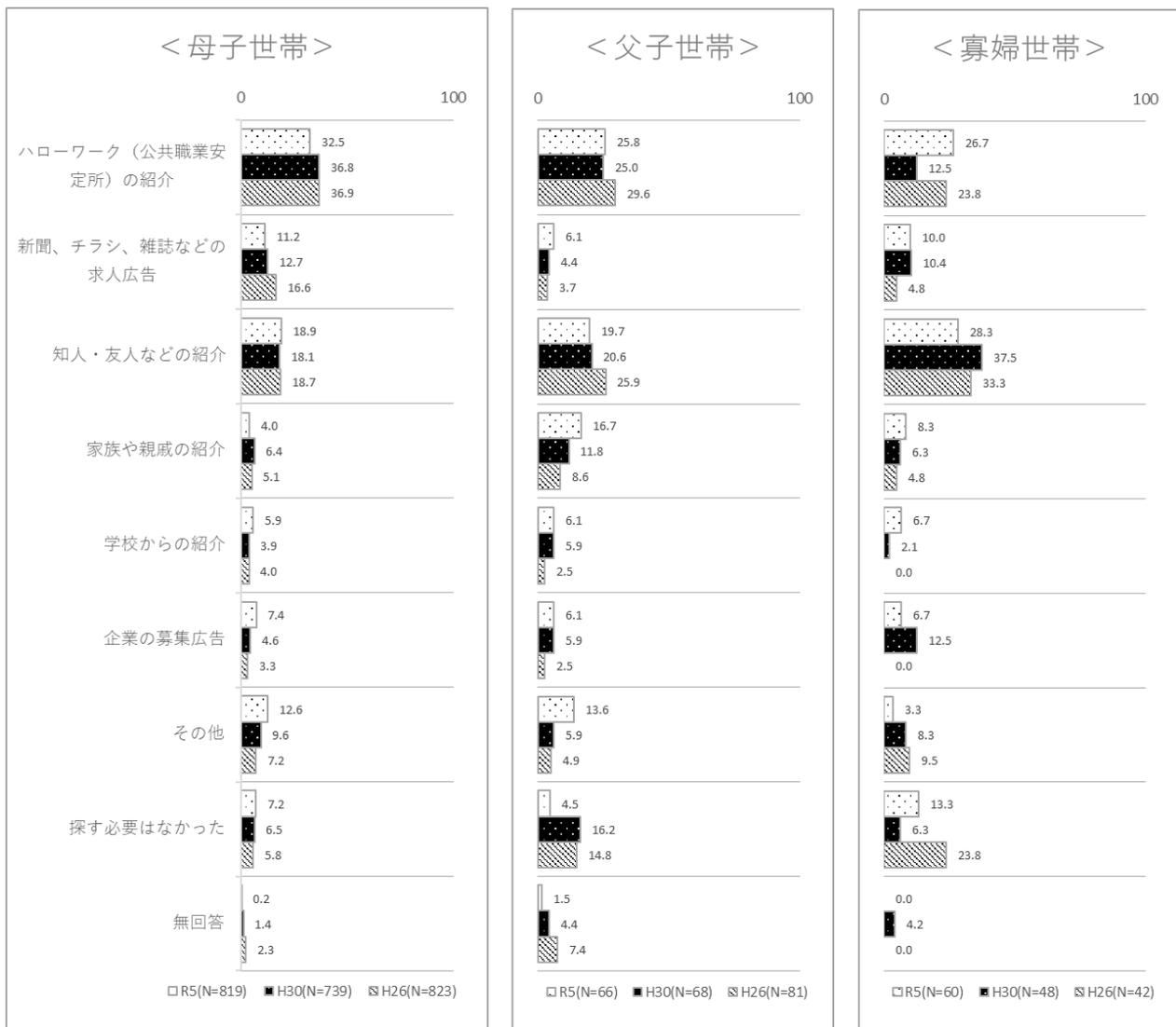
あなたの現在の仕事の職種は何ですか。(○は1つだけ)



5-8. 現在の仕事を探した方法

- <母子世帯>では「ハローワークの紹介」(32.5%)が最も多く、次いで「知人・友人などの紹介」(18.9%)、「その他」(12.6%)となっている。
- <父子世帯>でも「ハローワークの紹介」(25.8%)が最も多く、次いで「知人・友人などの紹介」(19.7%)となっている。
- <寡婦世帯>では「知人・友人などの紹介」(28.3%)が最も多く、次いで「ハローワークの紹介」(26.7%)となっている。

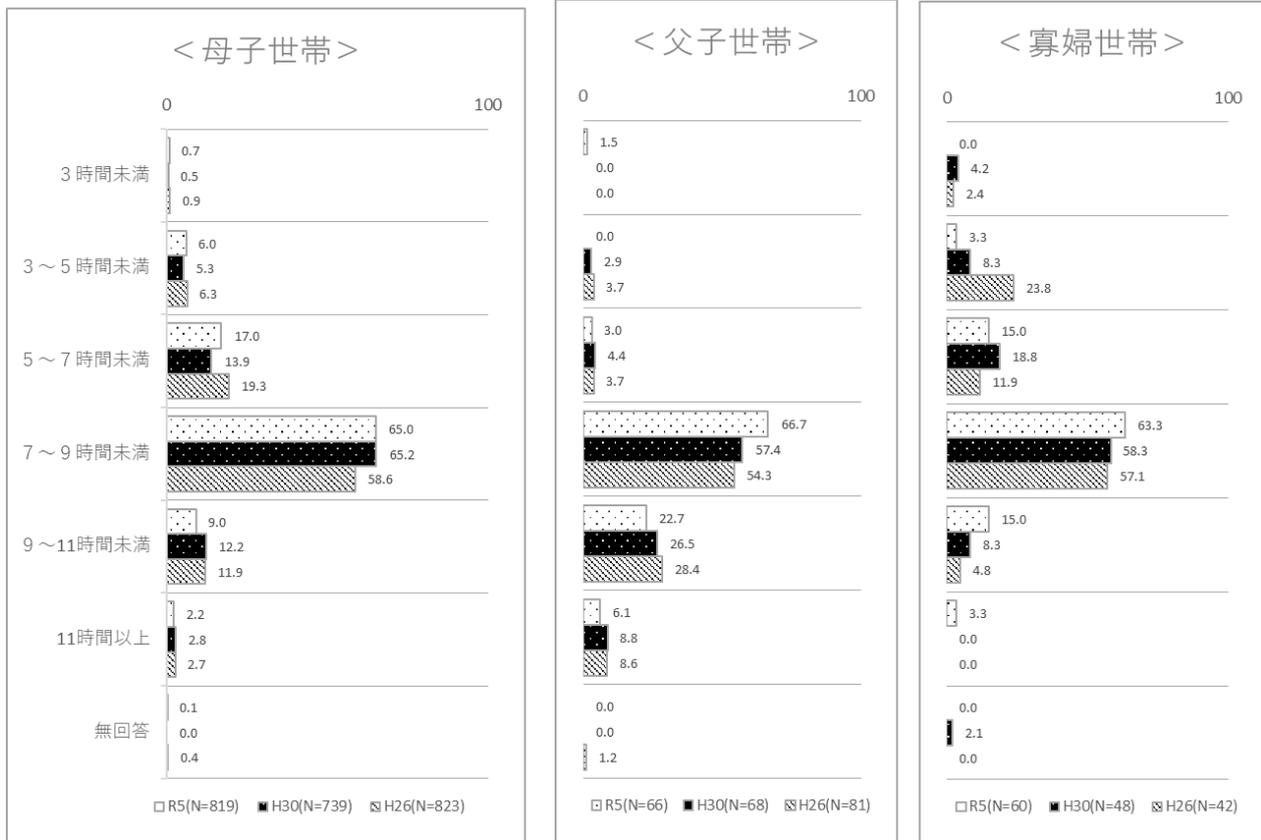
あなたは、現在の仕事をどのような方法で探しましたか。(○は1つだけ)



5-9. 1日の平均労働時間

- <母子世帯>では「7～9 時間未満」(65.0%)が最も多く、次いで「5～7 時間未満」(17.0%)となっている。
- <父子世帯>では「7～9 時間未満」(66.7%)が最も多く、次いで「9～11 時間未満」(22.7%)となっている。
- <寡婦世帯>では「7～9 時間未満」(63.3%)が最も多く、次いで「5～7 時間未満」「9～11 時間未満」(15.0%)となっている。

一日の平均労働時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

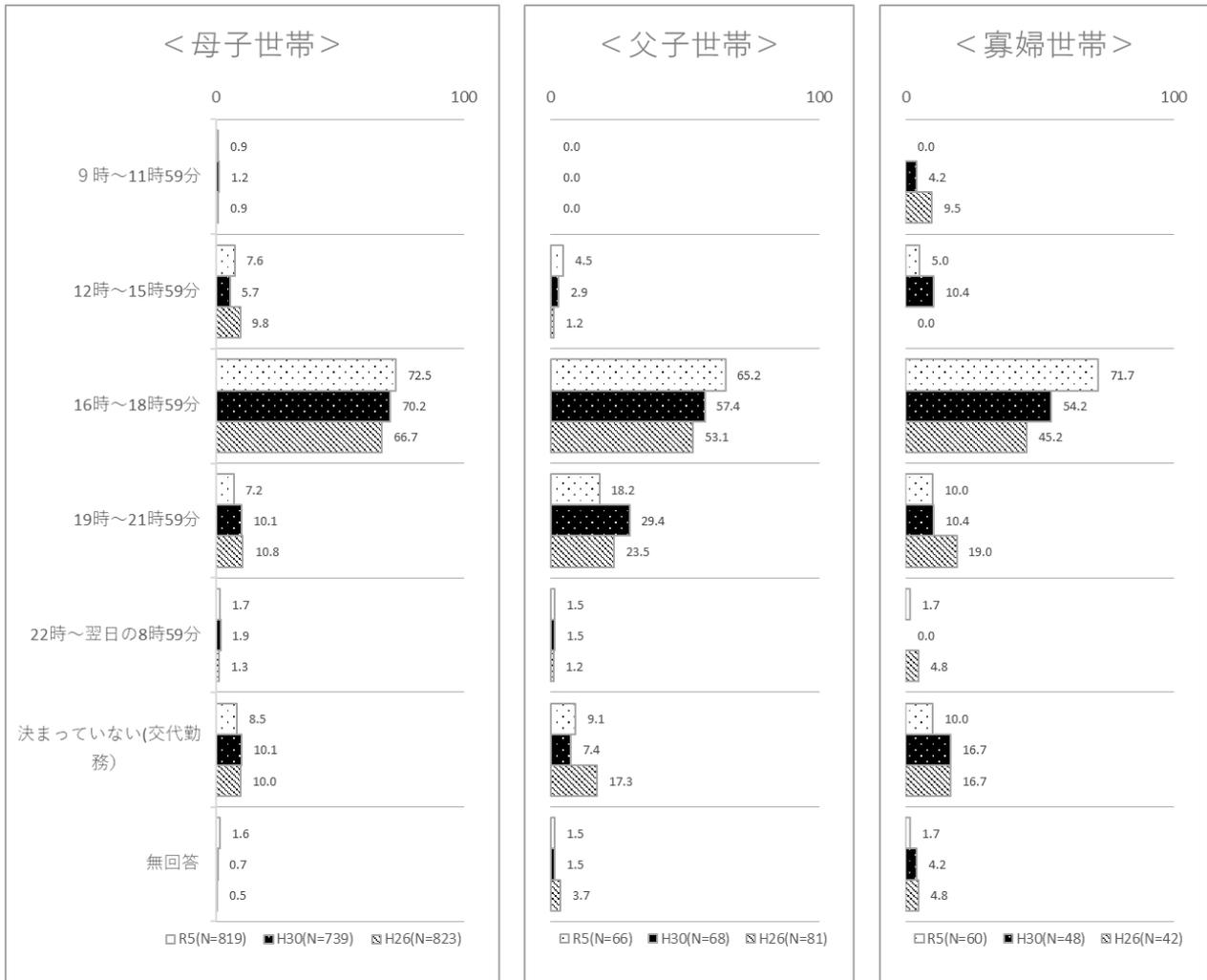


1日の平均労働時間 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	7.6 時間	8.5 時間	8.0 時間
平成30年度	7.8 時間	8.6 時間	7.2 時間
平成26年度	7.6 時間	8.6 時間	6.8 時間

5-10. 仕事終了する時間

- <母子世帯>では「16時～18時59分」(72.5%)が最も多く、次いで「決まっていない(交代勤務)」(8.5%)となっている。
- <父子世帯>では「16時～18時59分」(65.2%)が最も多く、次いで「19時～21時59分」(18.2%)となっている。
- <寡婦世帯>では「16時～18時59分」(71.7%)が最も多く、次いで「19時～21時59分」「決まっていない(交代勤務)」(10.0%)となっている。

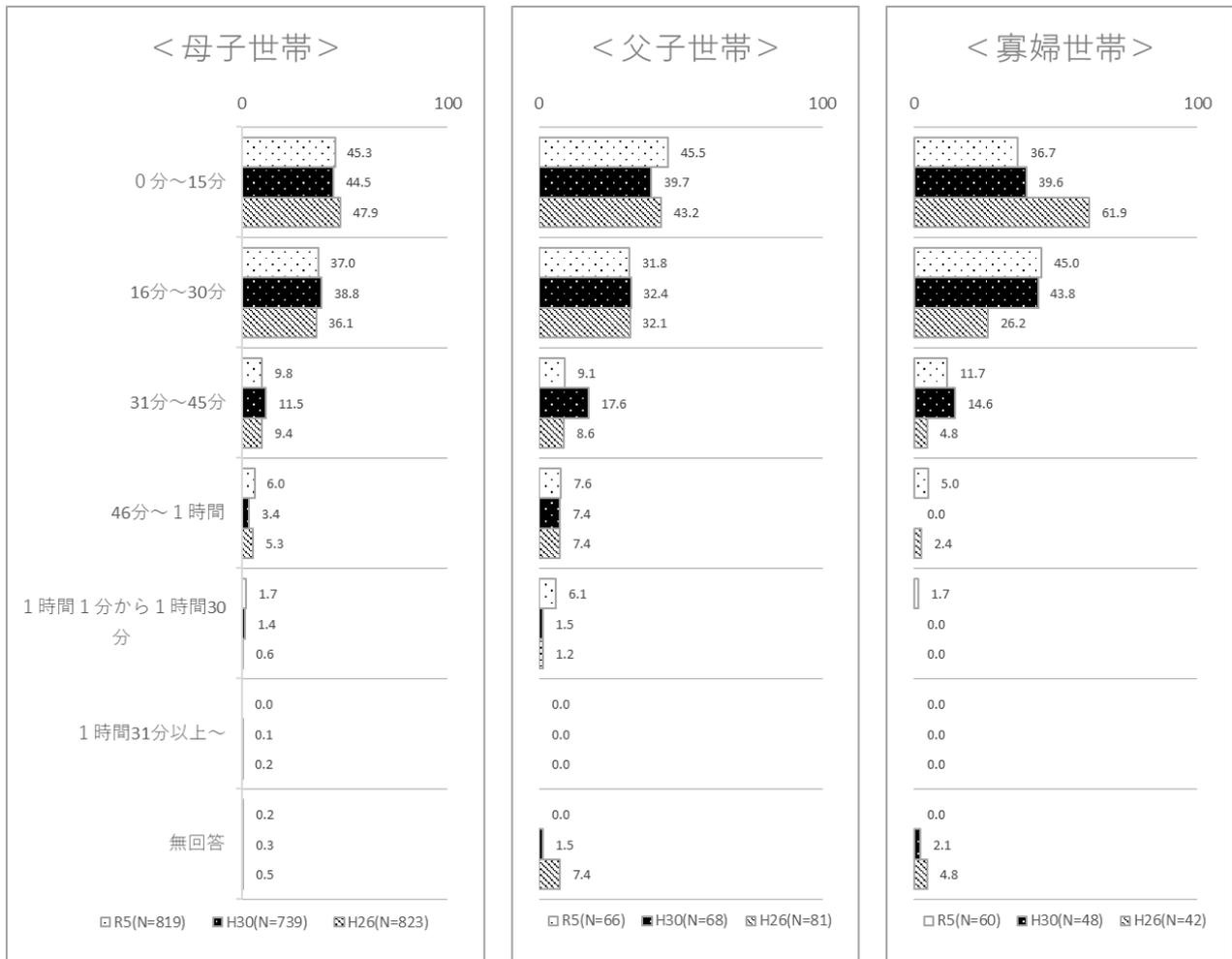
ふだん仕事終了する時間は何時ですか。(○は1つだけ)



5-11. 通勤にかかる片道時間

- <母子世帯>では「0分～15分」(45.3%)が最も多く、次いで「16分～30分」(37.0%)となっている。
- <父子世帯>でも「0分～15分」(45.5%)が最も多く、次いで「16分～30分」(31.8%)となっている。
- <寡婦世帯>では「16分～30分」(45.0%)が最も多く、次いで「0分～15分」(36.7%)となっている。

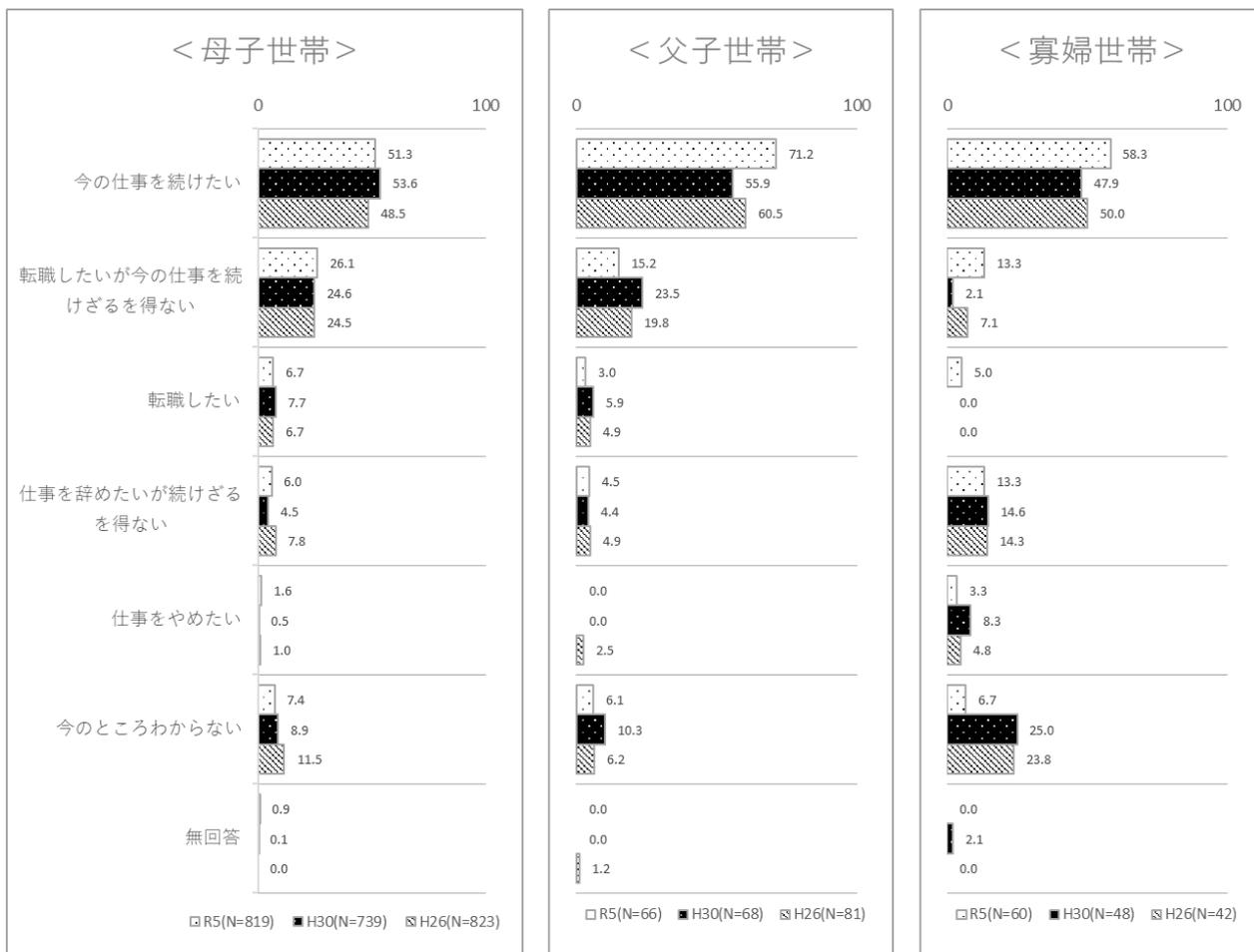
通勤にかかる時間は片道どのくらいですか。(○は1つだけ)



5-12. 現在の仕事の継続意向

- <母子世帯>では「今の仕事を続けたい」(51.3%)が最も多く、次いで「転職したいが今の仕事を続けざるを得ない」(26.1%)となっている。
- <父子世帯>では「今の仕事を続けたい」(71.2%)が最も多く、次いで「転職したいが今の仕事を続けざるを得ない」(15.2%)となっている。
- <寡婦世帯>では「今の仕事を続けたい」(58.3%)が最も多く、次いで「転職したいが今の仕事を続けざるを得ない」「仕事を辞めたいが続けざるを得ない」(13.3%)となっている。

あなたは現在の仕事を今後も続けたいと思いますか。(○は1つだけ)



5-13. 転職、退職意向の理由

- <母子世帯>では「収入が少ない」(58.9%)が最も多く、次いで「仕事内容がきつい、自分に向いていない」(26.3%)となっている。
- <父子世帯>では「収入が少ない」(73.3%)が最も多く、次いで、「健康に不安」(46.7%)となっている。
- <寡婦世帯>では「収入が少ない」(52.4%)が最も多く、次いで「健康に不安」(33.3%)となっている。

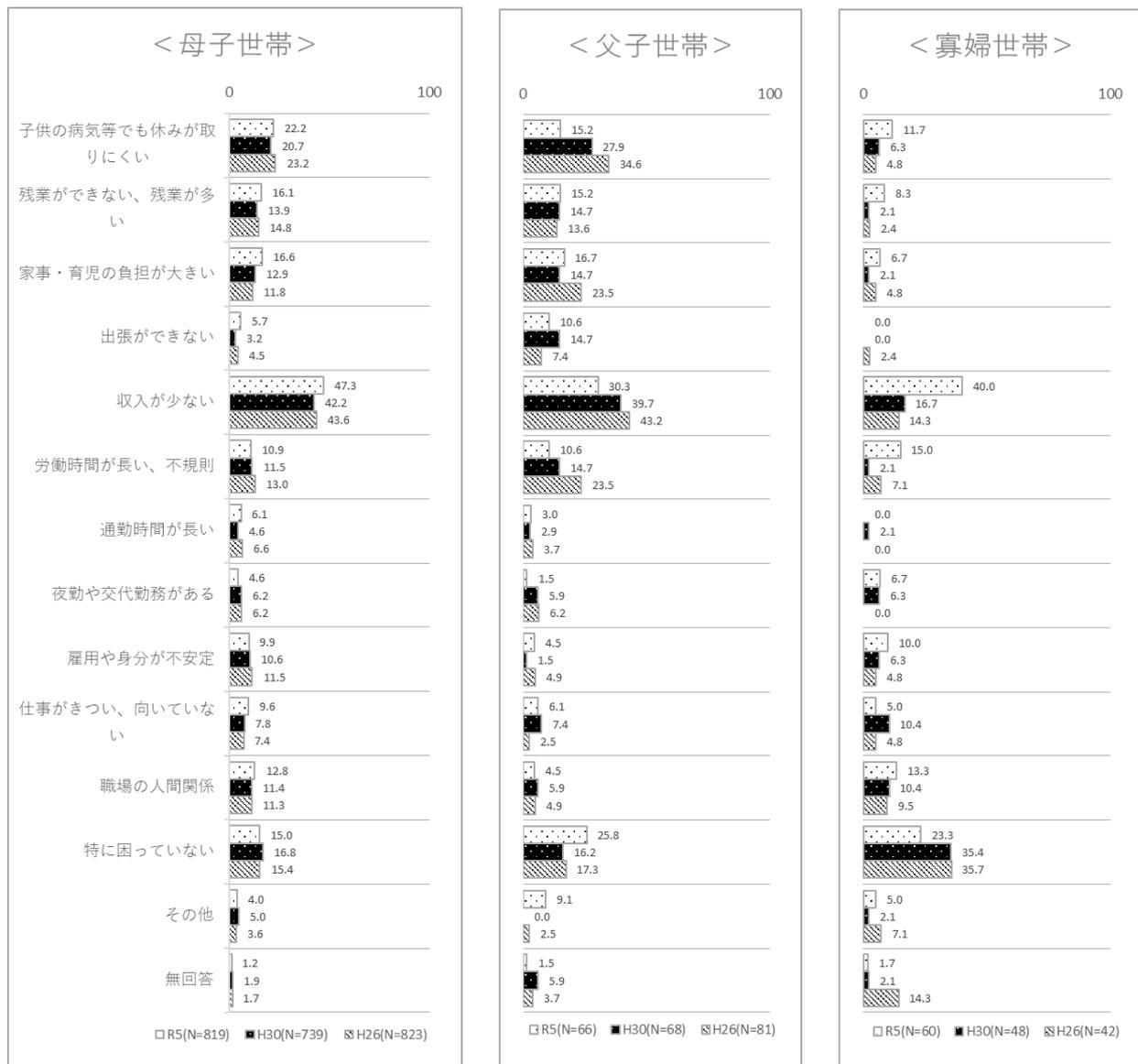
(転職、退職意向の方について)、その主な理由をお答えください。(〇は3つまで)



5-14. 仕事上で困ること

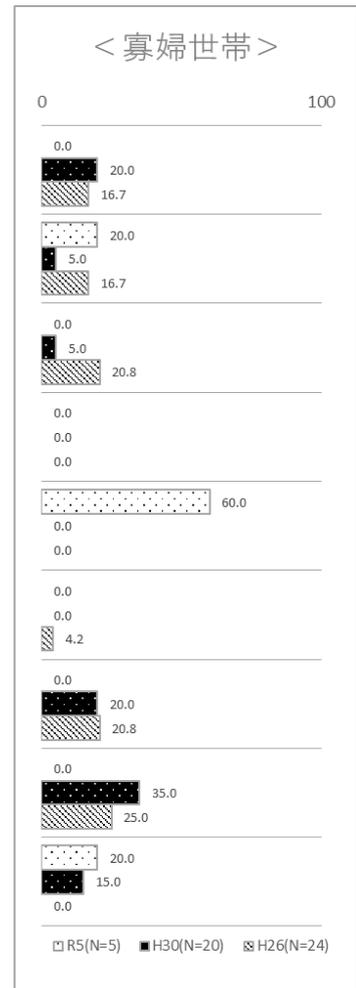
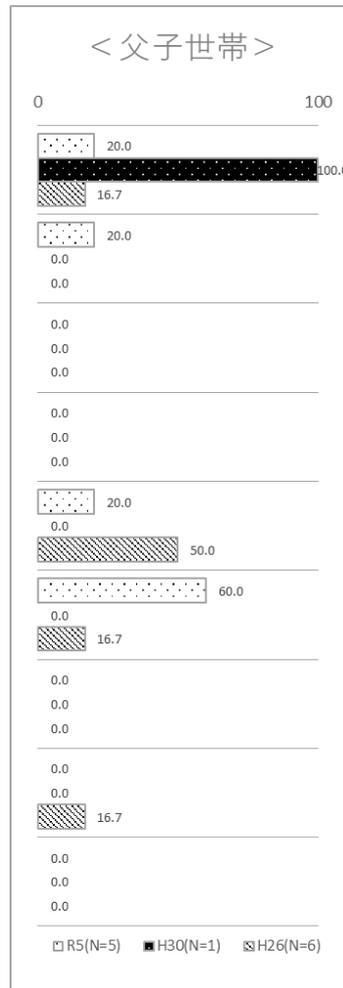
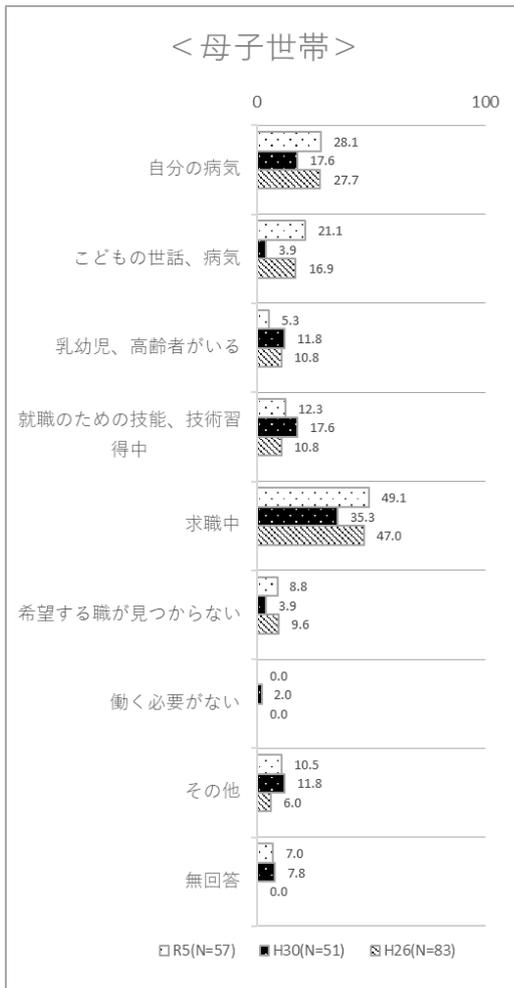
- <母子世帯>では「収入が少ない」(47.3%)が最も多く、次いで「子どもの病気等でも休みが取りにくい」(22.2%)となっている。
- <父子世帯>でも「収入が少ない」(30.3%)が最も多く、次いで「特に困っていない」(25.8%)、「家事・育児に負担が大きい」(16.7%)の順となっている。
- <寡婦世帯>では「収入が少ない」(40.0%)が最も多く、次いで「特に困っていない」(23.3%)、「労働時間が長い、不規則」(15.0%)の順となっている。

仕事をする上で困ることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)



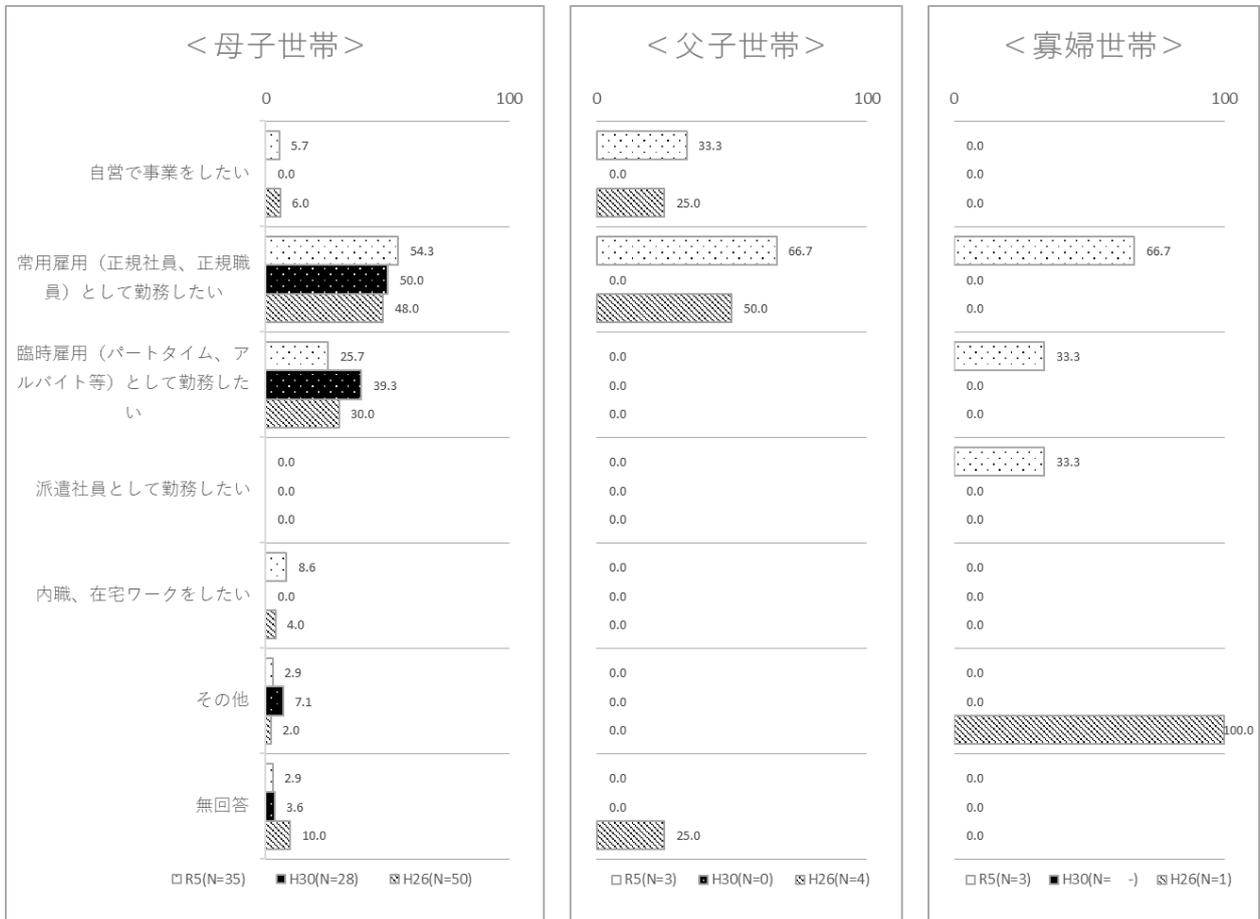
5-15. 無職の理由

無職である主な理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



5-16. 無職者の希望する就労形態

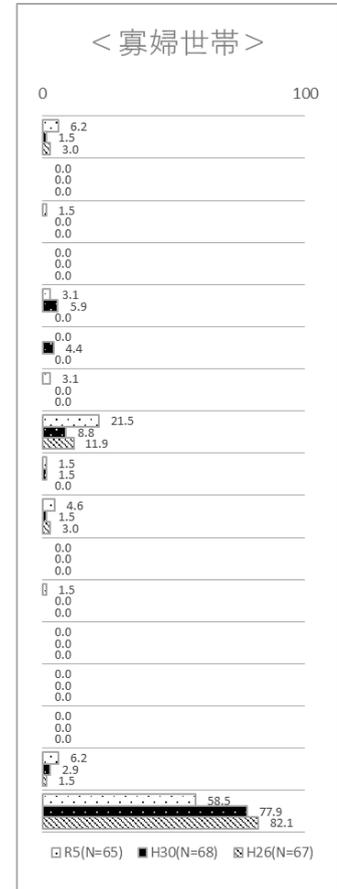
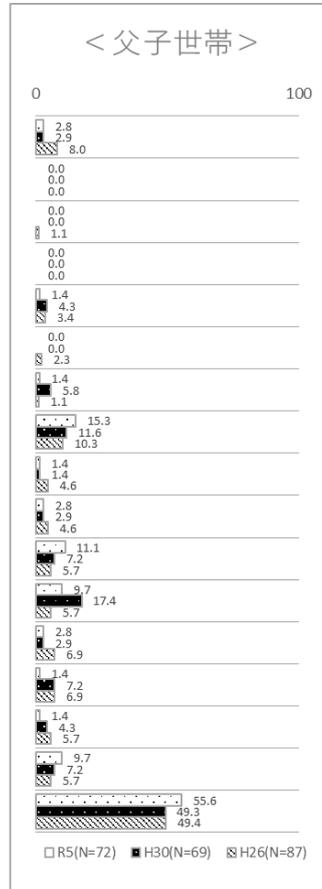
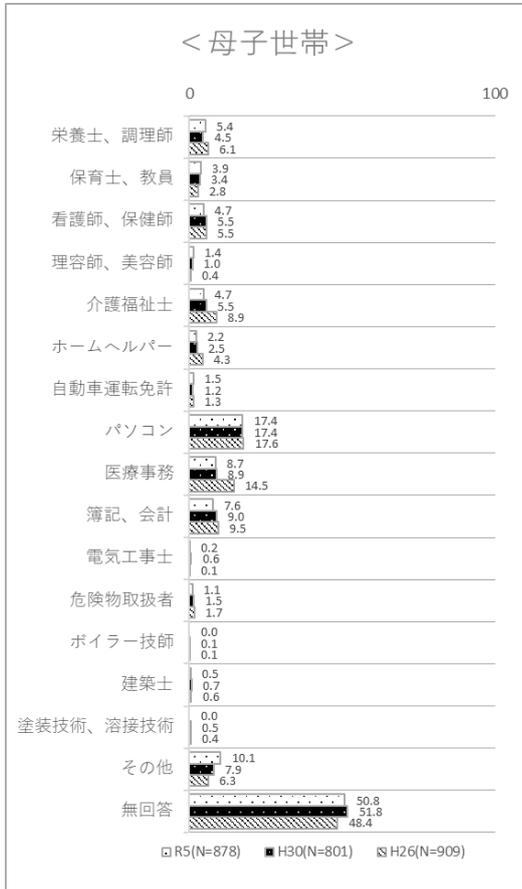
(無職者の方について)、今後どんな仕事をしたいですか。(○は1つだけ)



5-17. 取得したい資格・技術

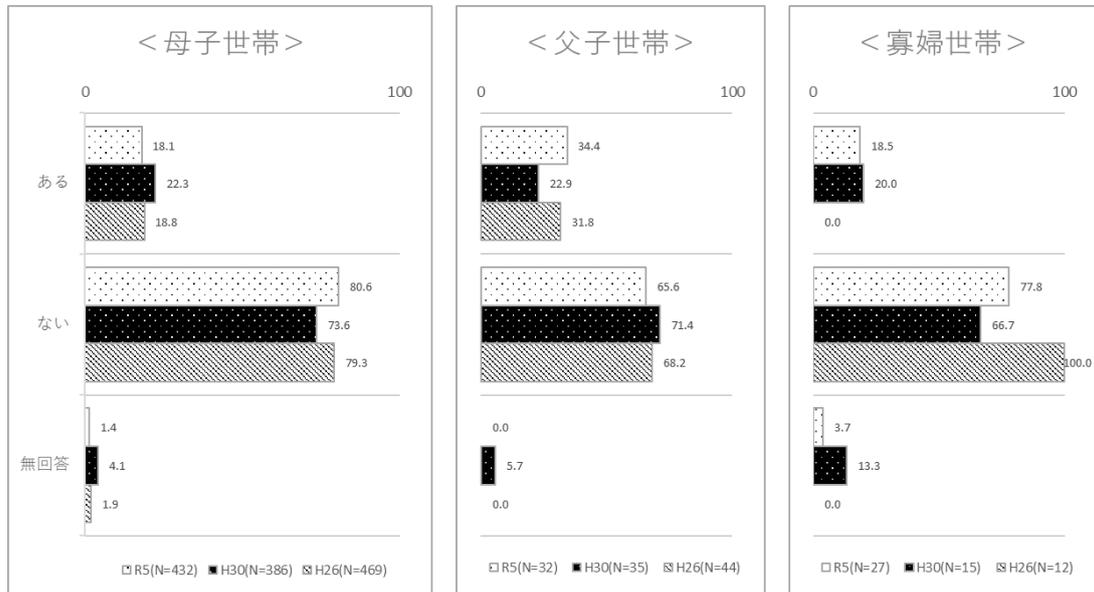
- <母子世帯>では「パソコン」(17.4%)が最も多く、前回、前々回とほぼ同じ、次いで「その他」(10.1%)となっている。
- <父子世帯><寡婦世帯>でも「パソコン」が高く、それぞれ(15.3%)、(21.5%)となっている。

今後取得したい資格、技術があればお答えください。(○は1つだけ)



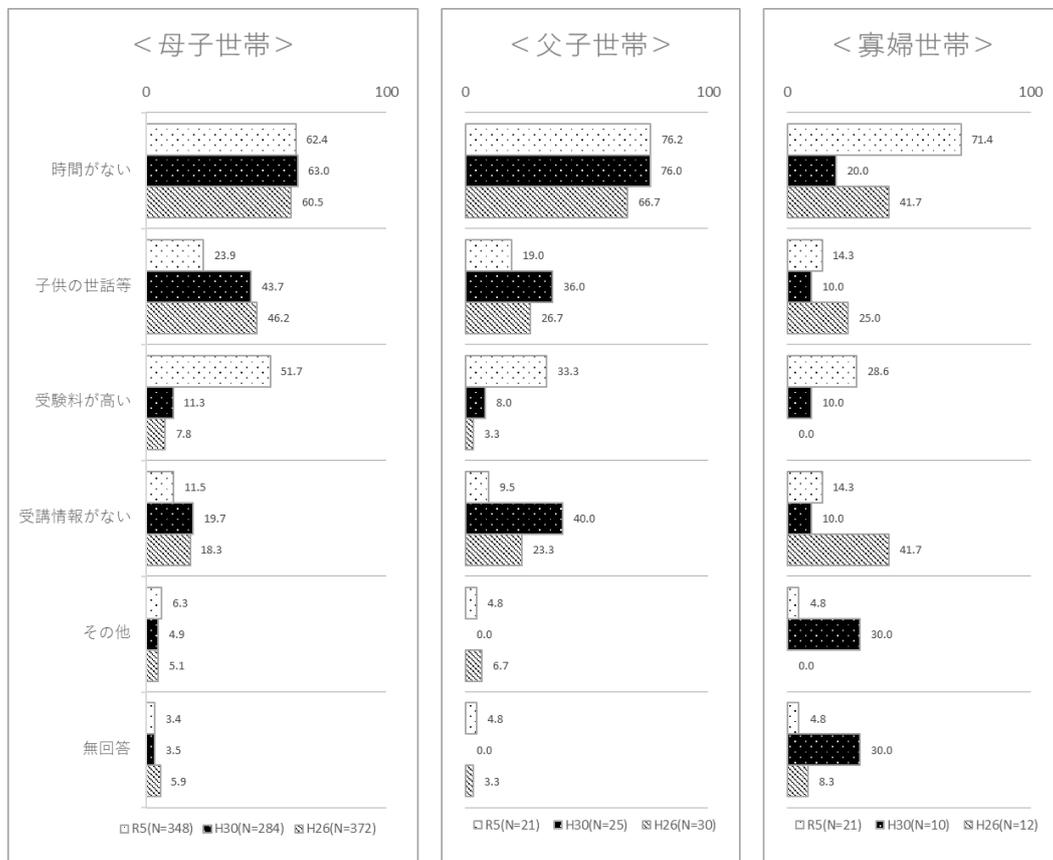
5-18. 資格・技術の取得予定の有無

資格・技術の取得予定はありますか。(○は1つだけ)



5-19. 資格・技術の取得予定がない理由

資格・技術の取得予定がない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

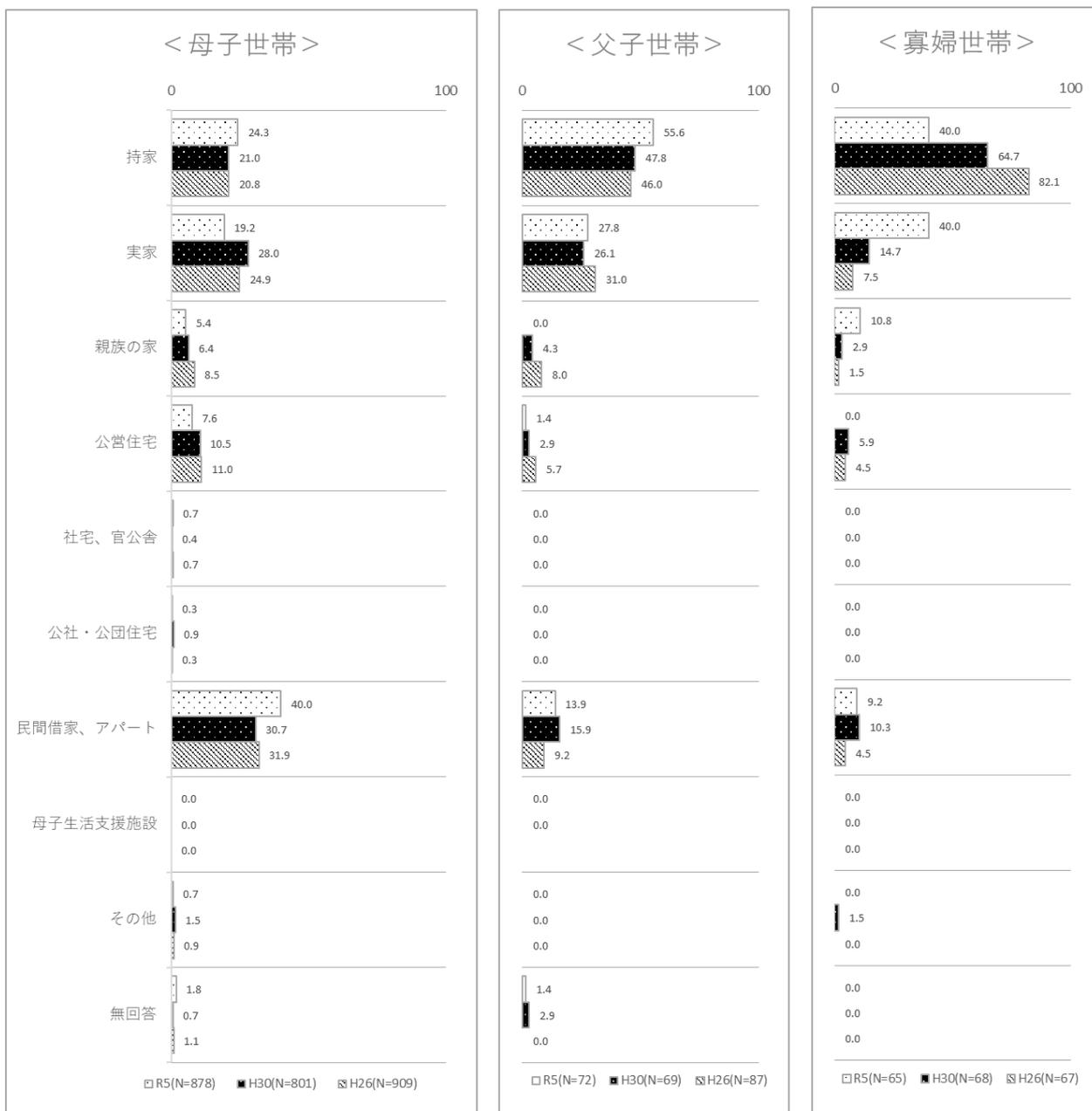


6. 住居の状況

6-1. 住宅の種類

- <母子世帯>では「民間借家、アパート」(40.0%)が最も多く、次いで「持家」(24.3%)、「実家」19.2%となっている。
- <父子世帯>では「持家」(55.6%)が最も多く、次いで「実家」(27.8%)、「民間借家、アパート」(13.9%)となっている。
- <寡婦世帯>では「持家」「実家」(40.0%)が同数であった。

住宅の種類はどれですか。(○は1つだけ)



6-2. 家賃

- <母子世帯>では「4万円以上～5万円未満」(21.6%)が最も多く、次いで「支払っていない」(21.4%)となっている。家賃の平均額は 43,357 円となっている。
- <父子世帯>では「4万円以上～5万円未満」「支払っていない」(25.8%)が最も多く、次いで「5万円～6万円未満」(22.6%)となっている。家賃の平均額は 50,682 円となっている。
- <寡婦世帯>では「支払っていない」(51.3%)が最も多く、次いで「4万円以上～5万円未満」(12.8%)となっている。家賃の平均額は 35,000 円となっている。

1ヶ月の家賃はいくらですか。(○は1つだけ)

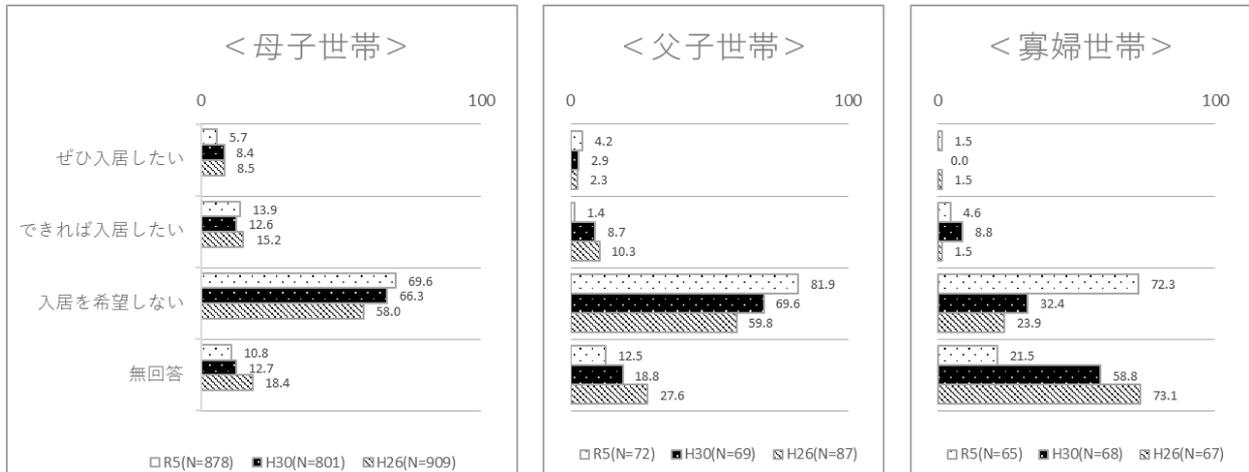


1ヶ月の家賃 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	43,357円	50,682円	35,000円
平成30年度	36,914円	36,579円	42,273円
平成26年度	38,512円	33,000円	31,429円

6-3. 公営住宅への入居希望

- <母子世帯>では「入居を希望しない」(69.6%)が最も多く、「ぜひ入居したい」(5.7%)「できれば入居したい」(13.9%)を合わせた入居意向は 19.6%となった。
- <父子世帯>では「入居を希望しない」(81.9%)が最も多く、「ぜひ入居したい」(4.2%)「できれば入居したい」(1.4%)を合わせた入居意向は 5.6%となった。
- <寡婦世帯>では「入居を希望しない」(72.3%)が最も多く、「ぜひ入居したい」(1.5%)「できれば入居したい」(4.6%)を合わせた入居意向は 6.1%となった。

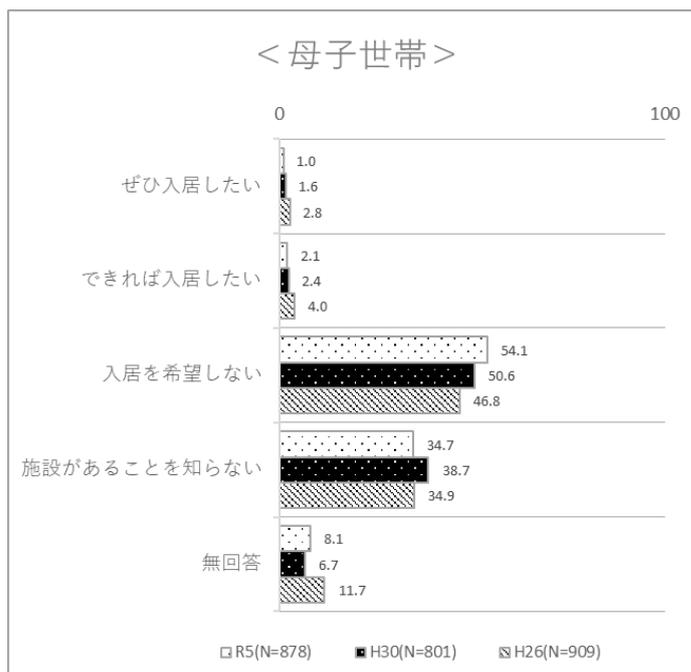
公営住宅への入居を希望しますか。(○は1つだけ)



6-4. 母子生活支援施設への入居希望・経験

- <母子世帯>では入居希望について、「入居を希望しない」(54.1%)が最も多く、次いで「施設があることを知らない」(34.7%)となっている。

母子生活支援施設への入居を希望しますか。(○は1つだけ)



7. 家計の状況

7-1. 世帯の年収

■<母子世帯>では「200～250万円未満」(17.4%)が最も多く、次いで「150～200万円未満」(15.8%)、「100～150万円未満」(13.8%)となっており、200万円未満計で41.4%を占める。

■<父子世帯>では「300～350万円未満」(18.1%)が最も多く、次いで「200～250万円未満」「350～400万円未満」(11.1%)となっており、400万円未満計で64.0%を占める。

■<寡婦世帯>では「200～250万円未満」(21.5%)が最も多く、次いで「150～200万円未満」(10.8%)となっている。

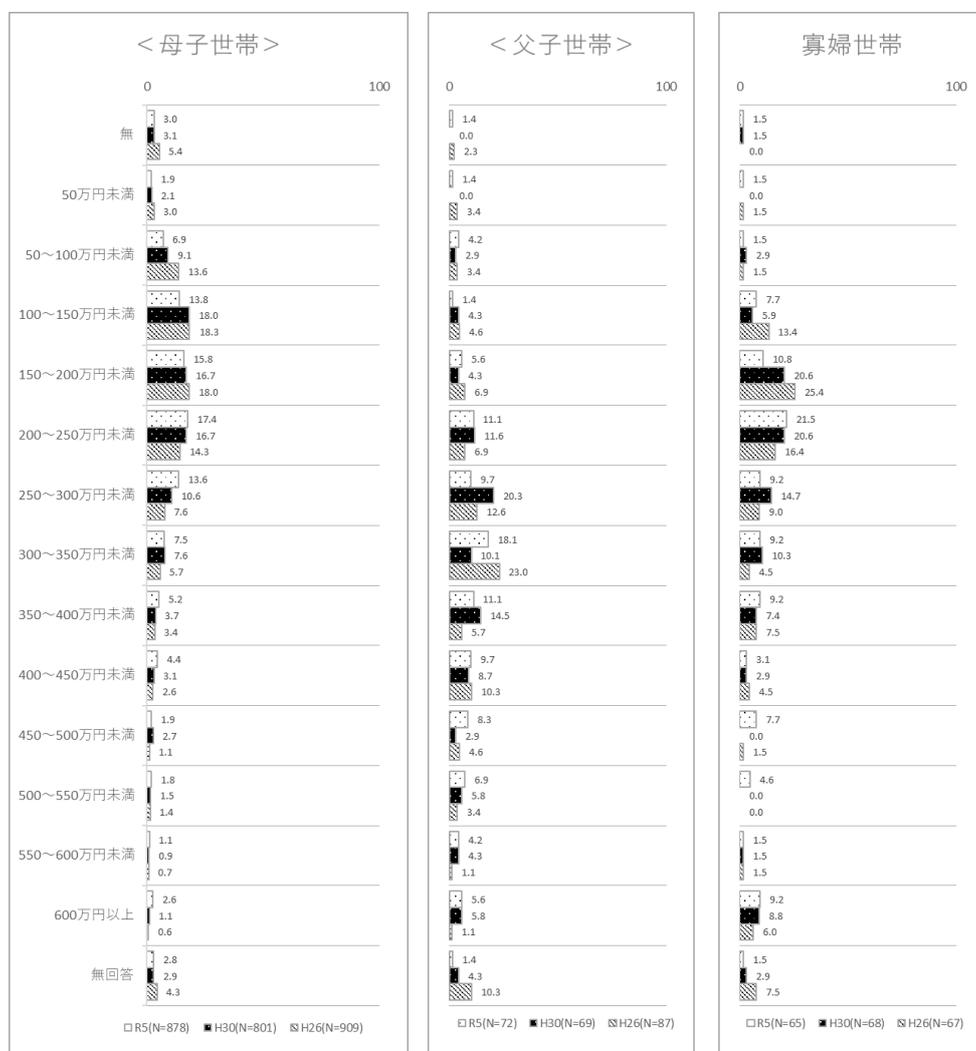
平均の世帯年収をみると、

■<母子世帯>では『238.4万円』となっており、前回から13.7万円増加、前々回から48.7万円増加している。

■<父子世帯>では『346.8万円』となっており、前回から6.6万円増加、前々回から83.7万円増加している。

■<寡婦世帯>では『311.7万円』となっており、前回から36.3万円増加、前々回から54.8万円増加している。

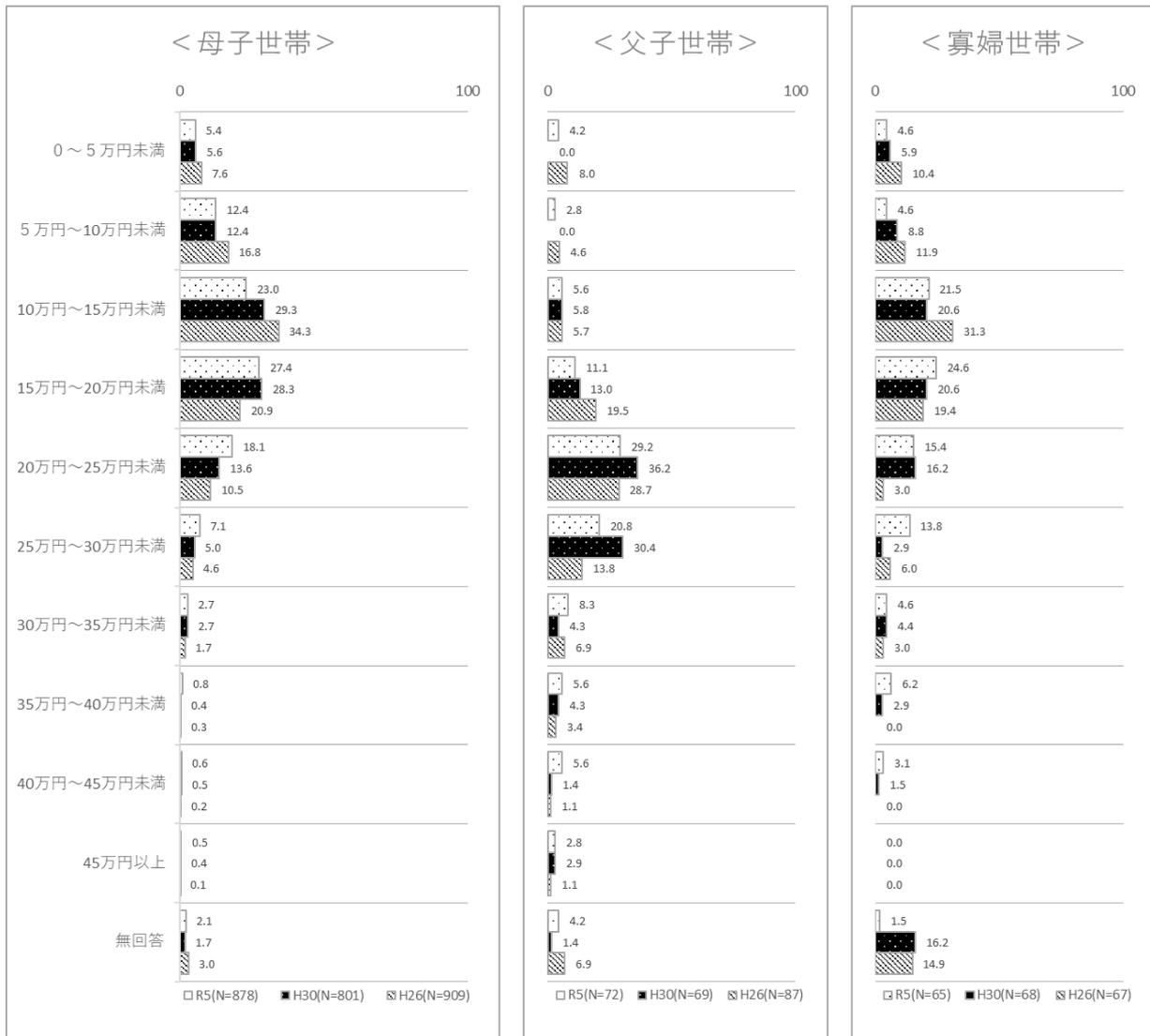
あなたの世帯の令和4年の年間収入はどのくらいですか。(○は1つだけ)



7-2. 親の月収

- <母子世帯>では「15～20万円未満」(27.4%)が最も多く、次いで「10万円～15万円未満」(23.0%)となっている。
- <父子世帯>では「20～25万円未満」(29.2%)が最も多く、次いで「25万円～30万円未満」(20.8%)となっている。
- <寡婦世帯>では「15万円～20万円未満」(24.6%)が最も多く、次いで「10万円～15万円未満」(21.5%)となっている。

あなたの月収はどのくらいですか。(○は1つだけ)



親の月収 (平均)	<母子世帯>	<父子世帯>	<寡婦世帯>
令和5年度	16.7万円	24.7万円	20.2万円
平成30年度	15.8万円	24.9万円	17.4万円
平成26年度	14.2万円	20.9万円	13.8万円

7-3. 世帯の主な収入源

- <母子世帯>では「あなた(母)の勤労収入」(91.7%)が最も多く、次いで「手当」(11.4%)となっている。
- <父子世帯>でも「あなた(父)の勤労収入」(87.5%)が最も多く、次いで「手当」「親族からの援助」(5.6%)となっている。
- <寡婦世帯>では「あなたの勤労収入」(89.2%)が最も多く、次いで「子どもの勤労収入」(10.8%)となっている。

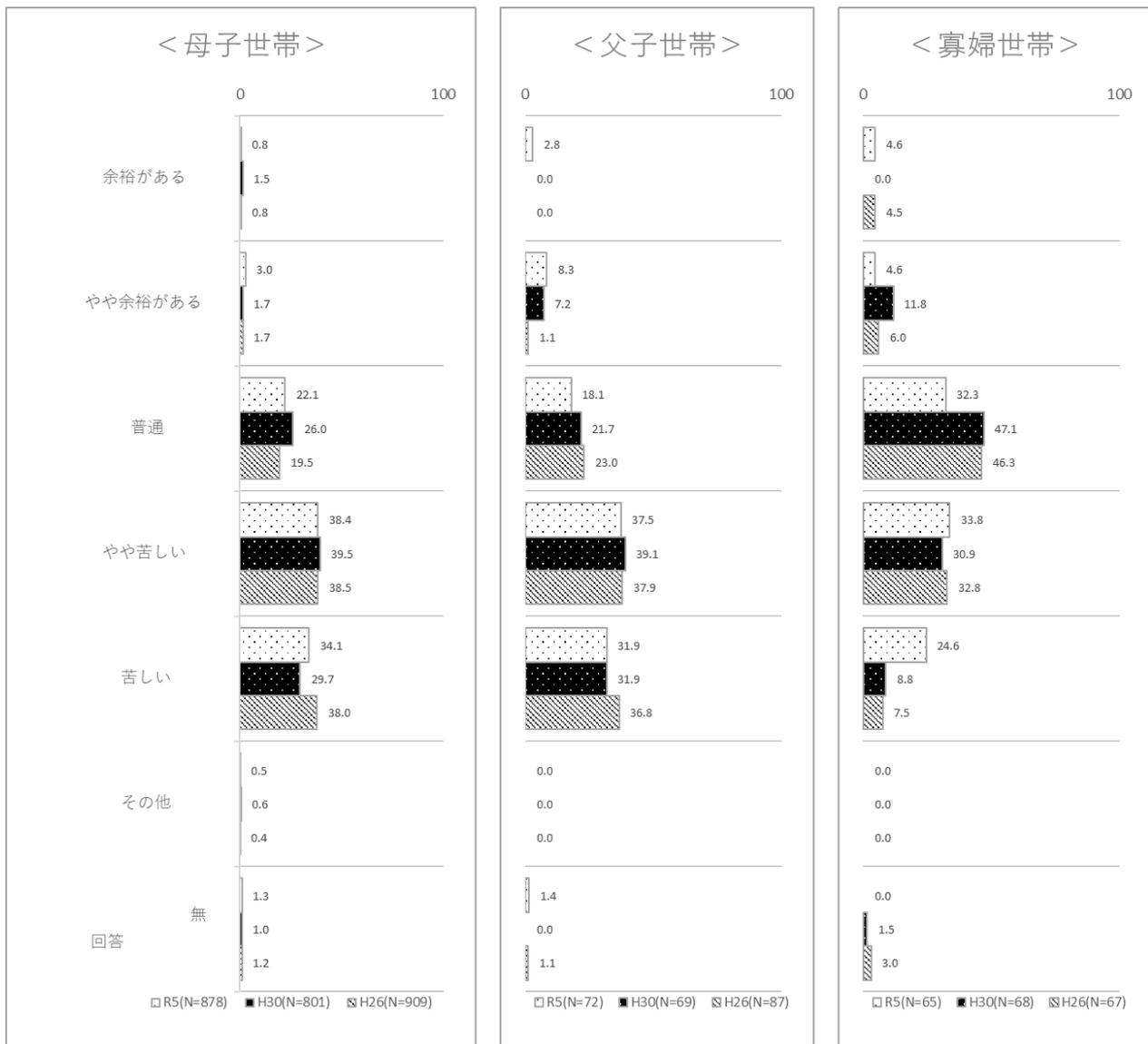
あなたの世帯の主な収入源は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



7-4. 生活状況

- <母子世帯>では「やや苦しい」(38.4%)「苦しい」(34.1%)の合計で見ると、72.5%が『苦しい』と回答し、前回より 3.3%増加している。
- <父子世帯>では「やや苦しい」(37.5%)「苦しい」(31.9%)の合計で見ると、69.4%が『苦しい』と回答し、前回より 1.6%減少している。
- <寡婦世帯>では「やや苦しい」(33.8%)「苦しい」(24.6%)の合計で見ると、58.4%が『苦しい』と回答し、前回より 18.7%増加している。

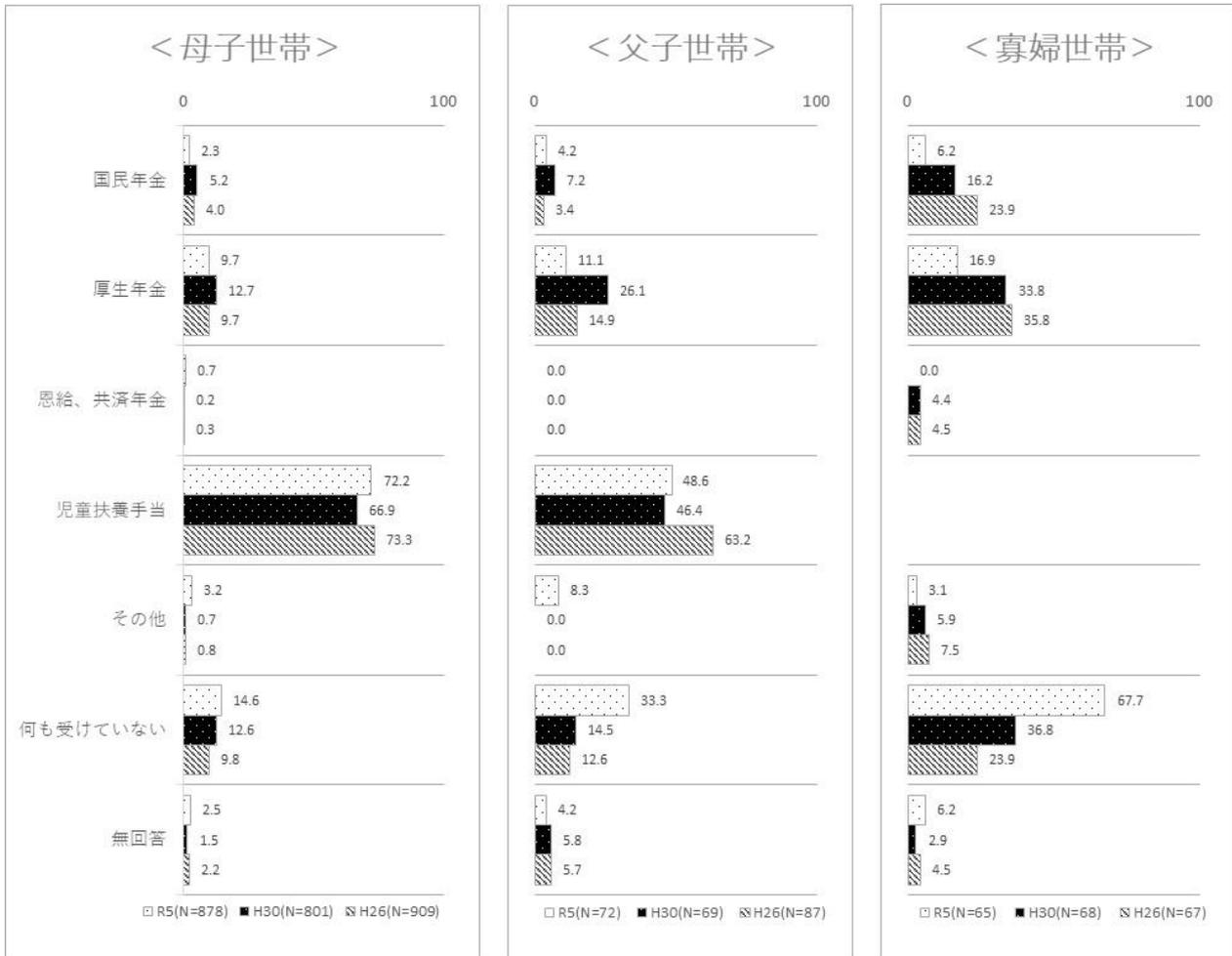
現在の生活状況はどうか。(○は1つだけ)



7-5. 現在受けている年金や手当

- <母子世帯>では「児童扶養手当」(72.2%)が最も多く、次いで「何も受けていない」(14.6%)となっている。
- <父子世帯>では「児童扶養手当」(48.6%)が最も多く、次いで「何も受けていない」(33.3%)となっている。
- <寡婦世帯>では「何も受けていない」(67.7%)が最も多く、次いで「厚生年金」(16.9%)となっている。

あなたが受けている年金や手当は何ですか。(○は1つだけ)

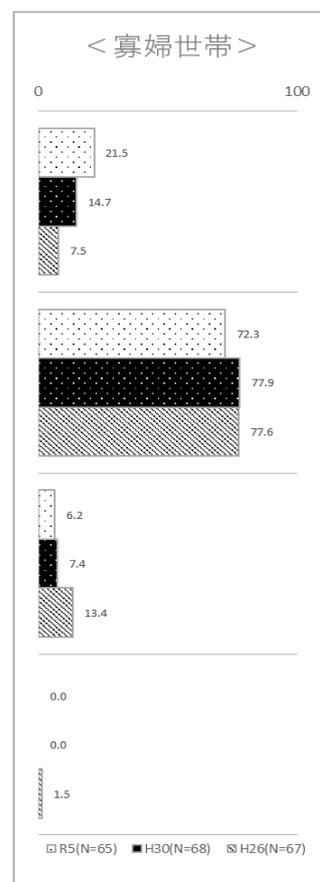
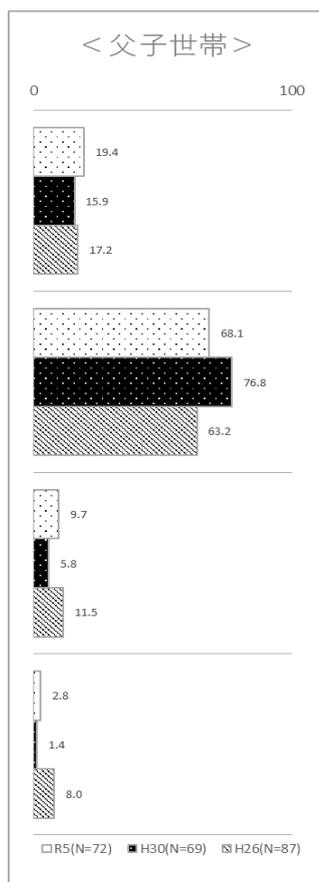
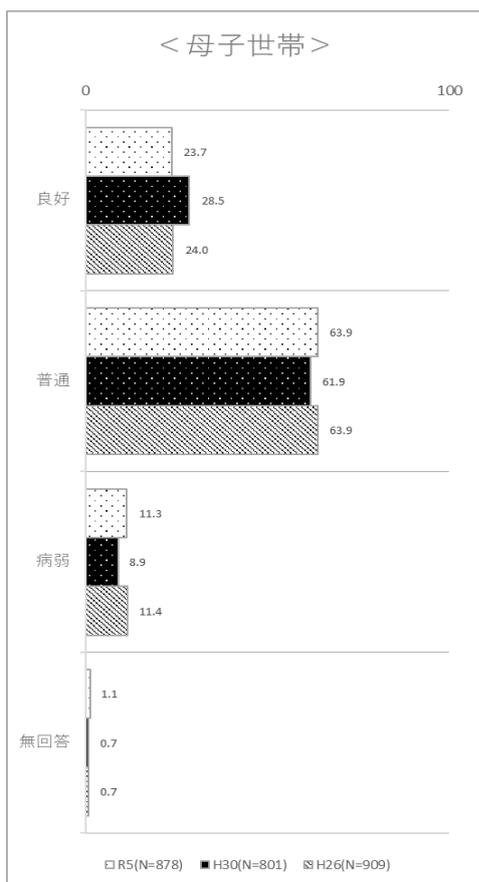


8. 健康について

8-1. 健康状態

- <母子世帯>では「普通」(63.9%)が最も多く、次いで「良好」(23.7%)となっている。
- <父子世帯>でも「普通」(68.1%)が最も多く、次いで「良好」(19.4%)となっている。
- <寡婦世帯>でも「普通」(72.3%)が最も多く、次いで「良好」(21.5%)となっている。

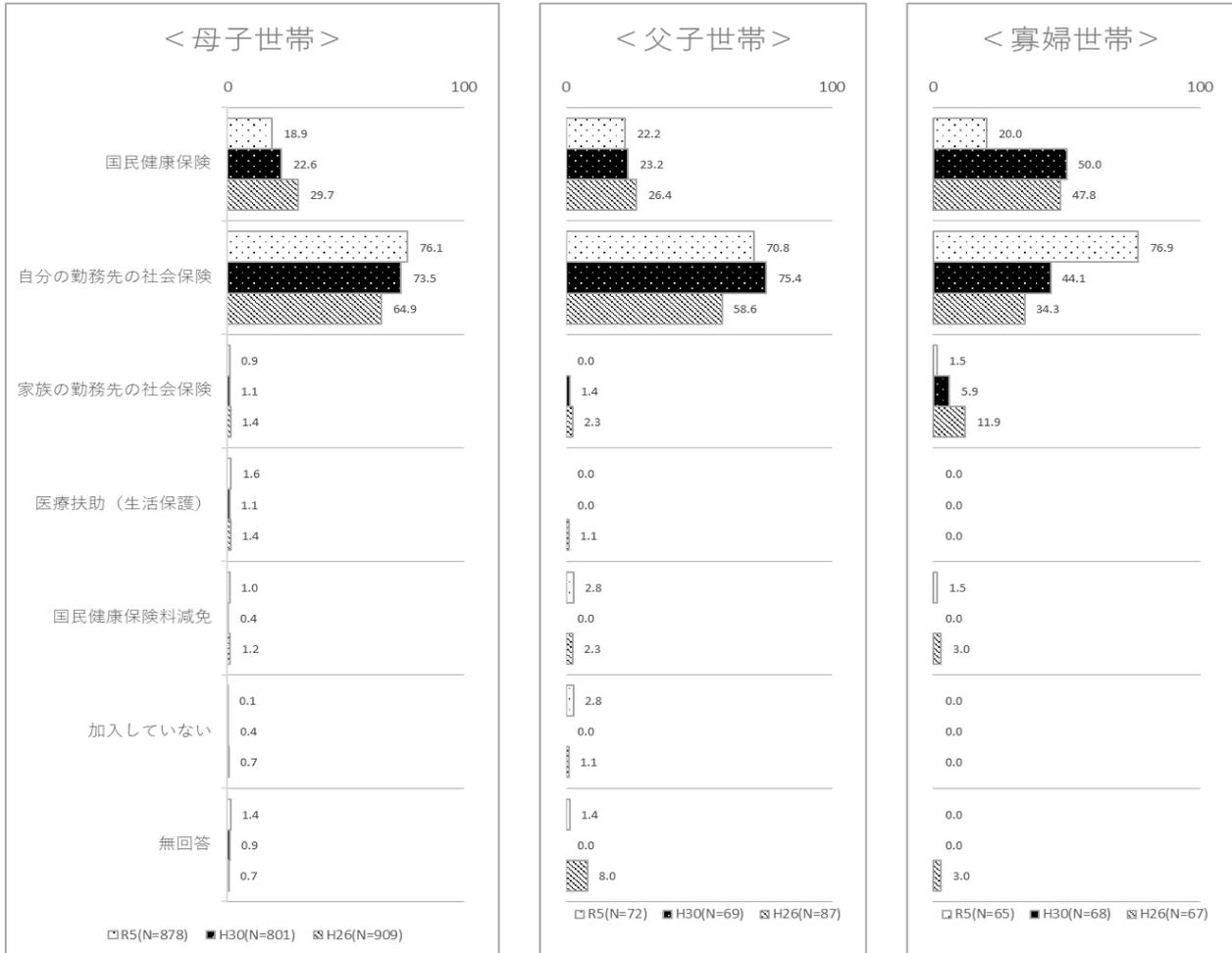
あなたの健康状態はどうか。(○は1つだけ)



8-2. 加入している医療保険

- <母子世帯>では「自分の勤務先の社会保険」(76.1%)が最も多く、次いで「国民健康保険」(18.9%)となっている。
- <父子世帯>でも「自分の勤務先の社会保険」(70.8%)が最も多く、次いで「国民健康保険」(22.2%)となっていない。
- <寡婦世帯>でも「自分の勤務先の社会保険」(76.9%)が最も多く、次いで「国民健康保険」(20.0%)となっている。

あなたが加入している医療保険はどれですか。(○は1つだけ)



8-3. 親が病気の際、世話をしてもらえる人

- <母子世帯>では「別居の親族」(35.1%)が最も多く、次いで「同居の親族」(23.9%)となっている。
- <父子世帯>では「同居の親族」(41.7%)が最も多く、次いで「別居の親族」「その他」(19.4%)となっている。
- <寡婦世帯>では「子ども」(50.8%)が最も多くなっている。

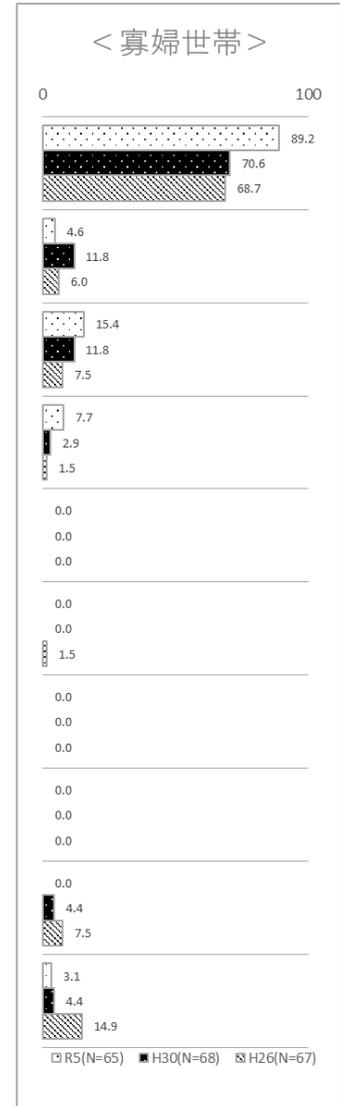
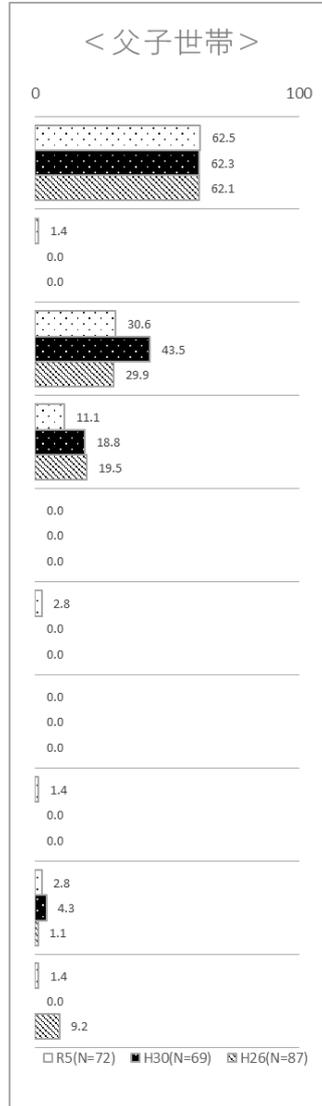
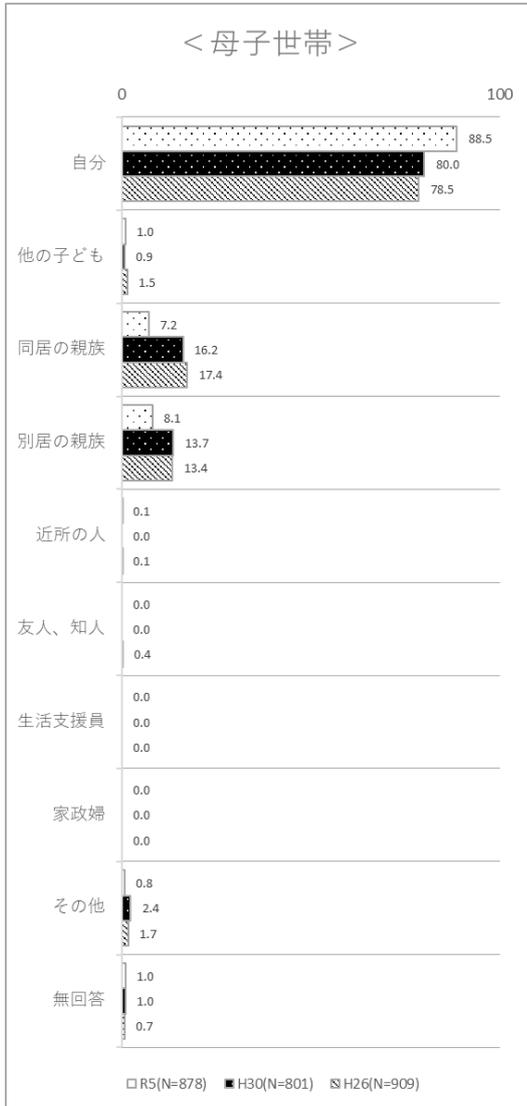
あなたが病気の際は、主にどなたに世話をしてもらいますか。(○はあてはまるものすべて)



8-4. 子どもが病気の際、主に世話をする人

- <母子世帯>では「自分」(88.5%)が最も多く、次いで「別居の親族」(8.1%)となっている。
- <父子世帯>でも「自分」(62.5%)が最も多く、次いで「同居の親族」(30.6%)となっている。
- <寡婦世帯>でも「自分」(89.2%)が最も多く、次いで「同居の親族」(15.4%)となっている。

お子さん（家族）が病気の際は、主にどなたが世話をしていますか。（○はあてはまるものすべて）



9. 困っていること、悩みについて

9-1. ひとり親世帯になったときに困ったこと

- <母子世帯>では「生活費のこと」(77.1%)が最も多く、次いで「仕事のこと」(40.0%)、「子どもの世話、教育」(39.6%)となっている。
- <父子世帯>では「生活費のこと」(62.5%)が最も多く、「子どもの世話、教育」(48.6%)、次いで「仕事のこと」「家事のこと」(33.3%)となっている。
- <寡婦世帯>では「生活費のこと」(73.8%)が最も多く、次いで「子どもの世話、教育」(46.2%)、「仕事のこと」(38.5%)となっている。

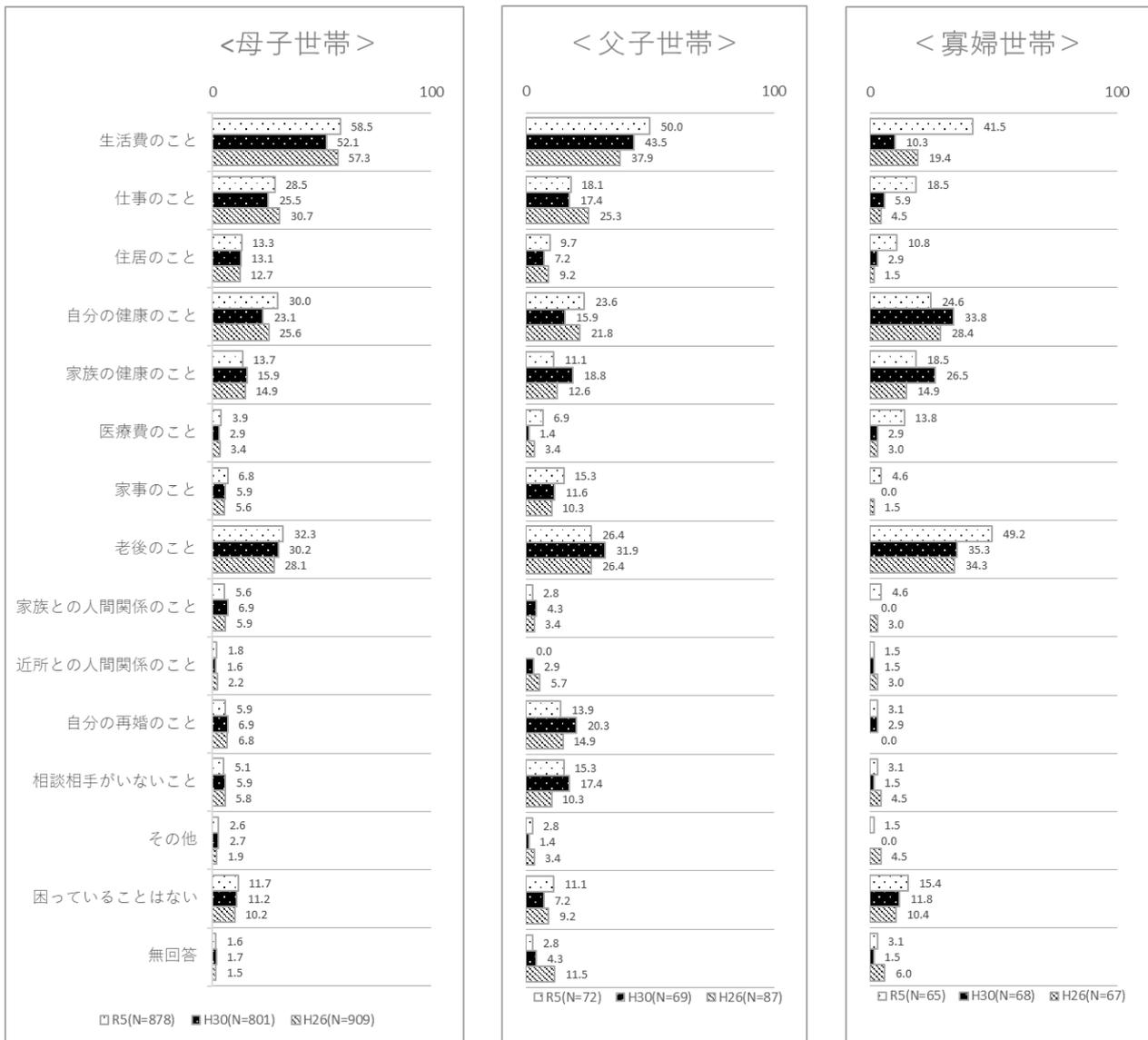
ひとり親世帯になった当時、困ったことは何ですか。(○はあてはまるものすべて)



9-2. 子ども以外についての悩み

- <母子世帯>では「生活費のこと」(58.5%)が最も多く、次いで「老後のこと」(32.3%)となっている。
- <父子世帯>では「生活費のこと」(50.0%)が最も多く、次いで「老後のこと」(26.4%)となっている。
- <寡婦世帯>では「老後のこと」(49.2%)が最も多く、次いで「生活費のこと」(41.5%)、自分の健康のこと(24.6%)となっている。

子どものこと以外で、最近困っていること、悩んでいることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)



9-3. 子どもについての悩み

- <母子世帯>では「進学のこと」(48.9%)が最も多く、次いで「養育のこと」(31.9%)となっている。
- <父子世帯>でも「進学のこと」(43.1%)が最も多く、次いで「養育のこと」(20.8%)となっている。
- <寡婦世帯>では「困っていることはない」(38.5%)が最も多く、次いで「就職のこと」「結婚のこと」(21.5%)となっている。

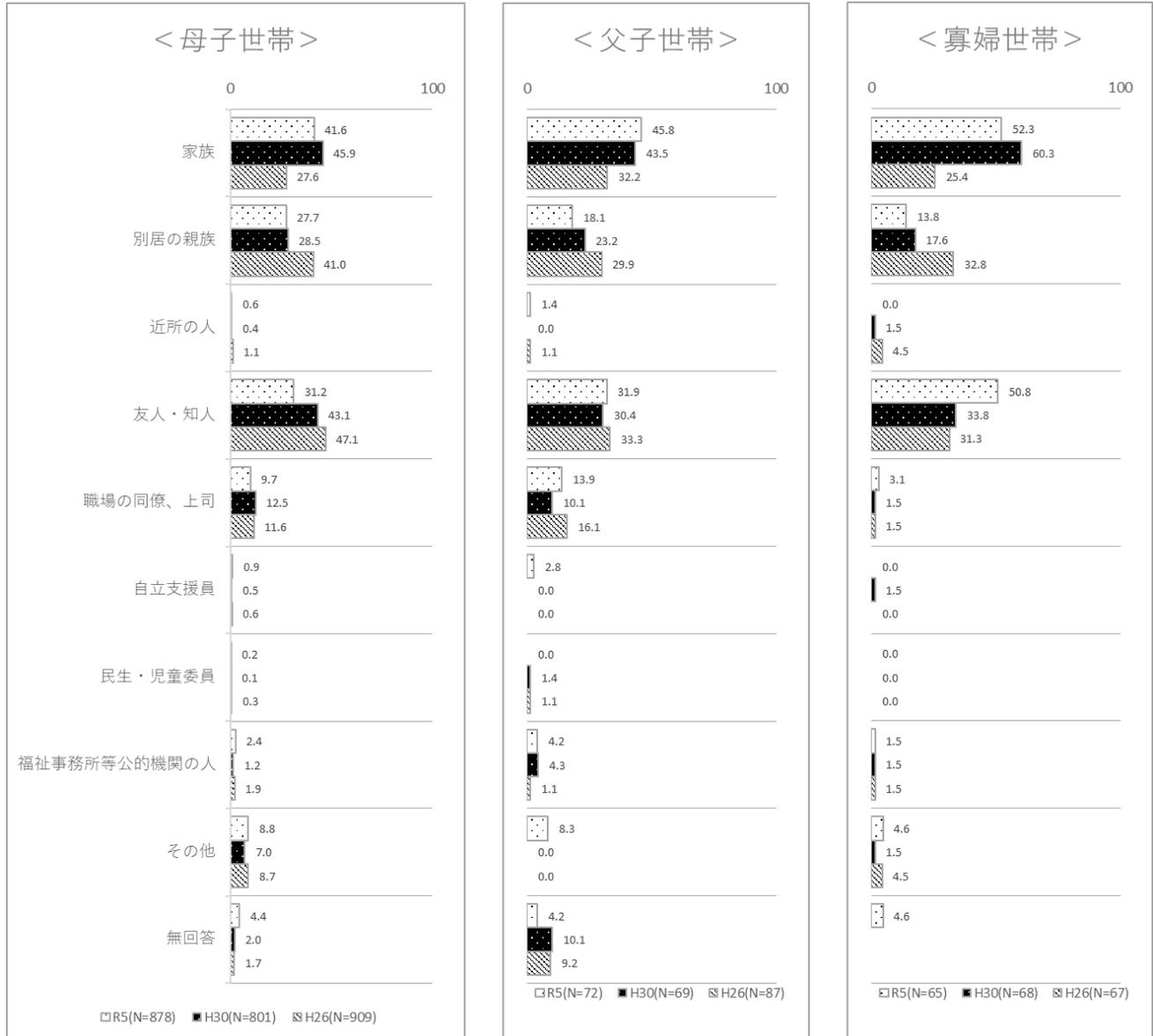
子どものことで、最近困っていること、悩んでいることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)



9-4. 困ったときの主な相談相手

- <母子世帯>では「家族」(41.6%)が最も多く、次いで「友人・知人」(31.2%)となっている。
- <父子世帯>でも「家族」(45.8%)が最も多く、次いで「友人・知人」(31.9%)となっている。
- <寡婦世帯>でも「家族」(52.3%)が最も多く、次いで「友人・知人」(50.8%)となっている。

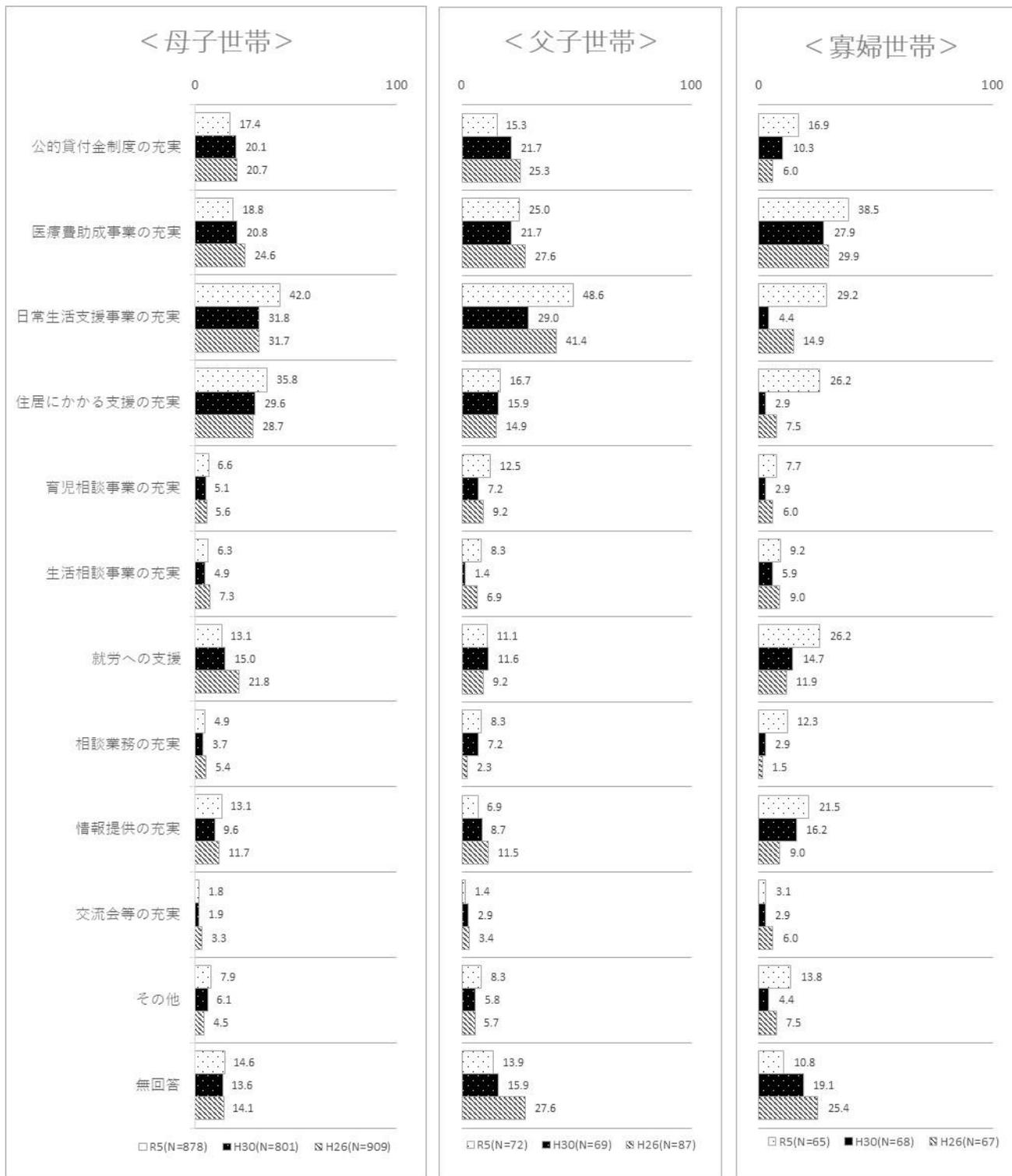
困ったときの主な相談相手はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)



10. 行政や福祉制度について

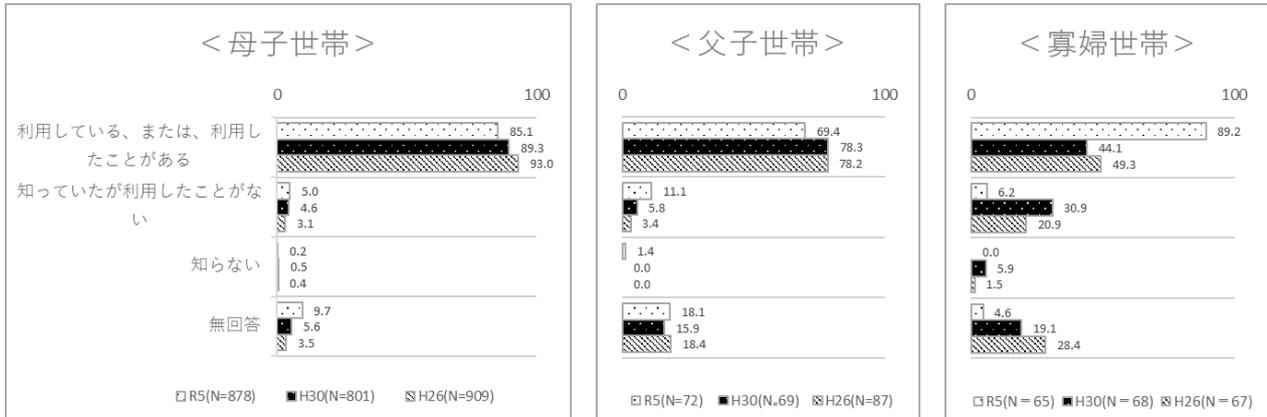
10-1. 行政や福祉制度に対する要望

- <母子世帯>では「日常生活支援事業の充実」(42.0%)が最も多く、次いで「住居にかかる支援の充実」(35.8%)、「医療費助成事業の充実」(18.8%)の順となっている。
- <父子世帯>では「日常生活支援事業の充実」(48.6%)が最も多く、次いで「医療費助成事業の充実」(25.0%)、「住居にかかる支援の充実」(16.7%)の順となっている。
- <寡婦世帯>では「医療費助成事業の充実」(38.5%)が最も多く、次いで「日常生活支援事業の充実」(29.2%)、「住居にかかる支援の充実」「就労への支援」(26.2%)の順となっている。

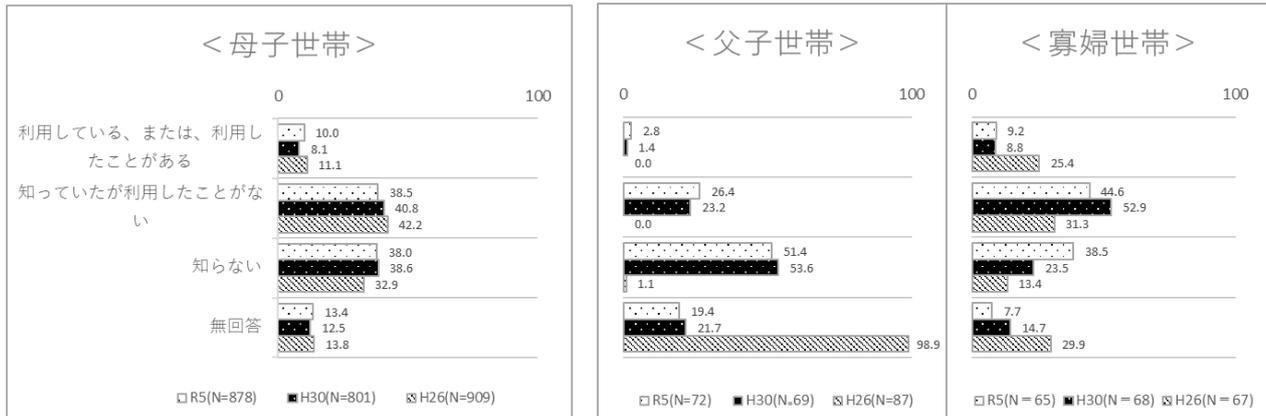


10-2. 福祉制度の利用状況

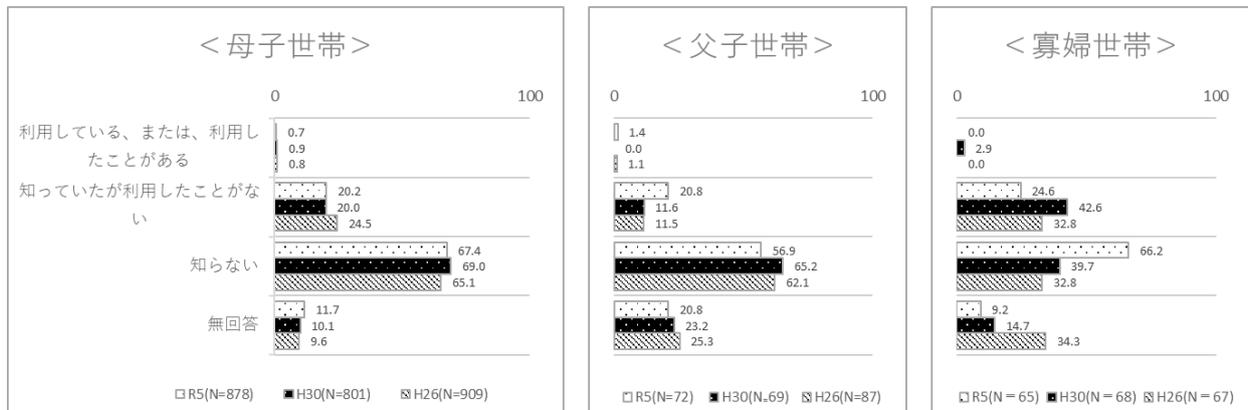
【児童扶養手当】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



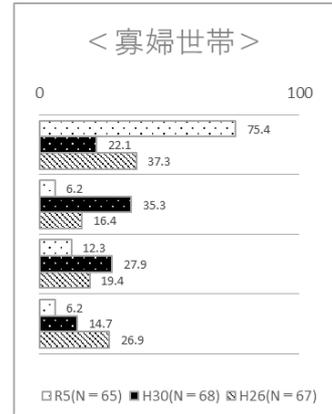
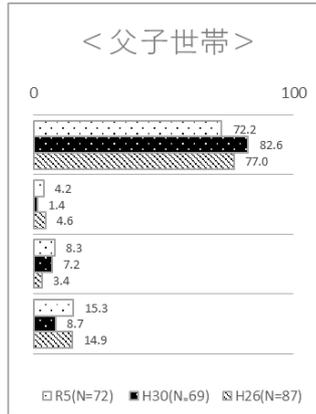
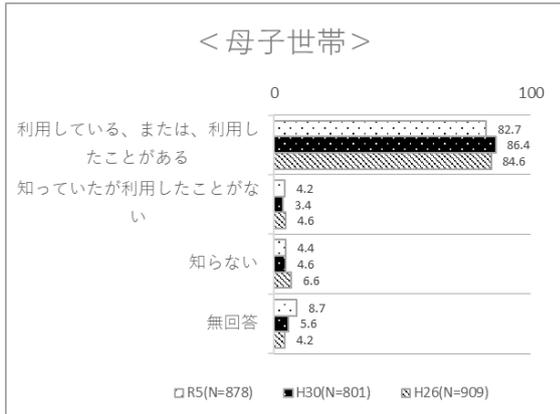
【母子父子寡婦福祉資金の貸付事業】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



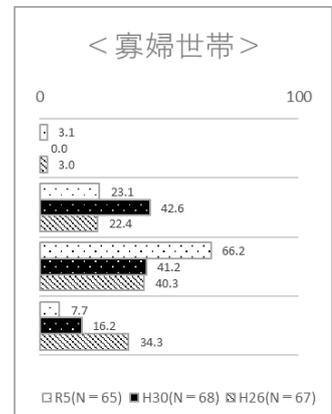
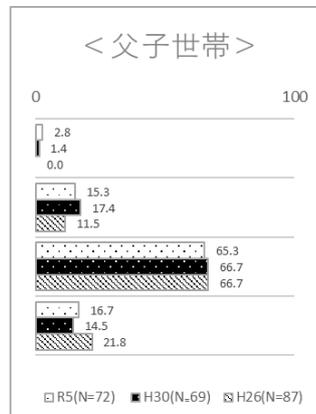
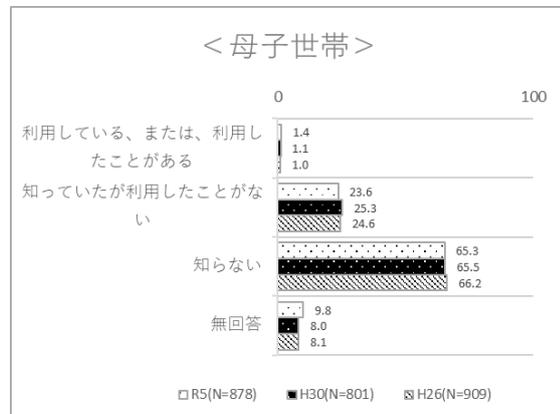
【日常生活支援事業】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



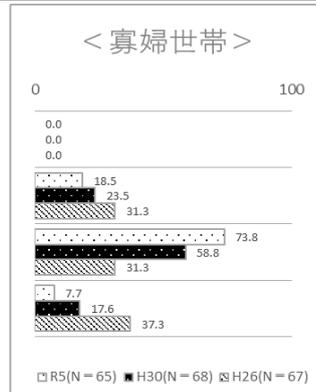
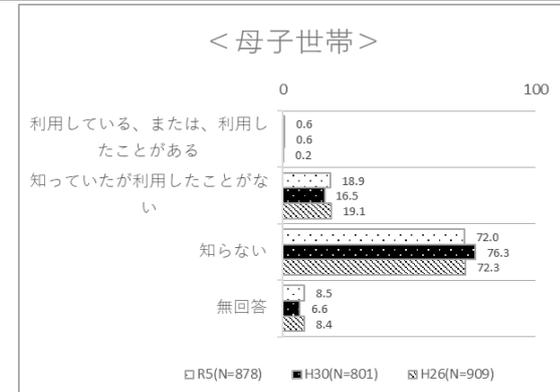
【ひとり親家庭等医療費助成事業】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



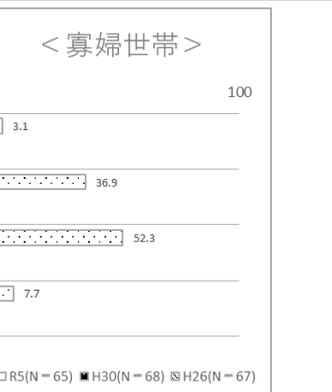
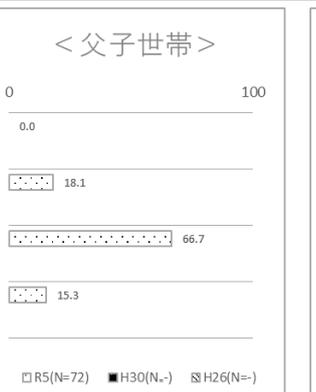
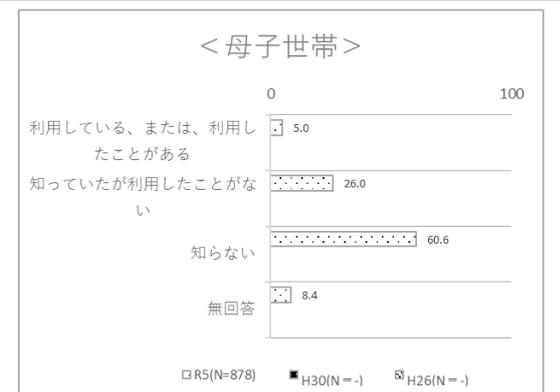
【子育て短期支援事業】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



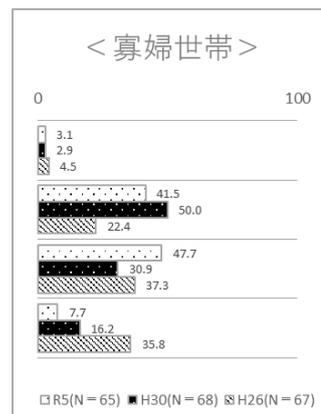
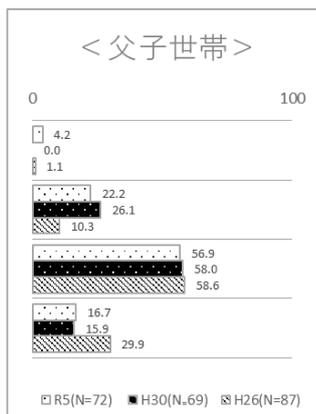
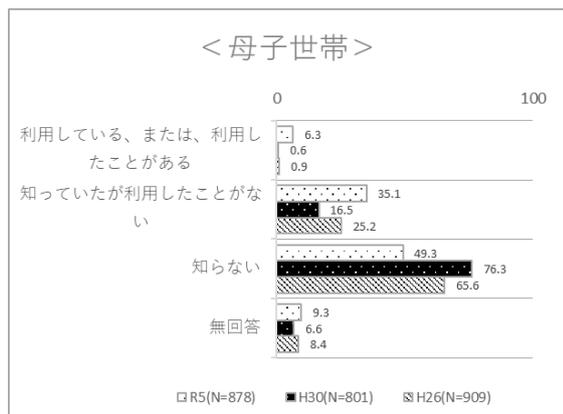
【母子生活支援施設】を利用されことがありますか。(○は1つだけ)



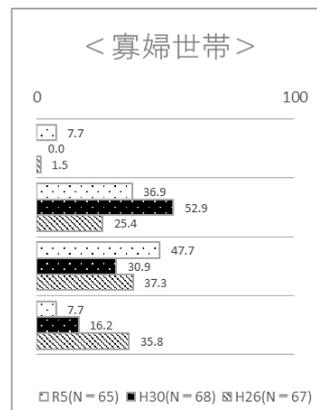
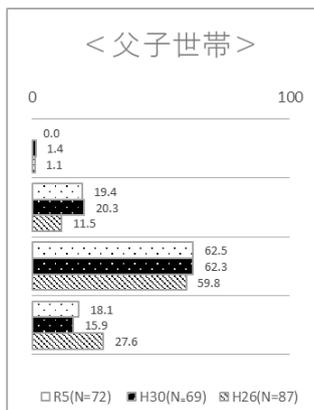
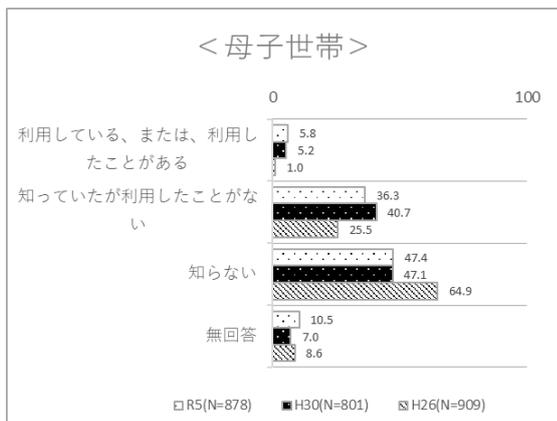
【婦人相談所(配偶者暴力相談センター)】を利用されたことがありますか。(○は1つだけ)



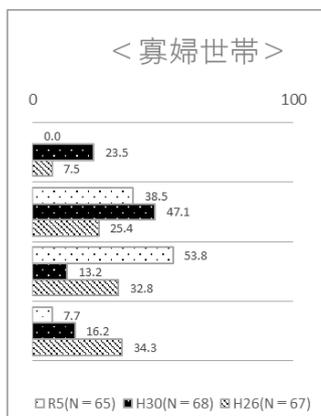
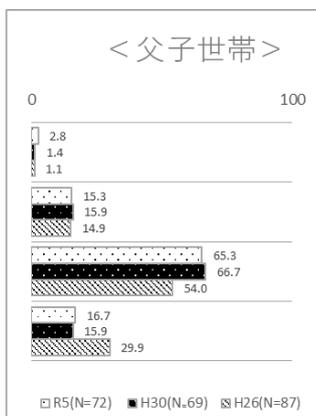
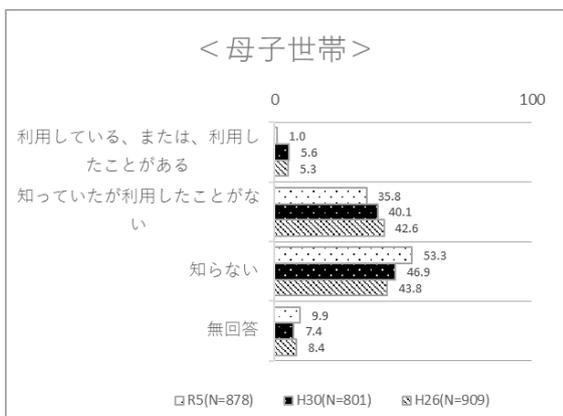
【母子・父子自立支援員への相談】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



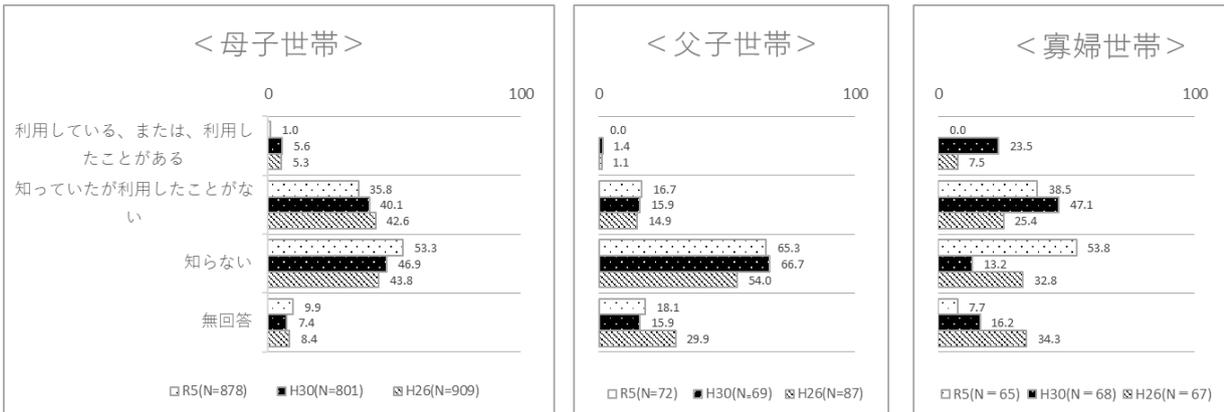
【母子家庭等自立支援給付金】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



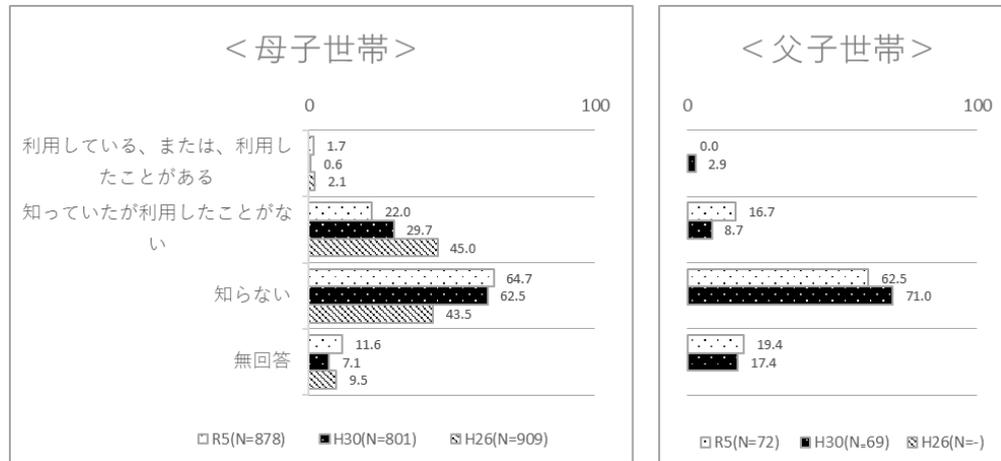
【母子家庭等就業・自立支援センター事業】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



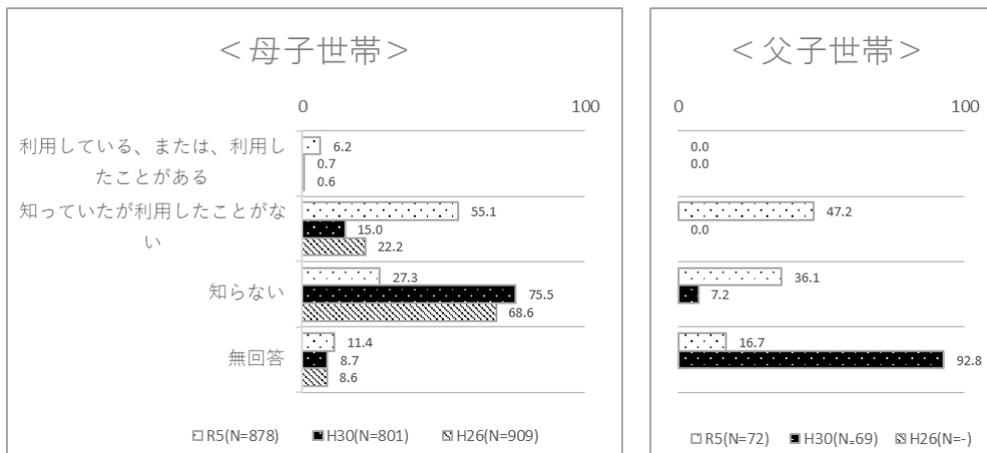
【母子・父子自立支援プログラム策定事業】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



【ひとり親家庭学習支援員派遣事業】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



【子ども食堂】を利用されたことがありますか。（○は1つだけ）



10-3. 福祉制度の利用意向

また、利用したい制度があれば、現在利用している、していないに関わらず、○をつけてください。（○はあてはまるものすべて）

